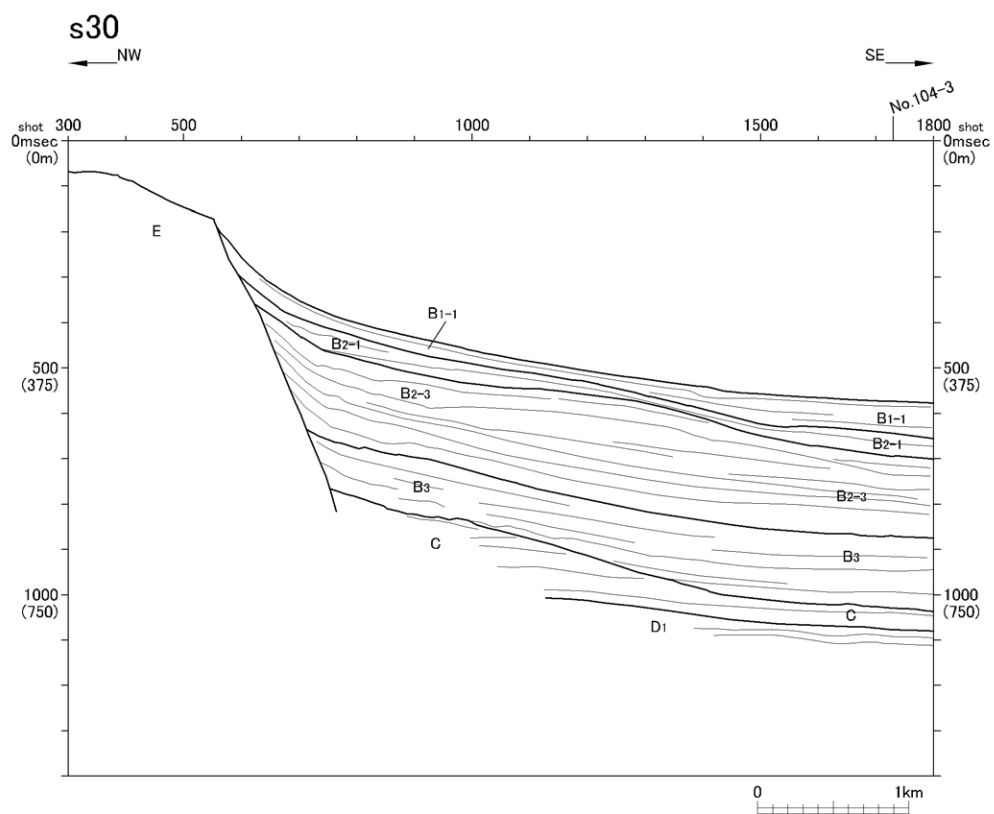
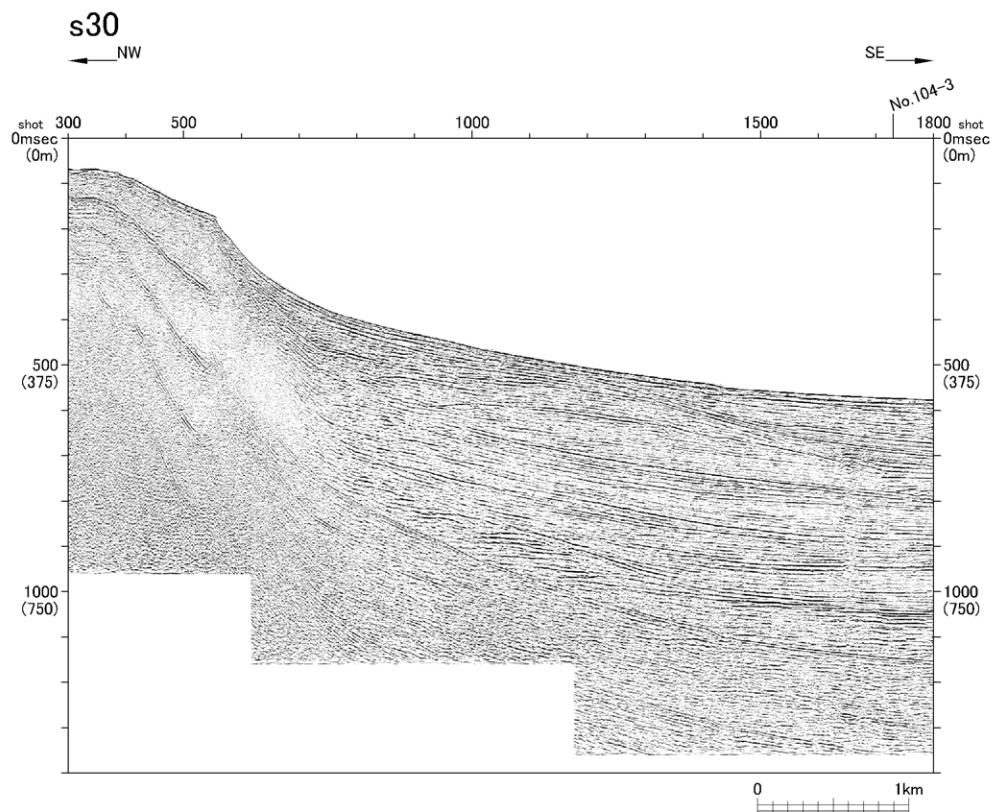
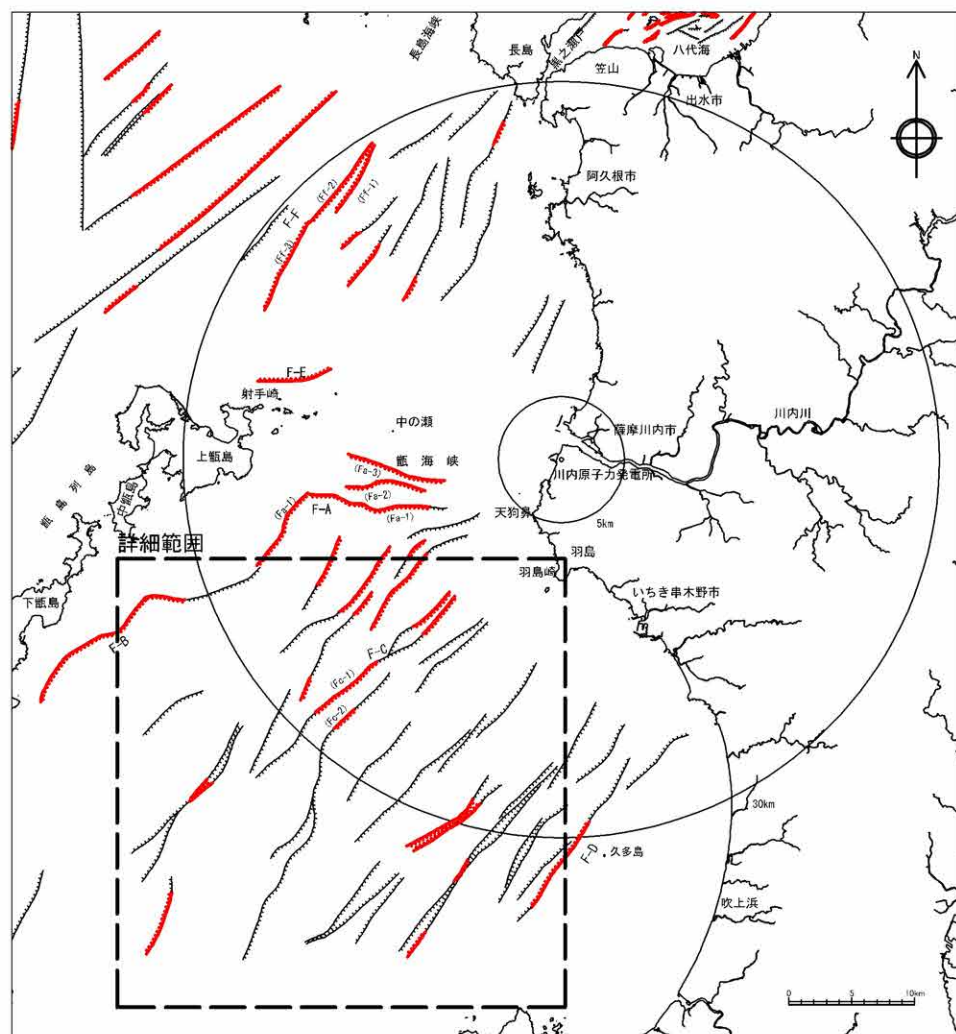


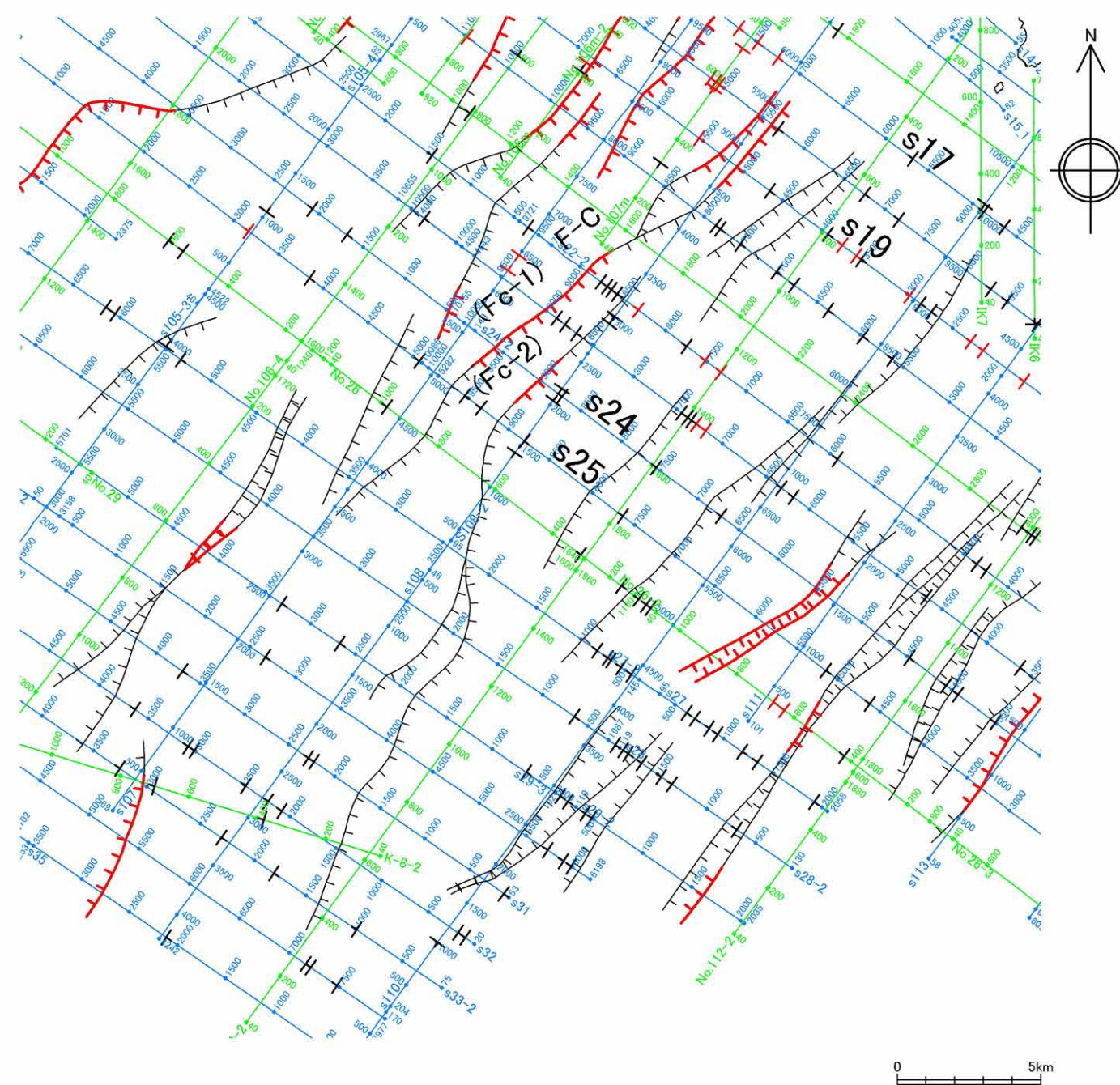
第1.2-168図(3) F-B断層の音波探査記録断面図 (s30測線)

1.2-680

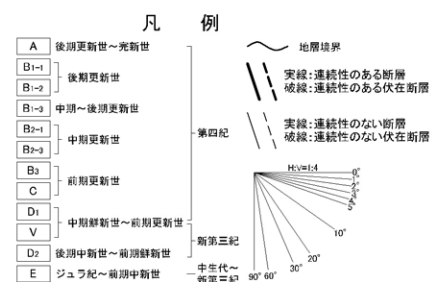
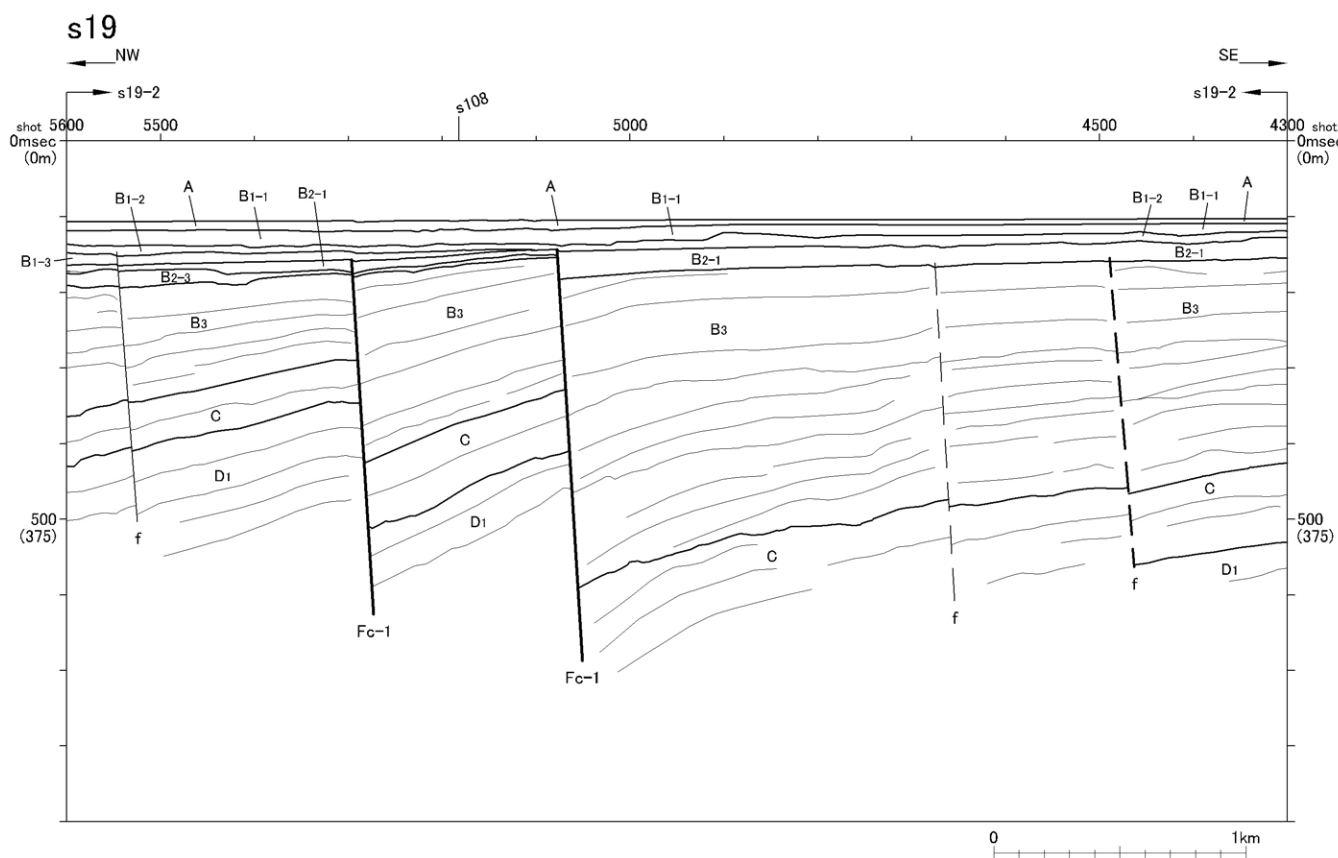
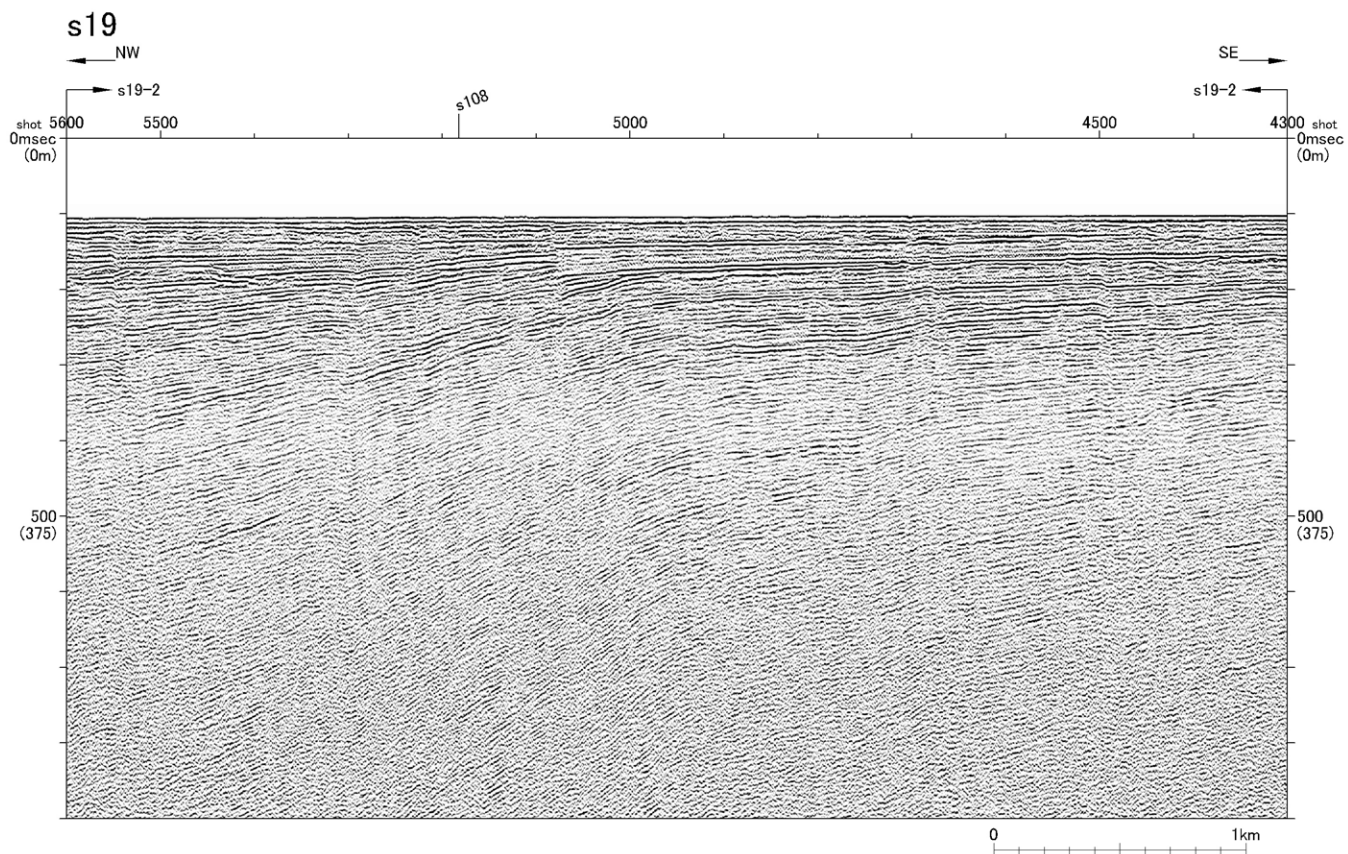


凡 例

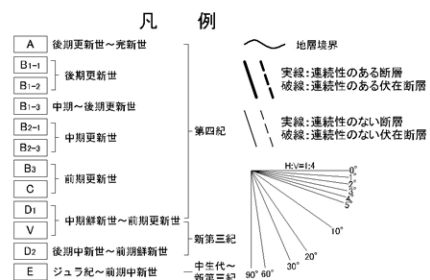
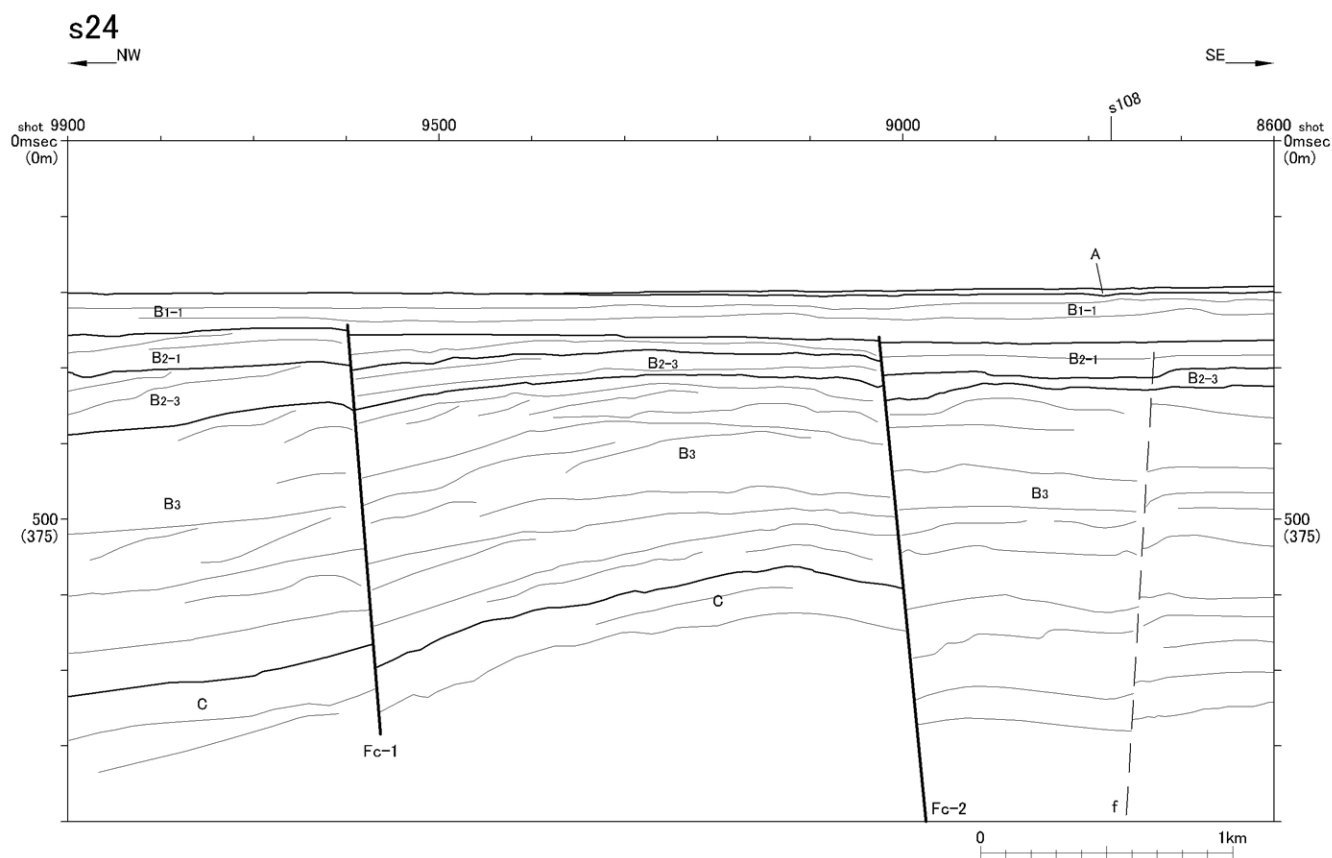
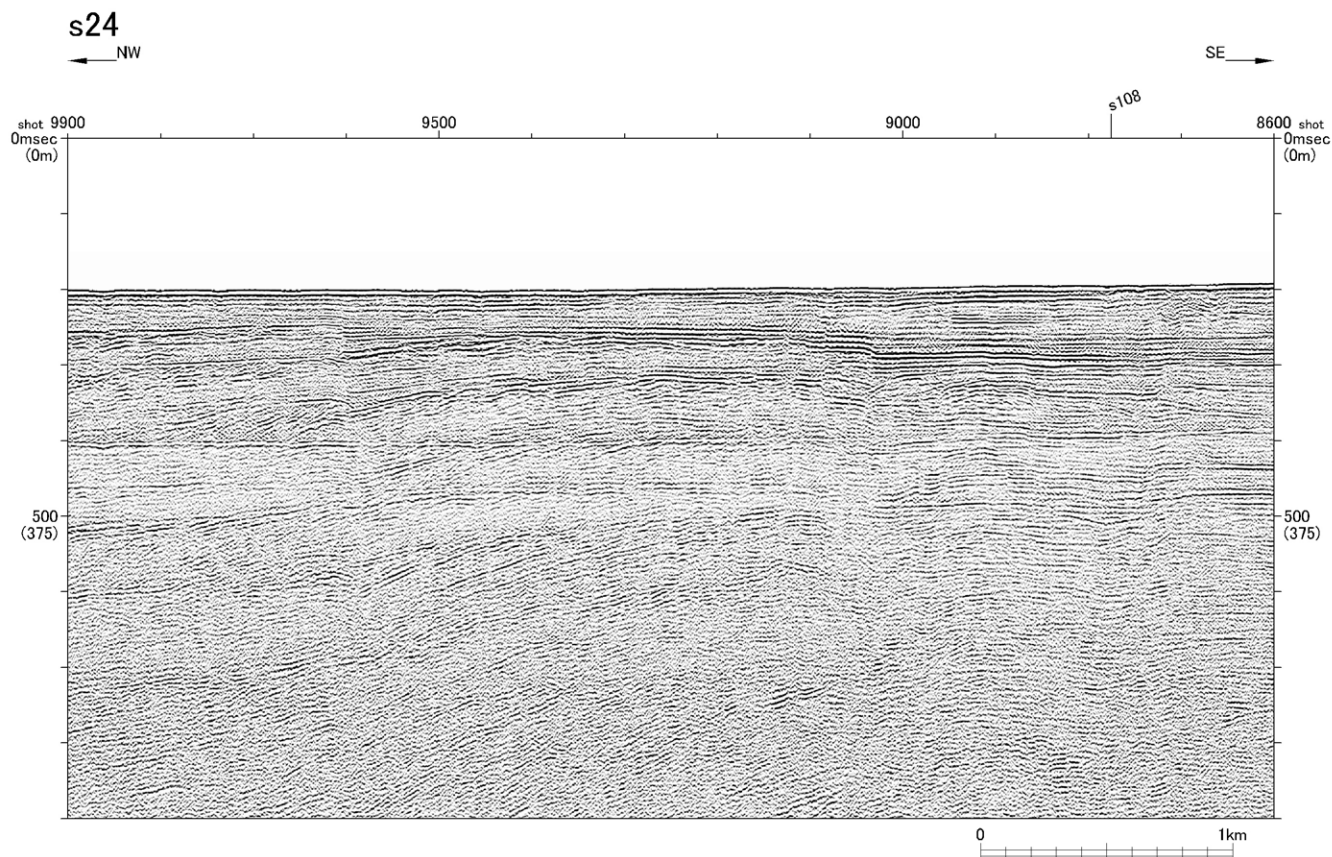
- |—|—| 連続性のある断層
- |—|—| 連続性のある伏在断層
- | 連続性のない断層
- | 連続性のない伏在断層
- 九州電力㈱によるマルチチャンネル音波探査測線
(G I ガン、ウォーターガン)
- 九州電力㈱によるシングルチャンネル音波探査測線
(ウォーターガン、スパーカ)



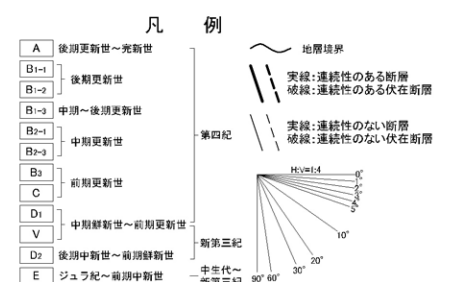
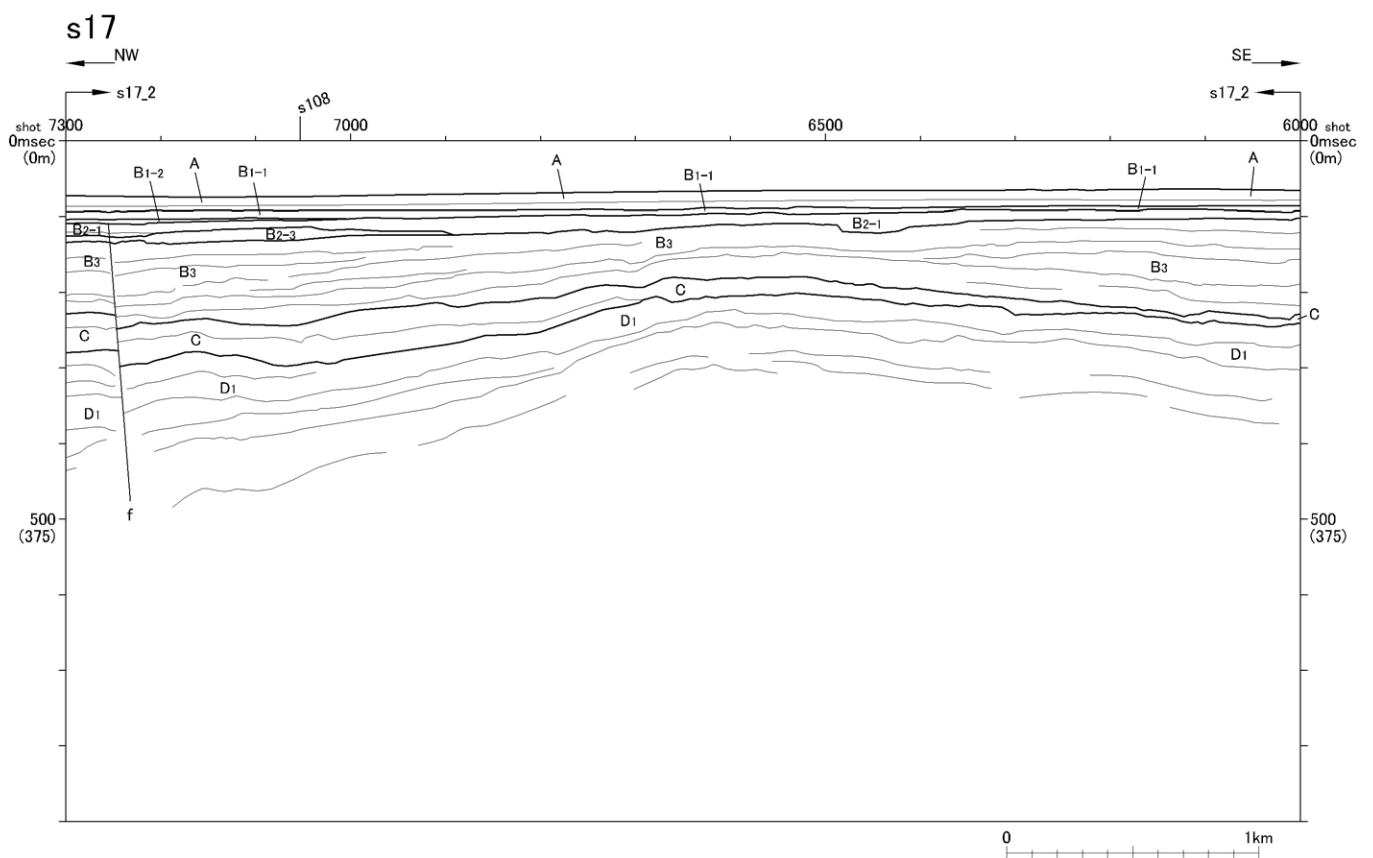
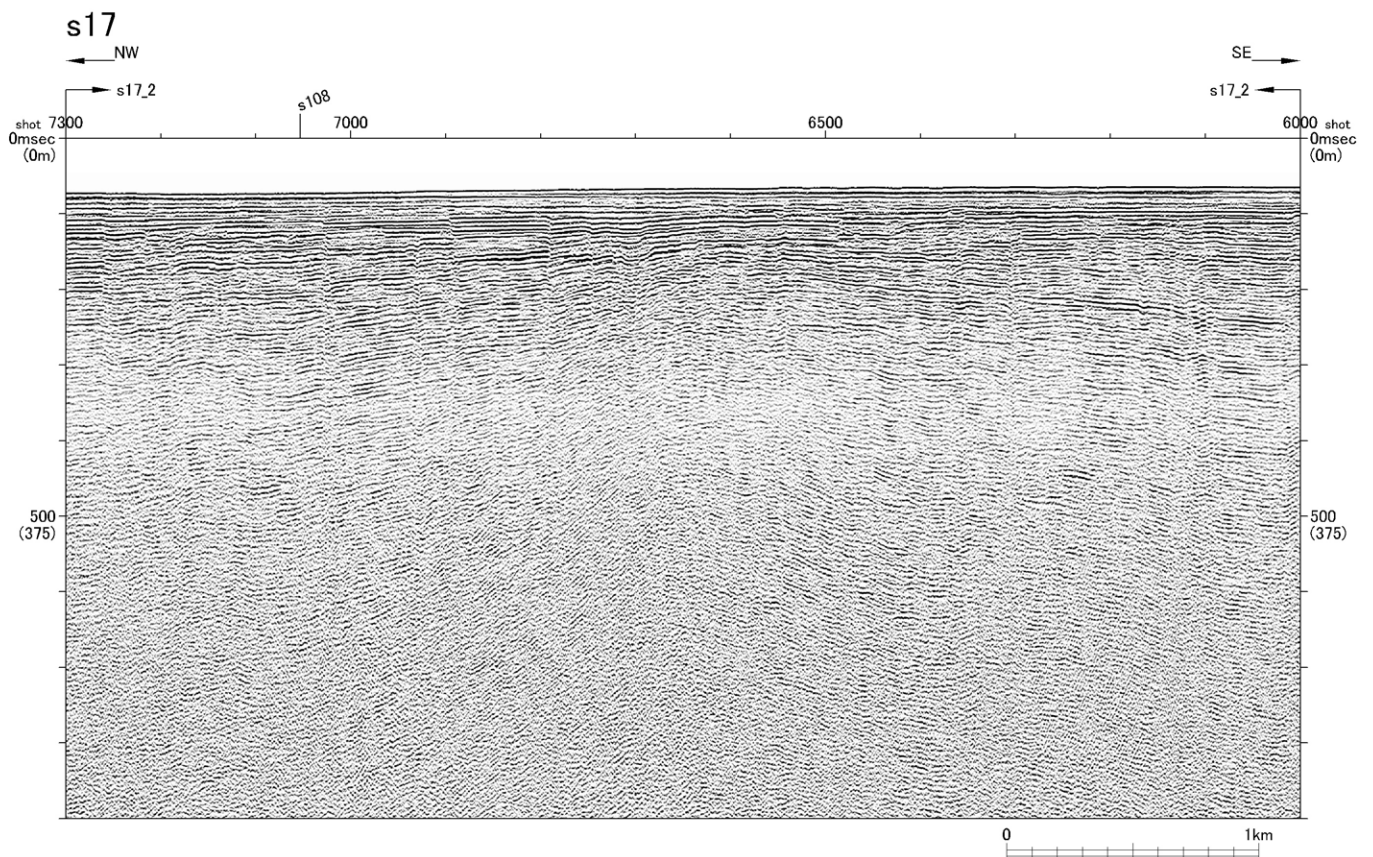
水涯線は、国土地理院発行の数値地図25000空間データ基盤(熊本・鹿児島)を編集したものである。



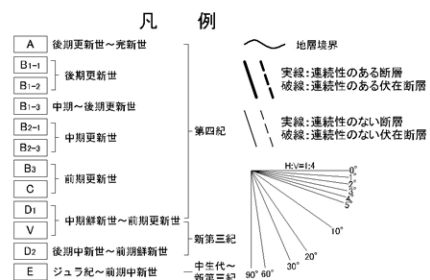
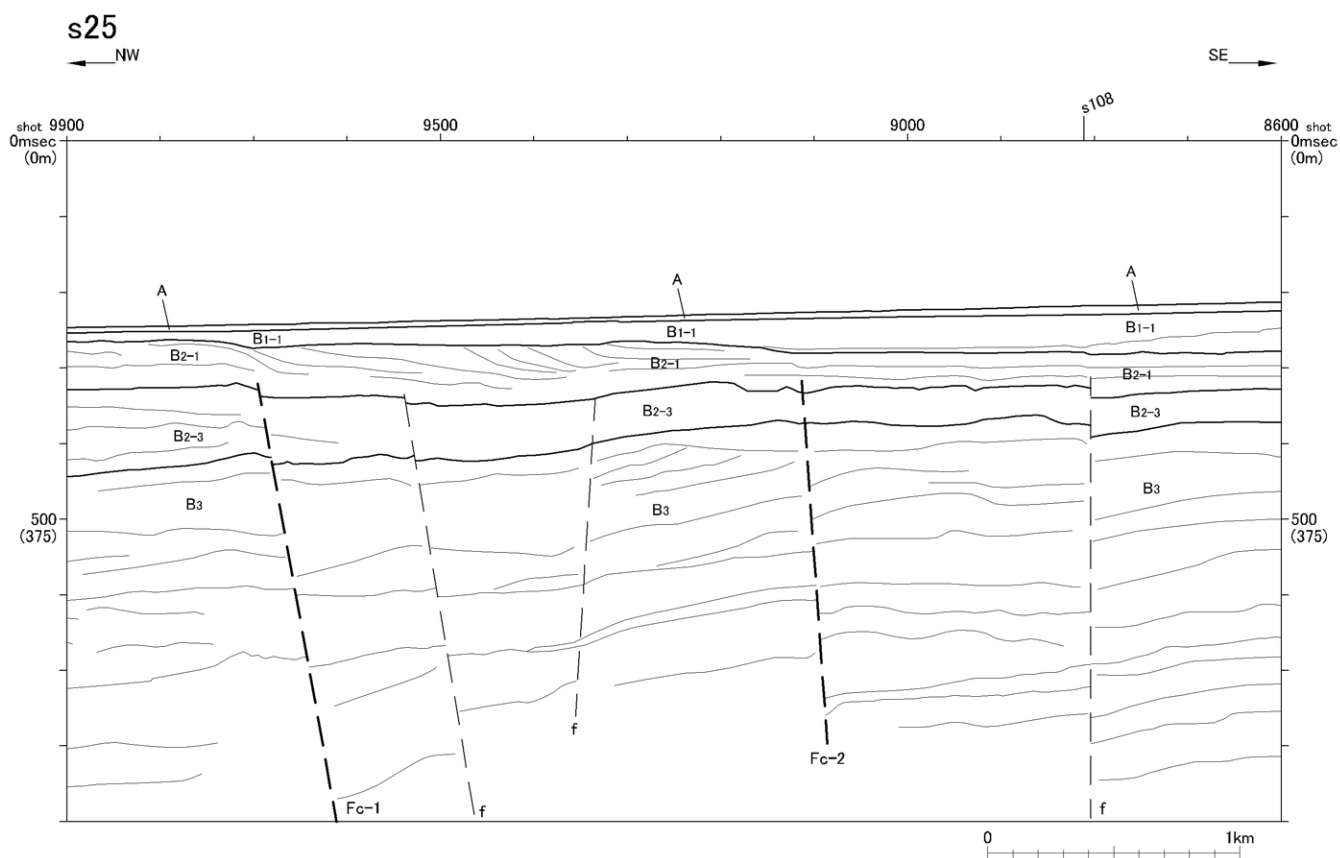
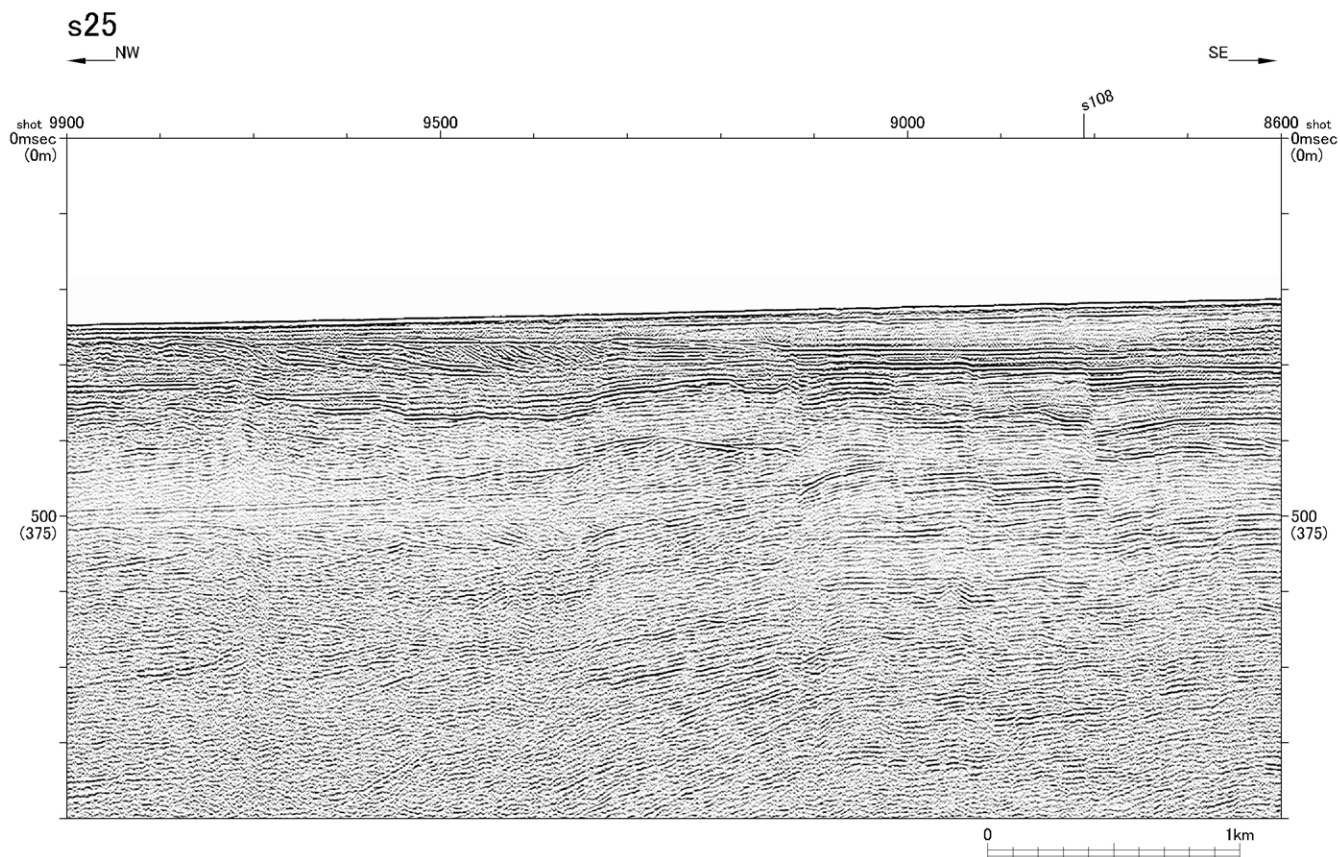
第1.2-170図(1) F-C断層の音波探査記録断面図 (s19測線)



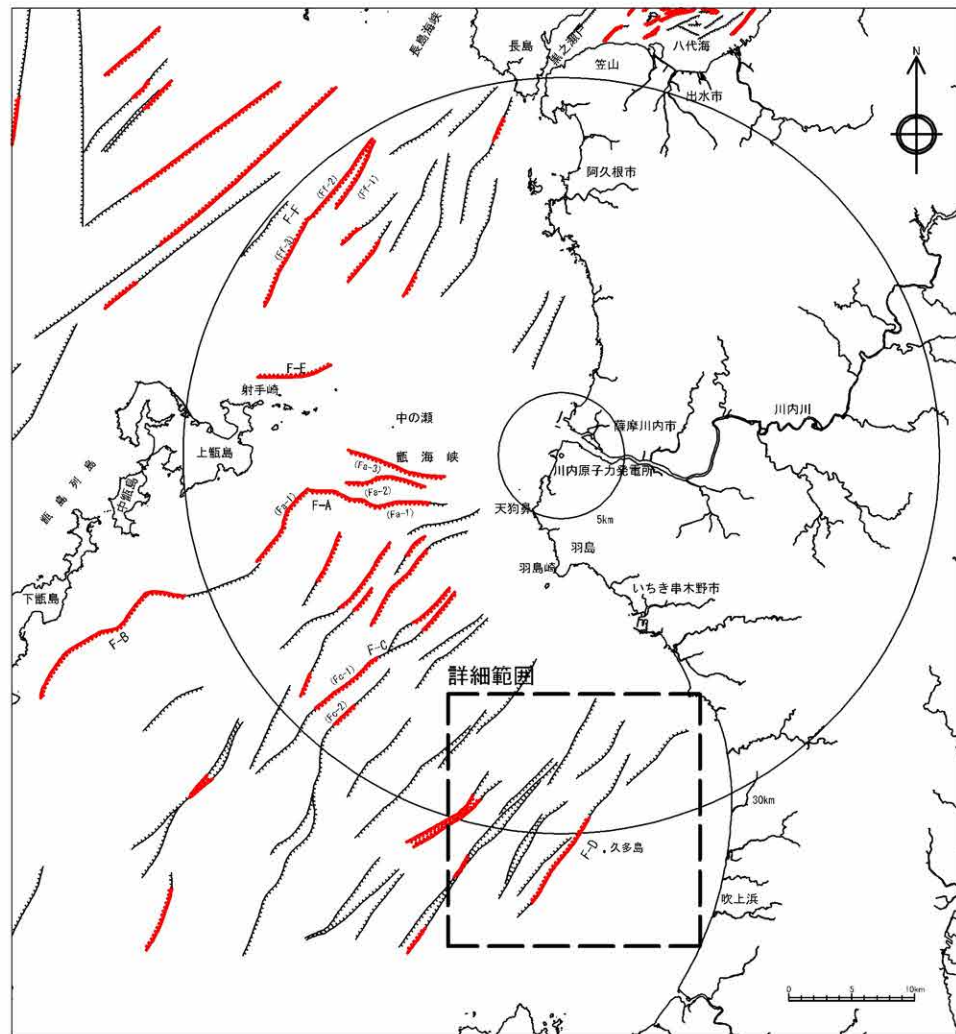
第1.2-170図(2) F-C断層の音波探査記録断面図 (s24測線)



第1.2-170図(3) F-C断層の音波探査記録断面図 (s17測線)

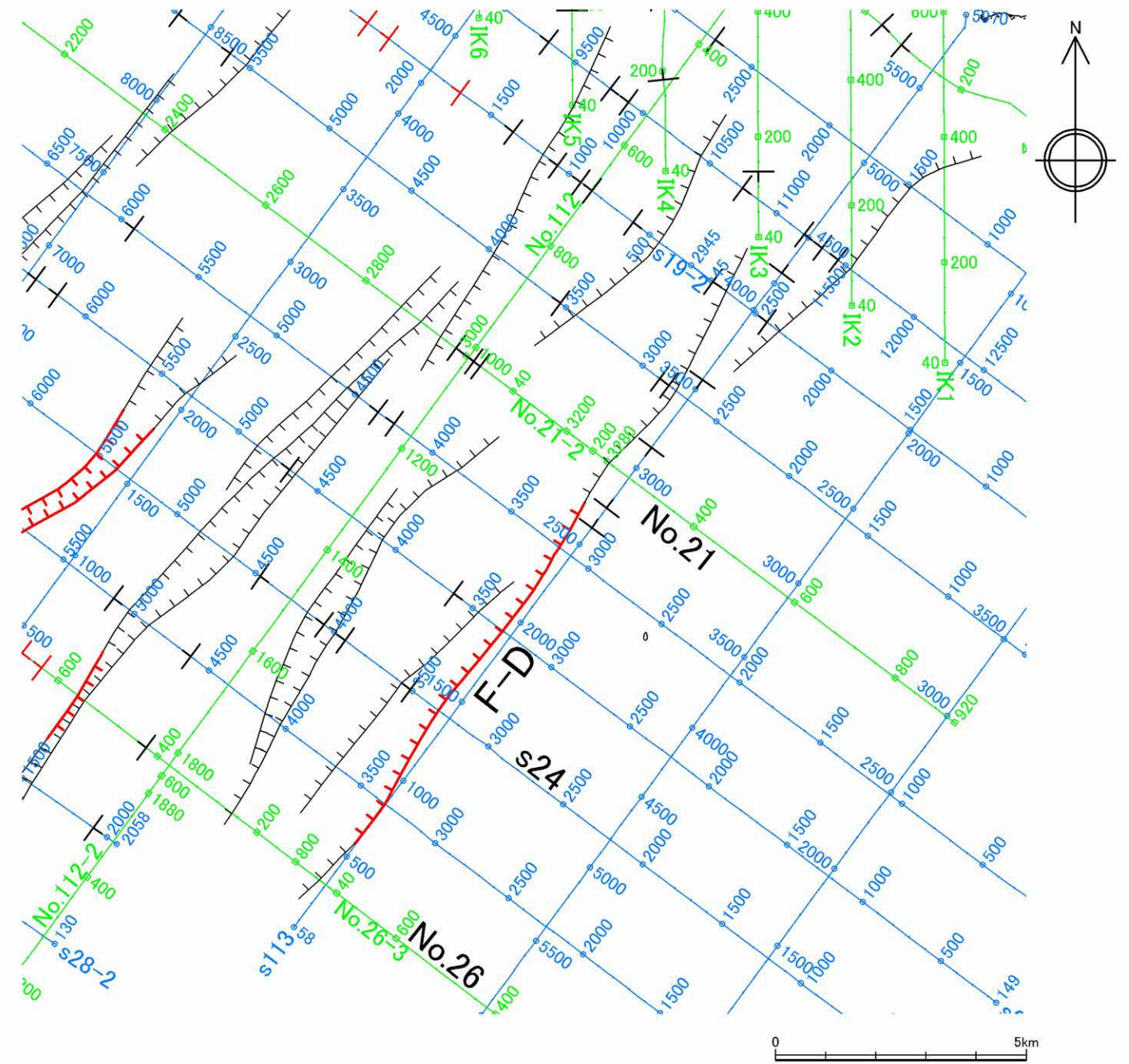


第1.2-170図(4) F-C断層の音波探査記録断面図 (s25測線)

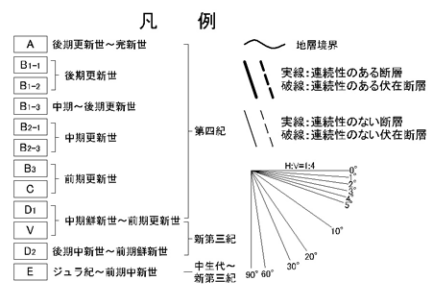
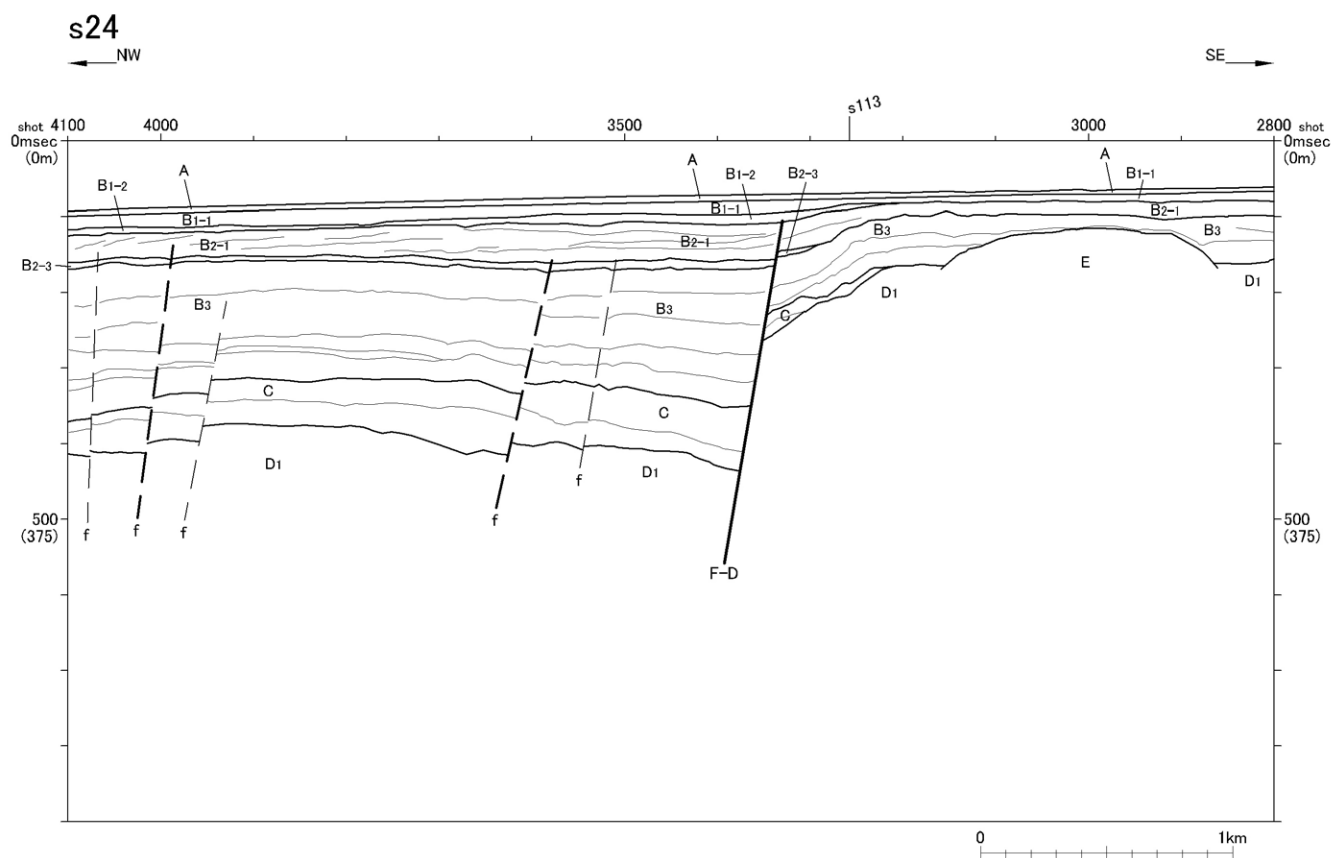
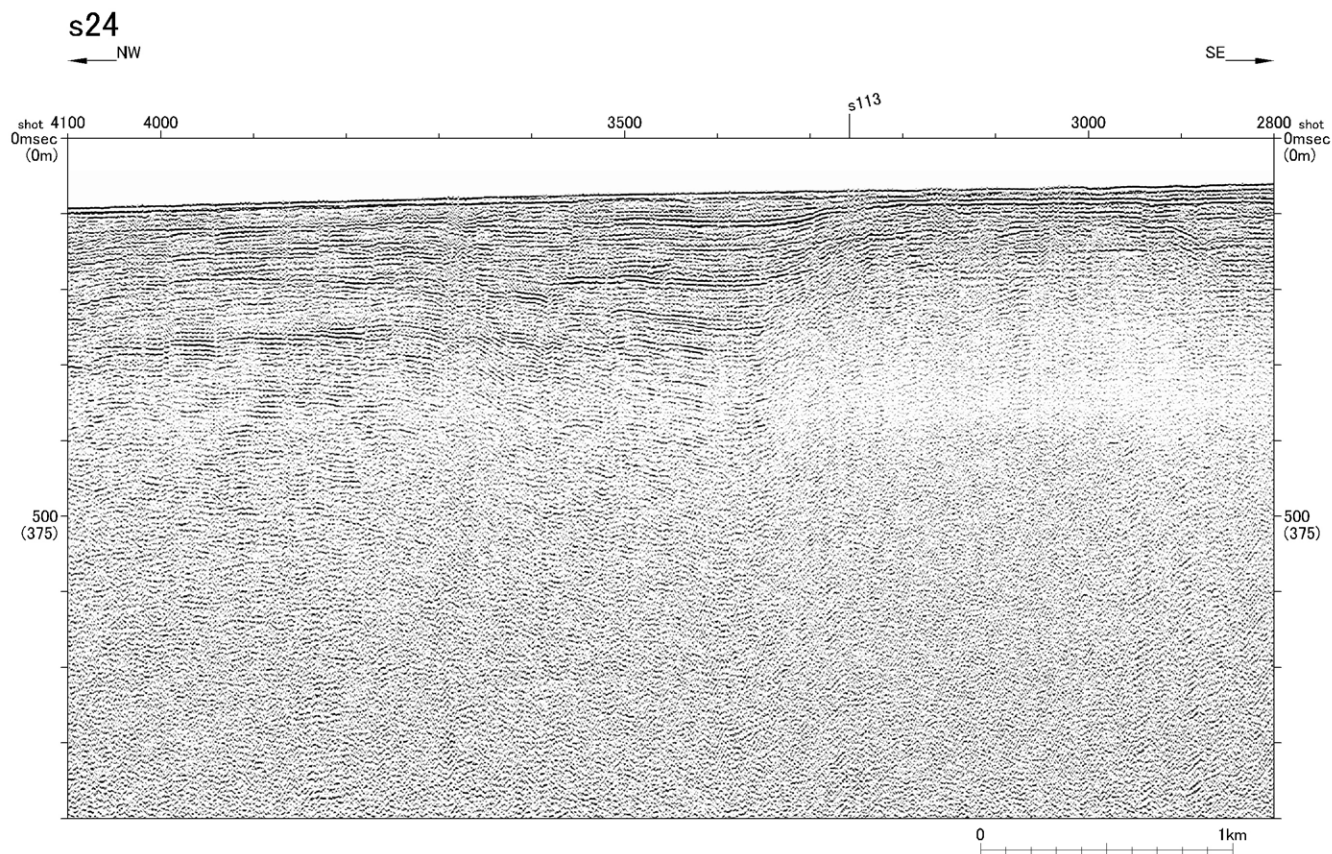


凡 例

- 連続性のある断層
- 連続性のある伏在断層
- 連続性のない断層
- 連続性のない伏在断層
- 九州電力㈱によるマルチチャンネル音波探査測線
(G I ガン、ウォーターガン)
- 九州電力㈱によるシングルチャンネル音波探査測線
(ウォーターガン、スパーク)

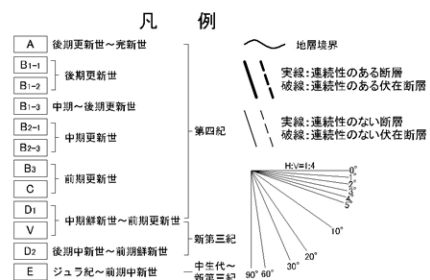
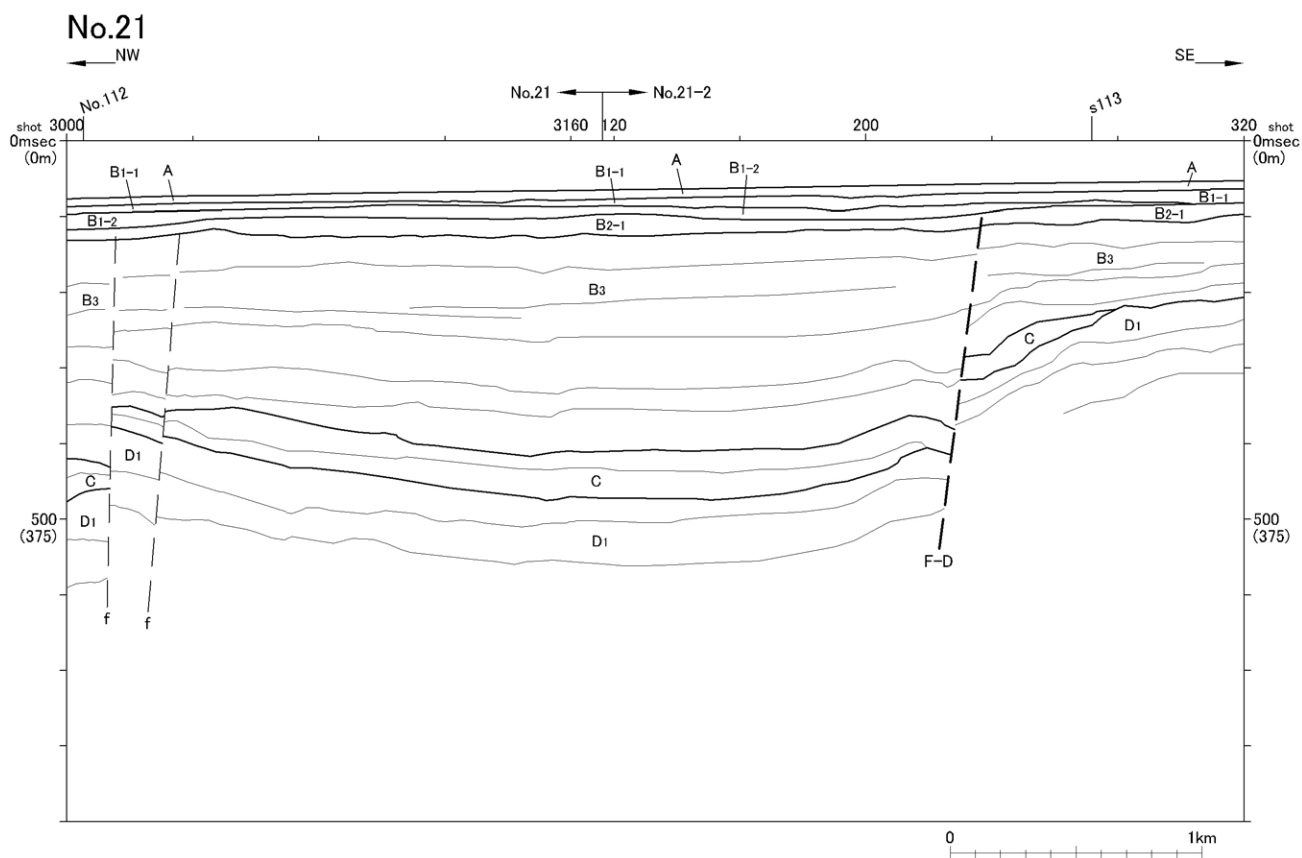
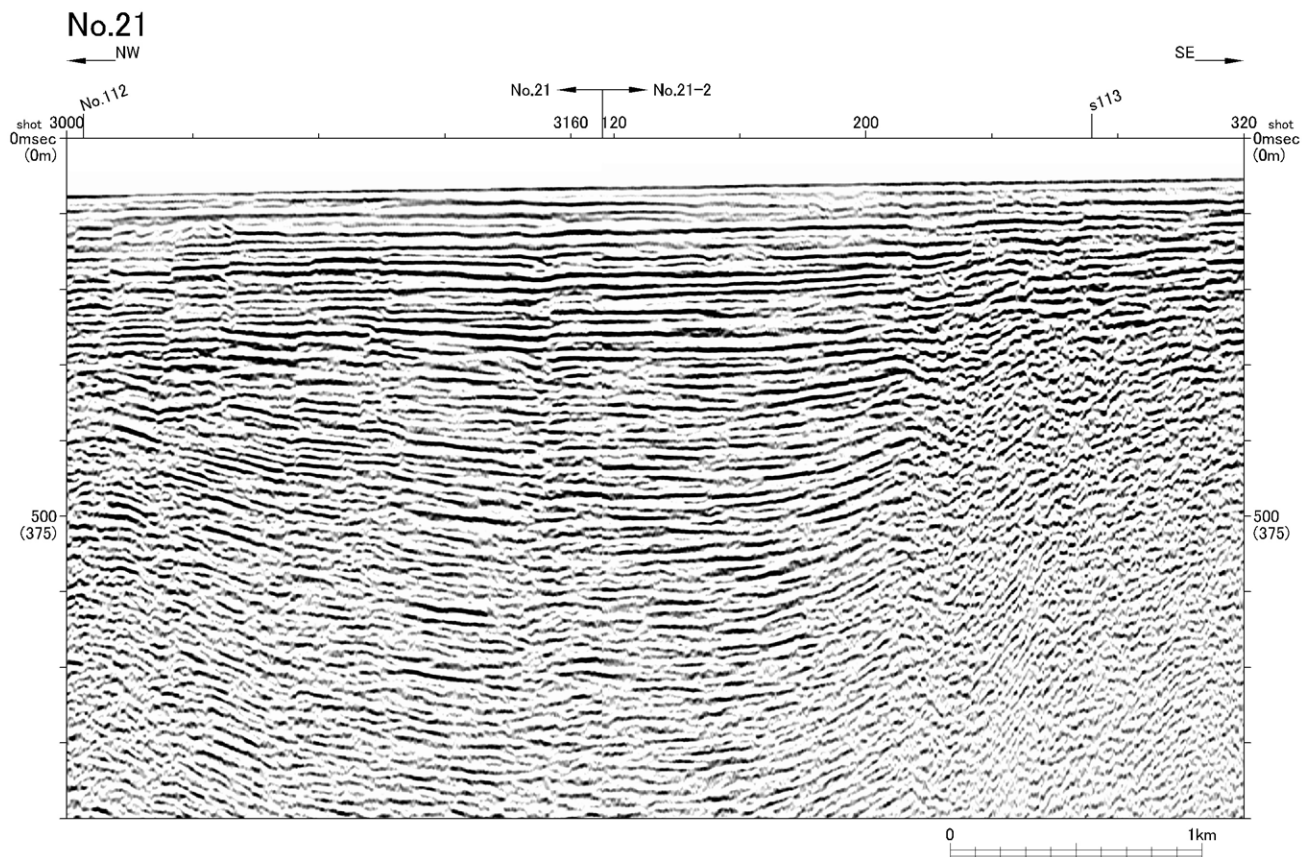


水涯線は、国土地理院発行の数値地図25000空間データ基盤(熊本・鹿児島)を編集したものである。



第1.2-172図(1) F-D断層の音波探査記録断面図 (s24測線)

1.2-687

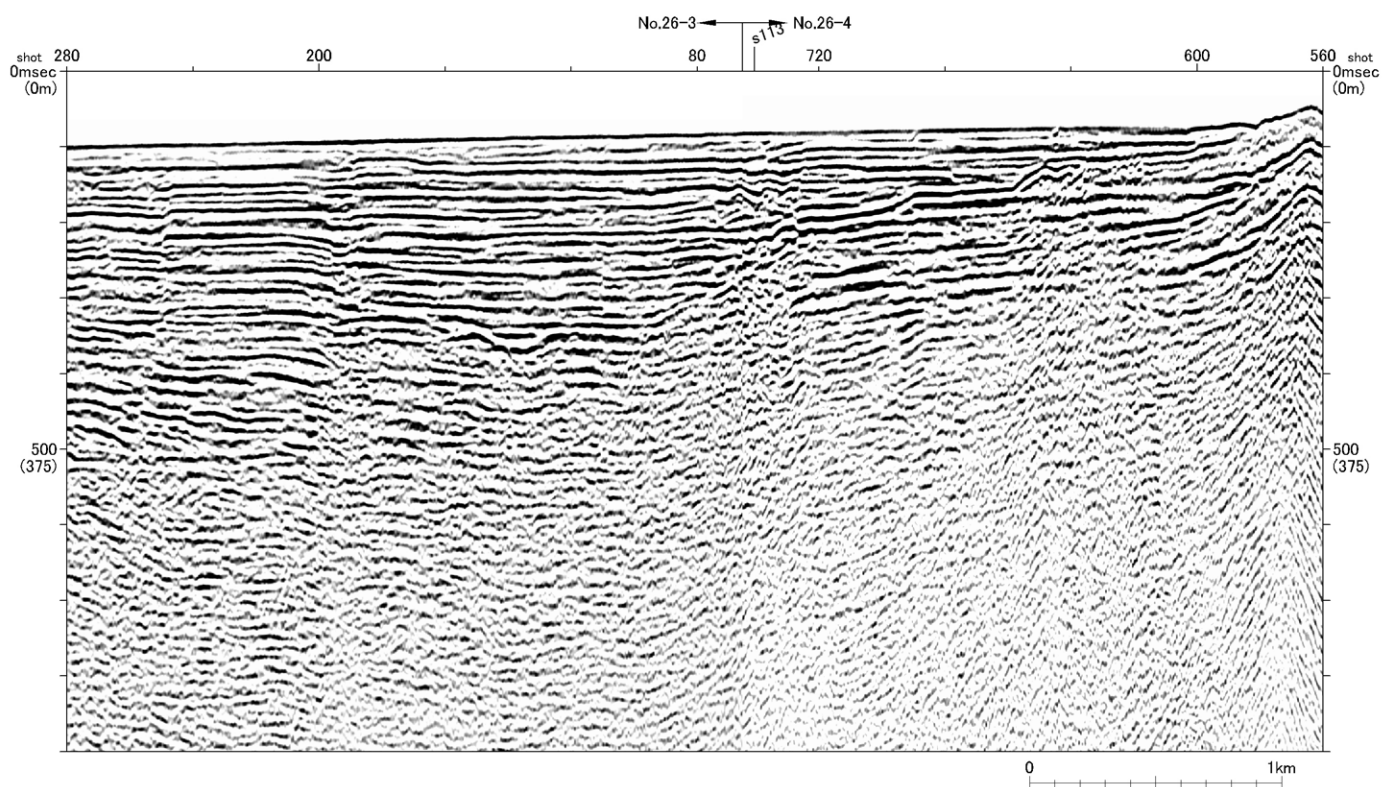


第1.2-172図(2) F-D断層の音波探査記録断面図 (No. 21測線)

No.26

NW

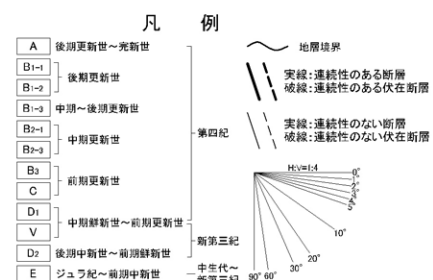
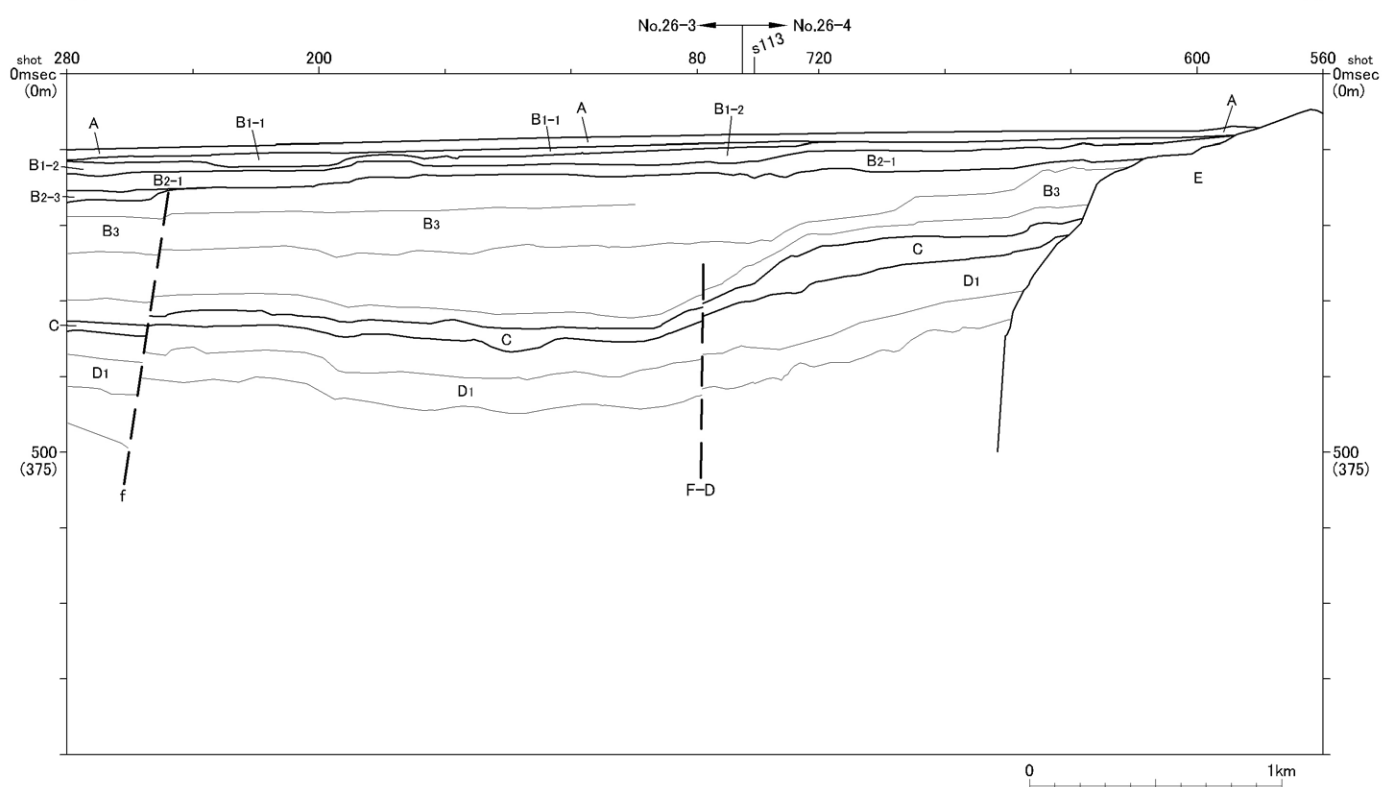
SE



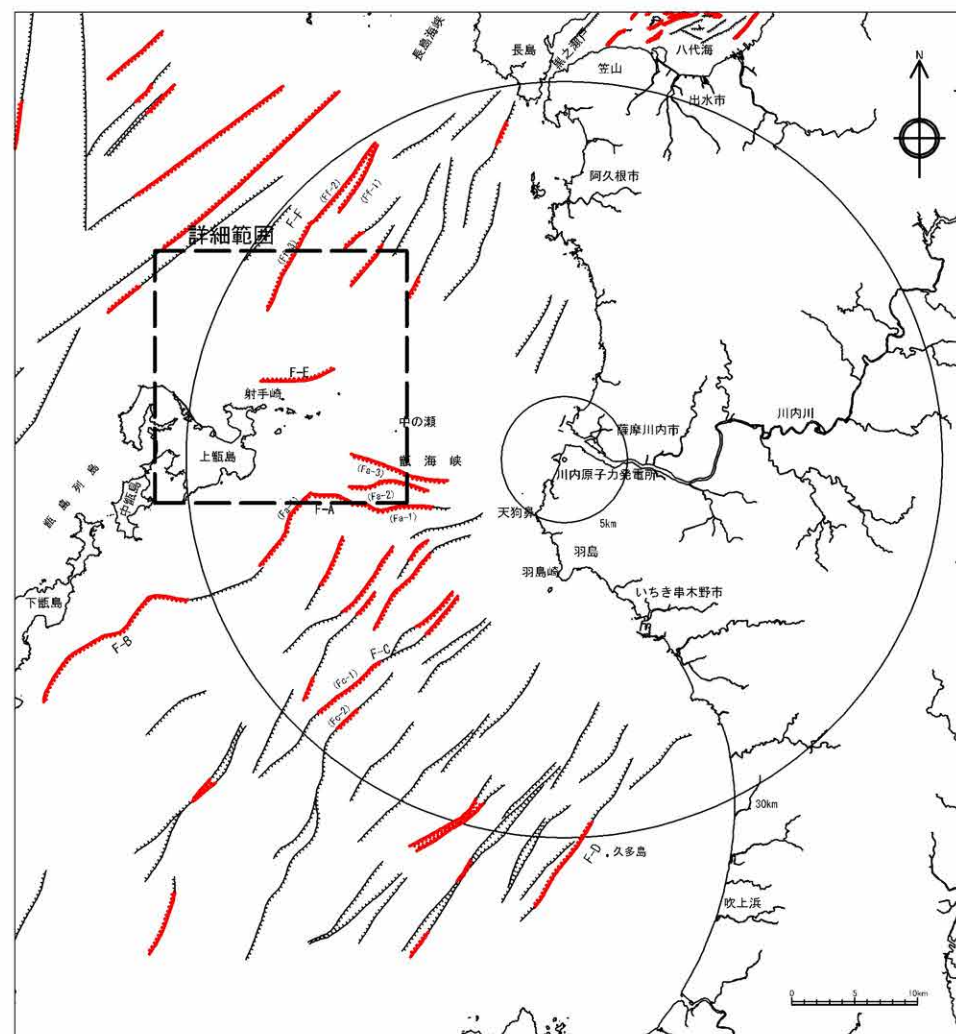
No.26

NW

SE

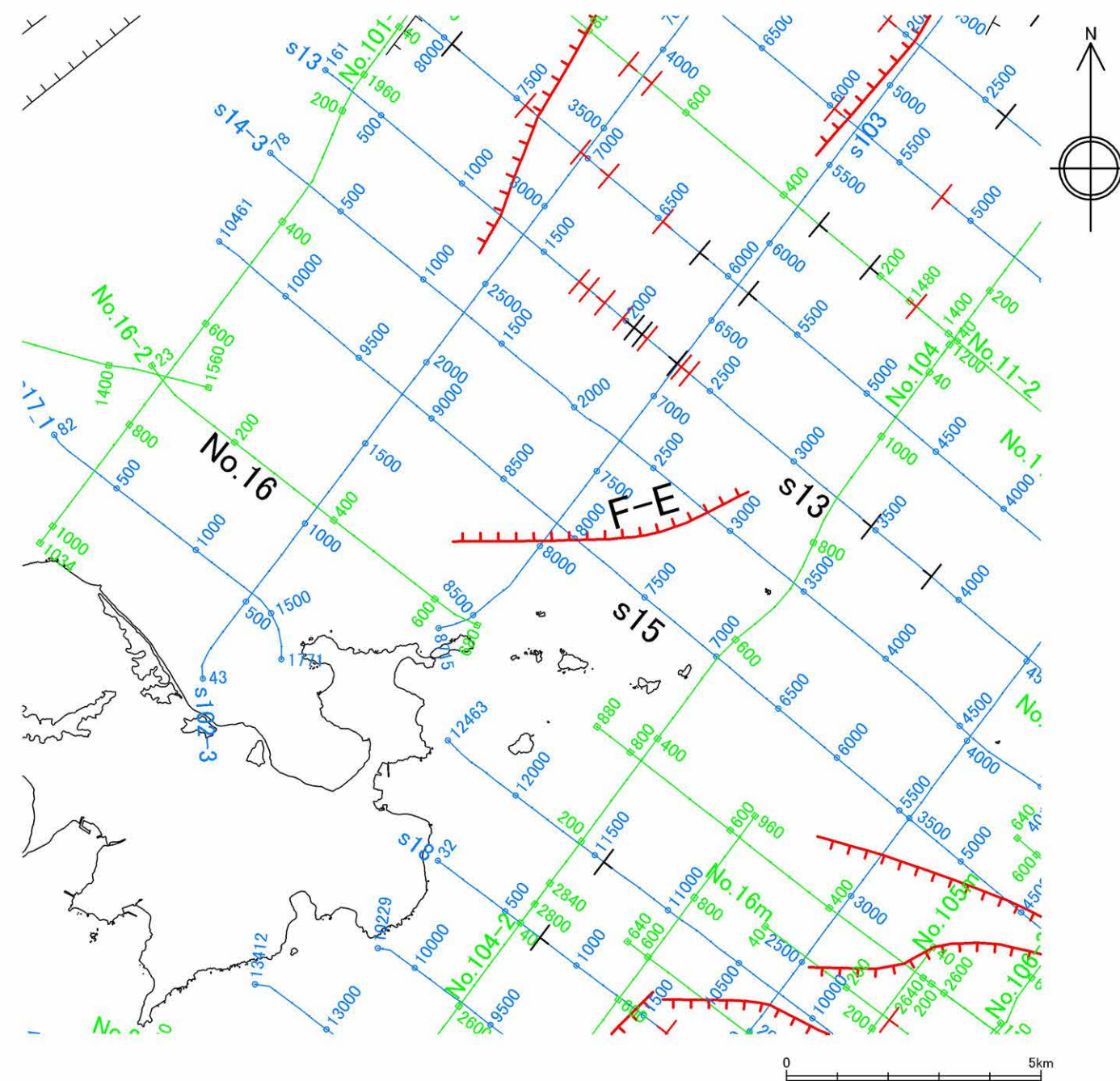


第1.2-172図(3) F-D断層の音波探査記録断面図 (No. 26測線)

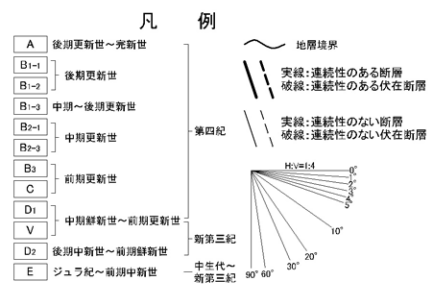
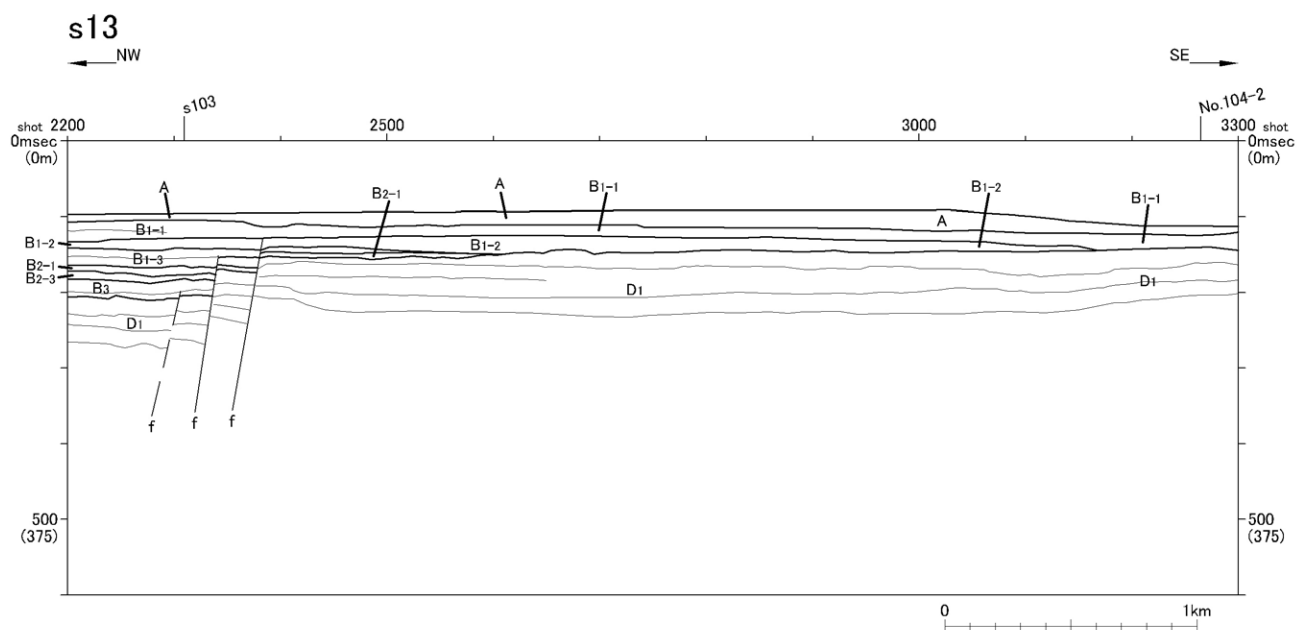
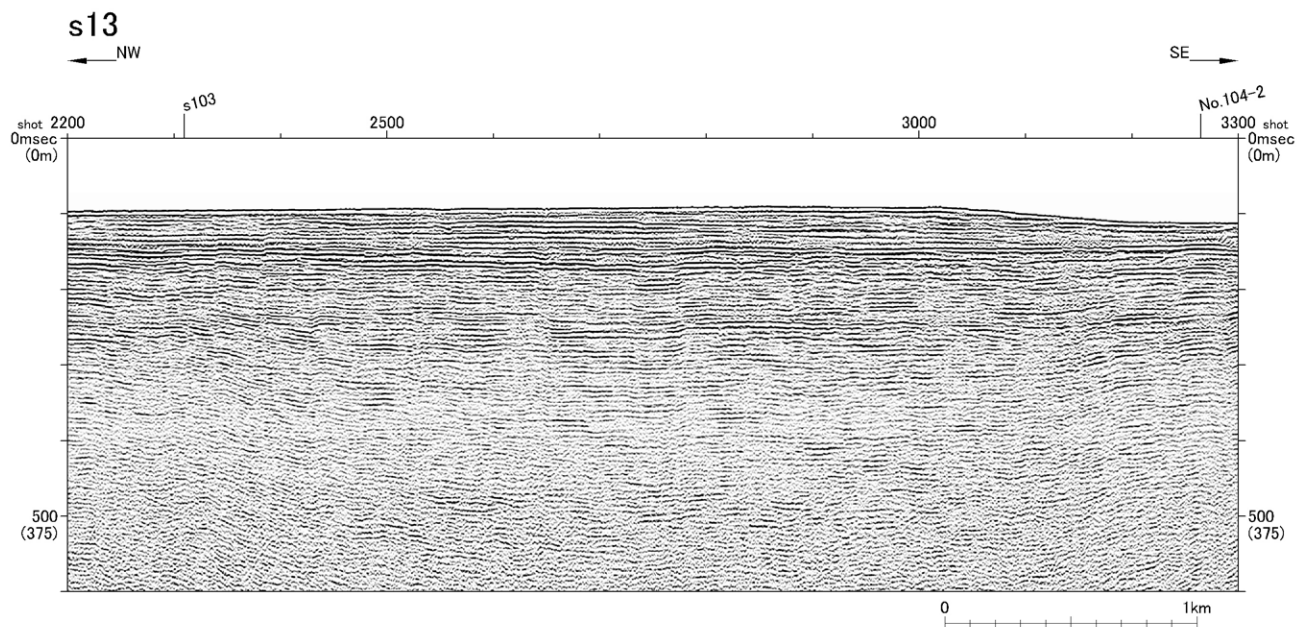


凡 例

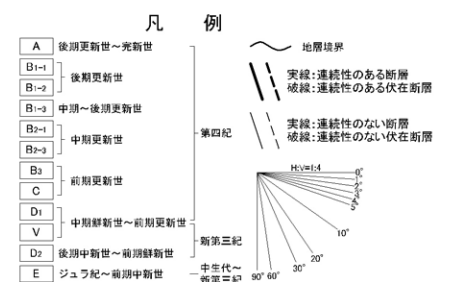
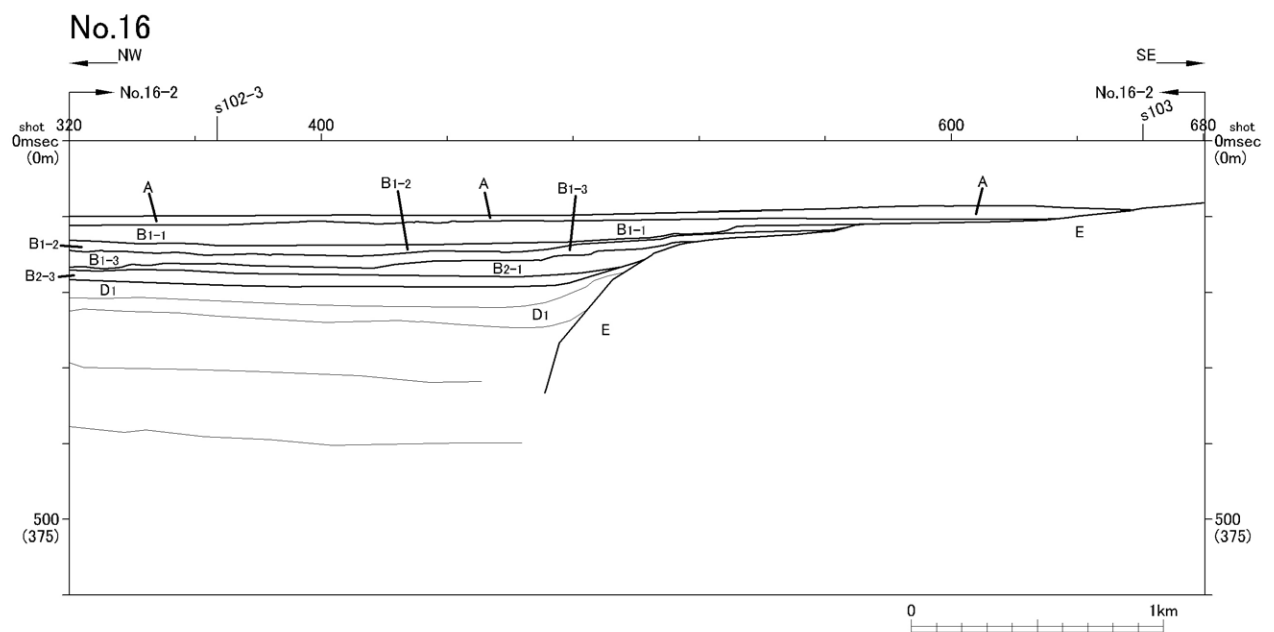
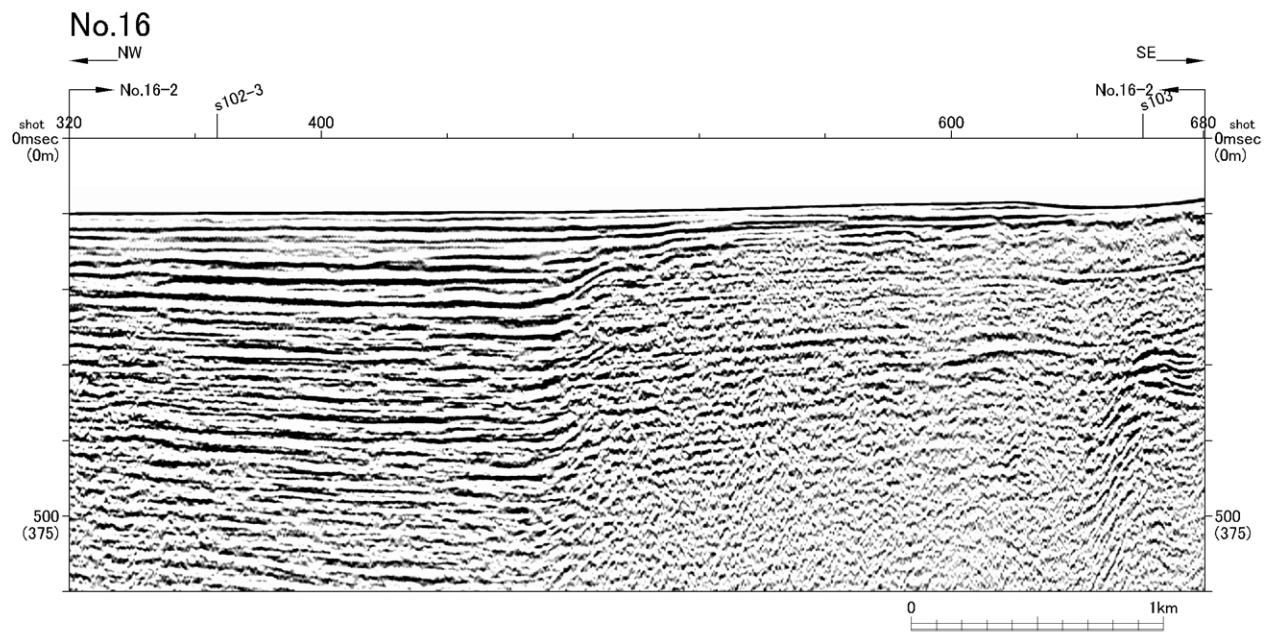
-  連続性のある断層
-  連続性のある伏在断層
-  連続性のない断層
-  連続性のない伏在断層
-  九州電力㈱によるマルチチャンネル音波探査測線
(G I ガン、ウォーターガン)
-  九州電力㈱によるシングルチャンネル音波探査測線
(ウォーターガン、スパーカ)



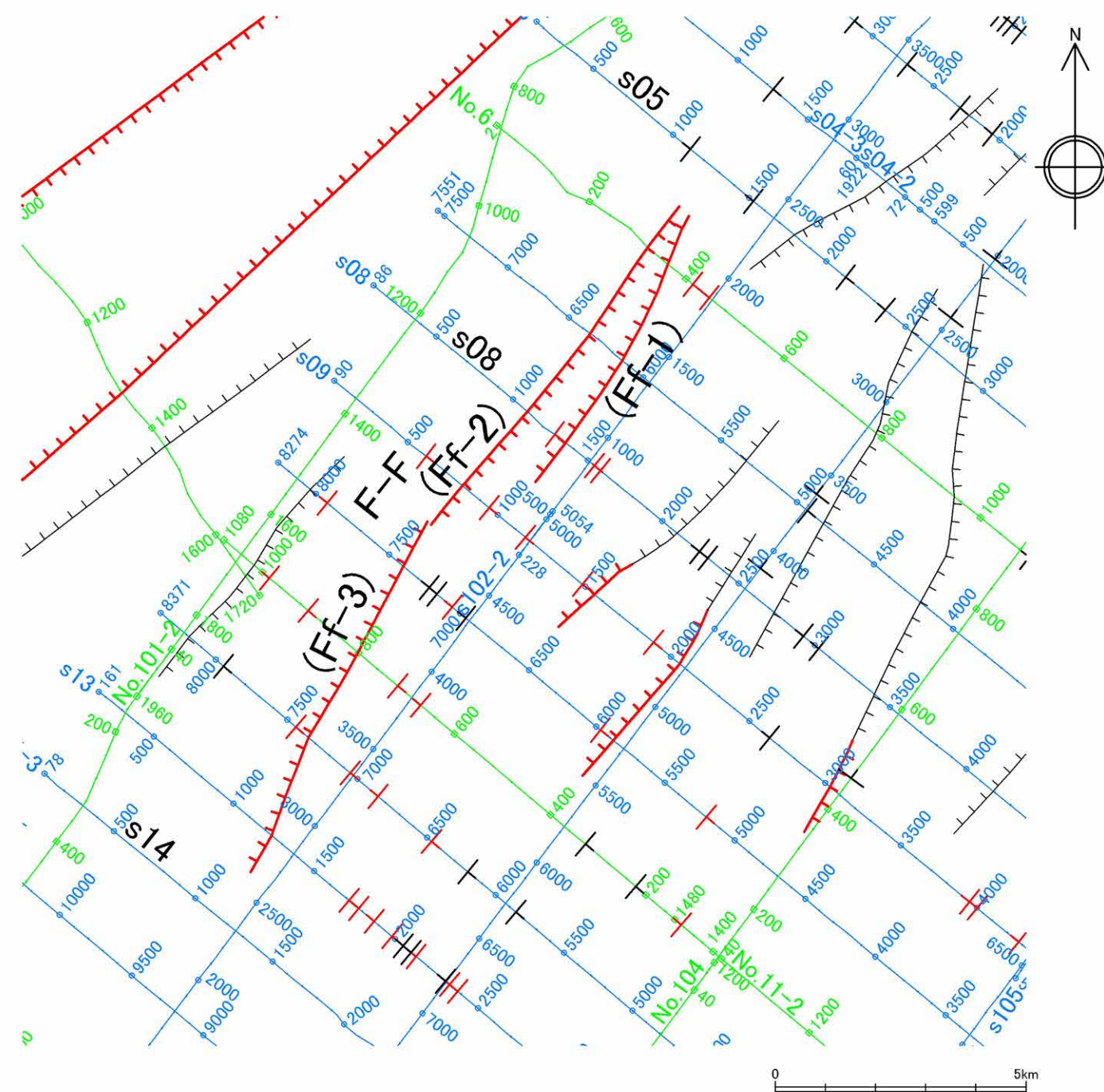
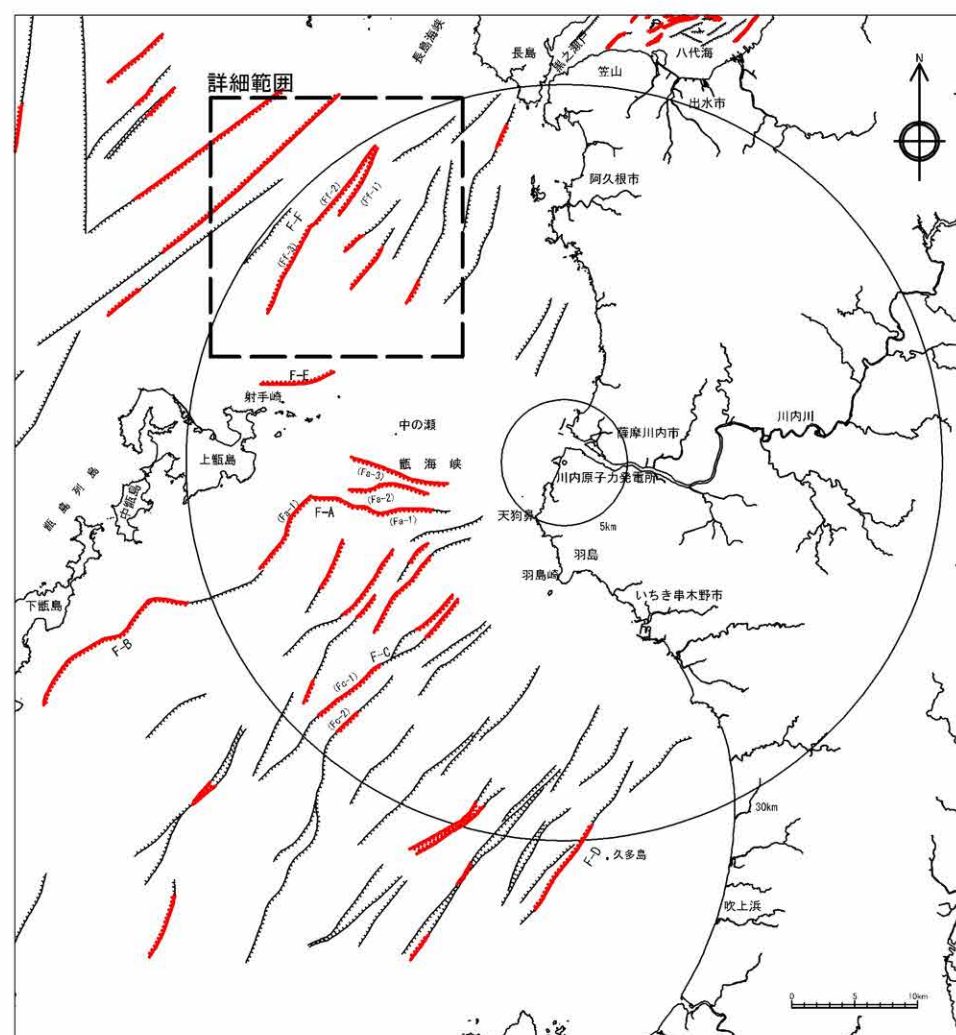
水涯線は、国土地理院発行の数値地図25000空間データ基盤(熊本・鹿児島)を編集したものである。

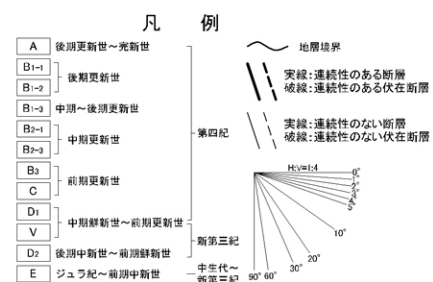
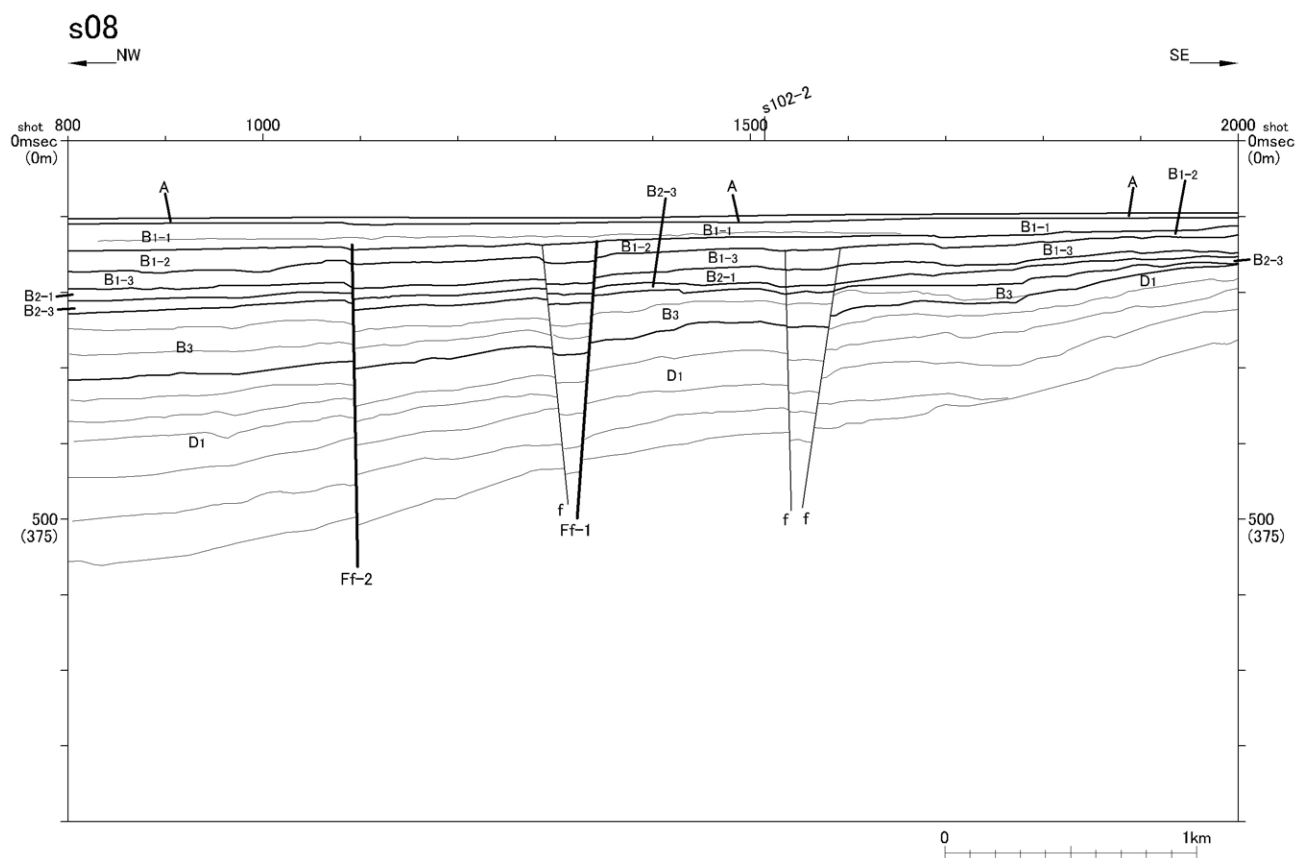
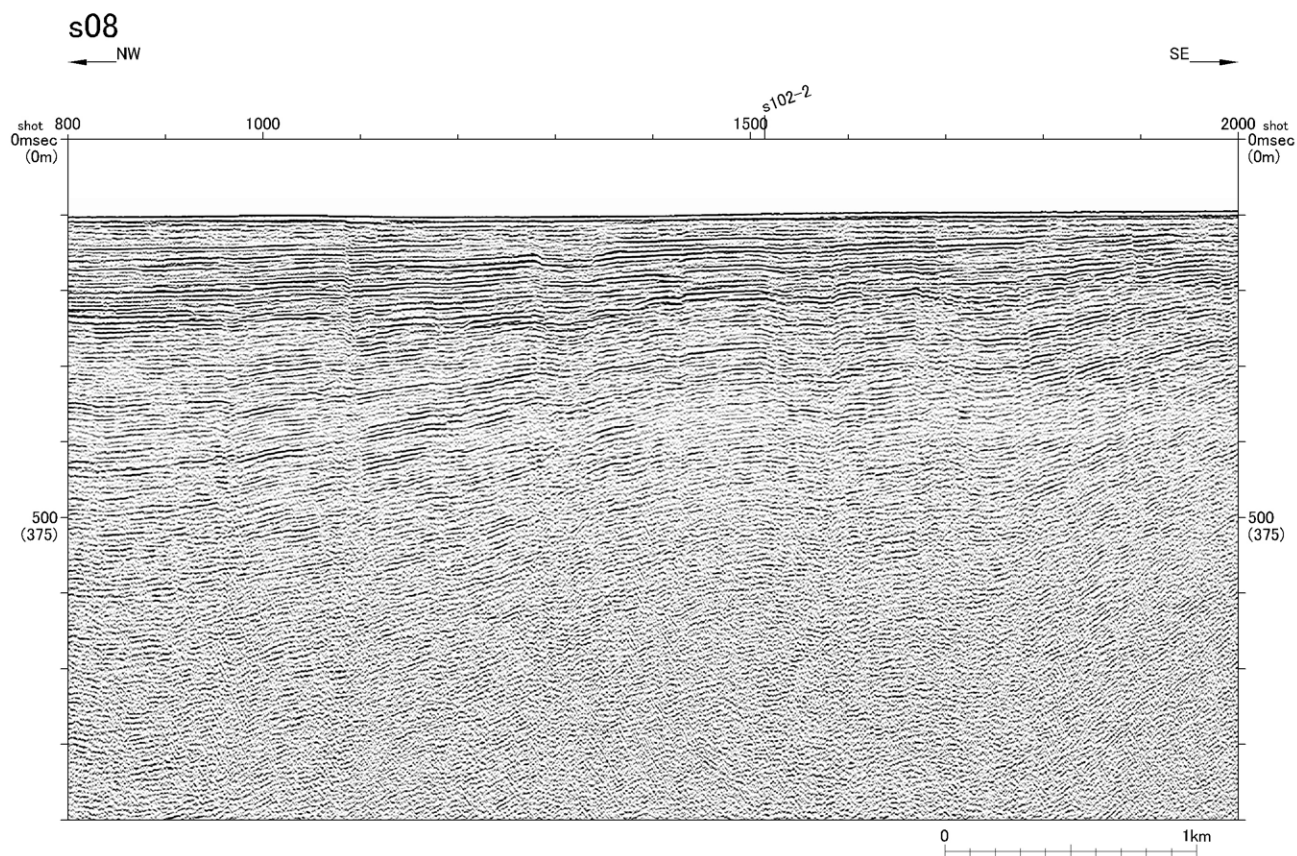


第1.2-174図(2) F-E断層の音波探査記録断面図 (s13測線)

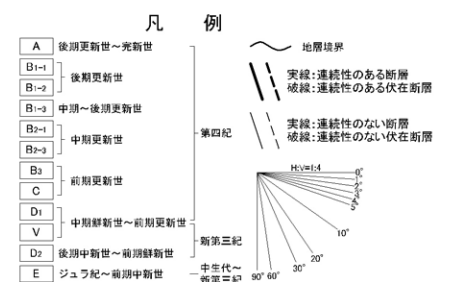
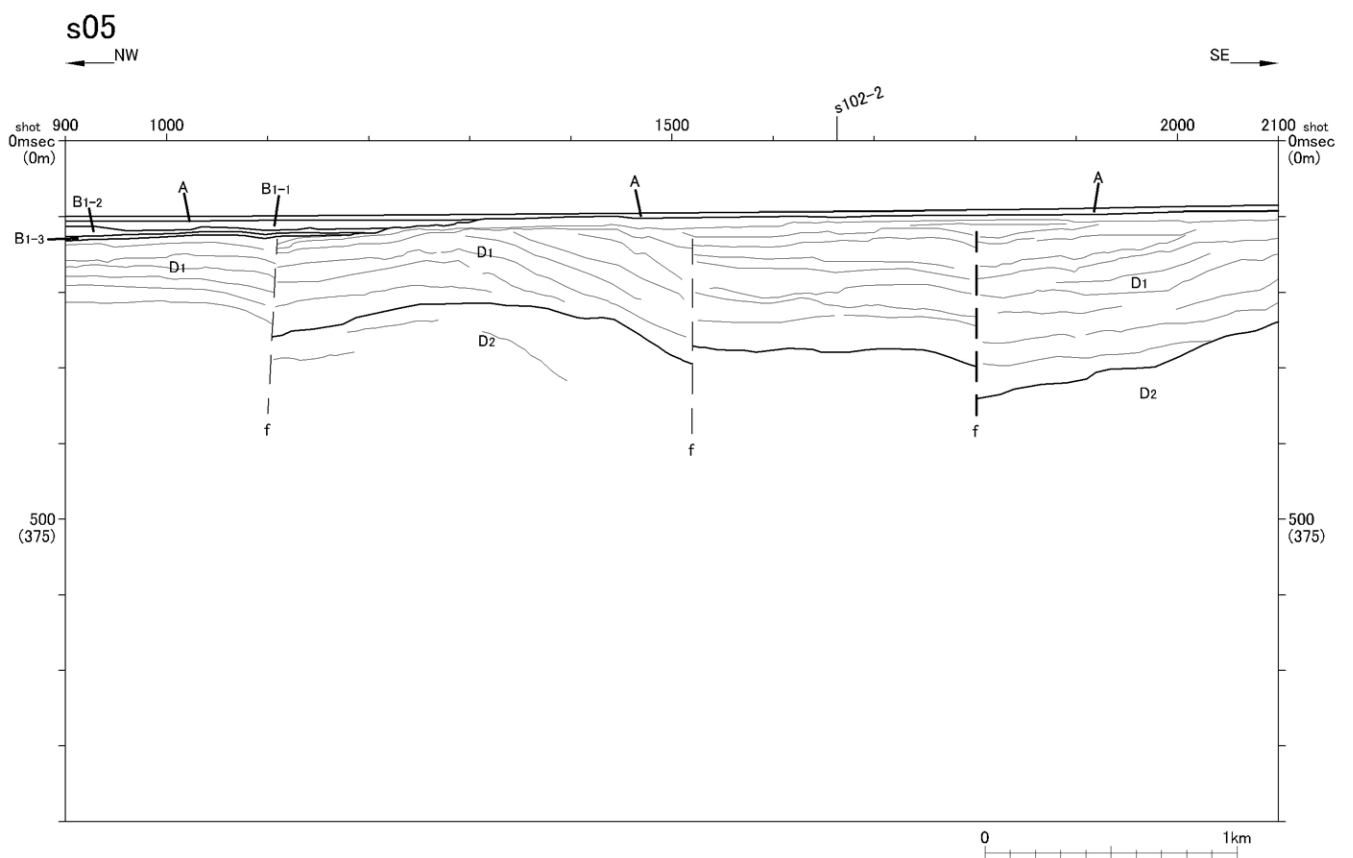
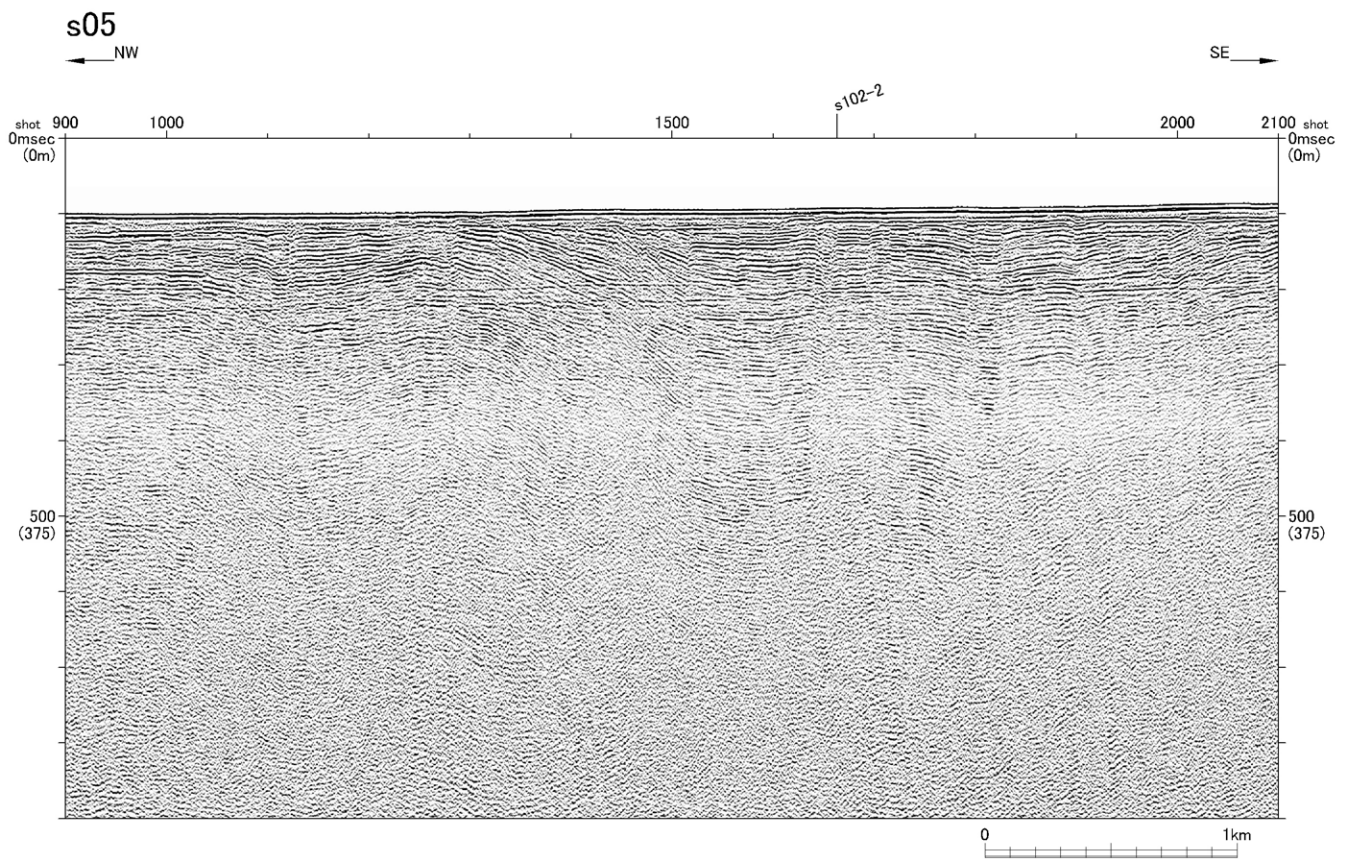


第1.2-174図(3) F-E断層の音波探査記録断面図 (No. 16測線)

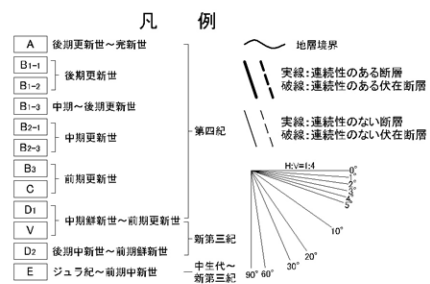
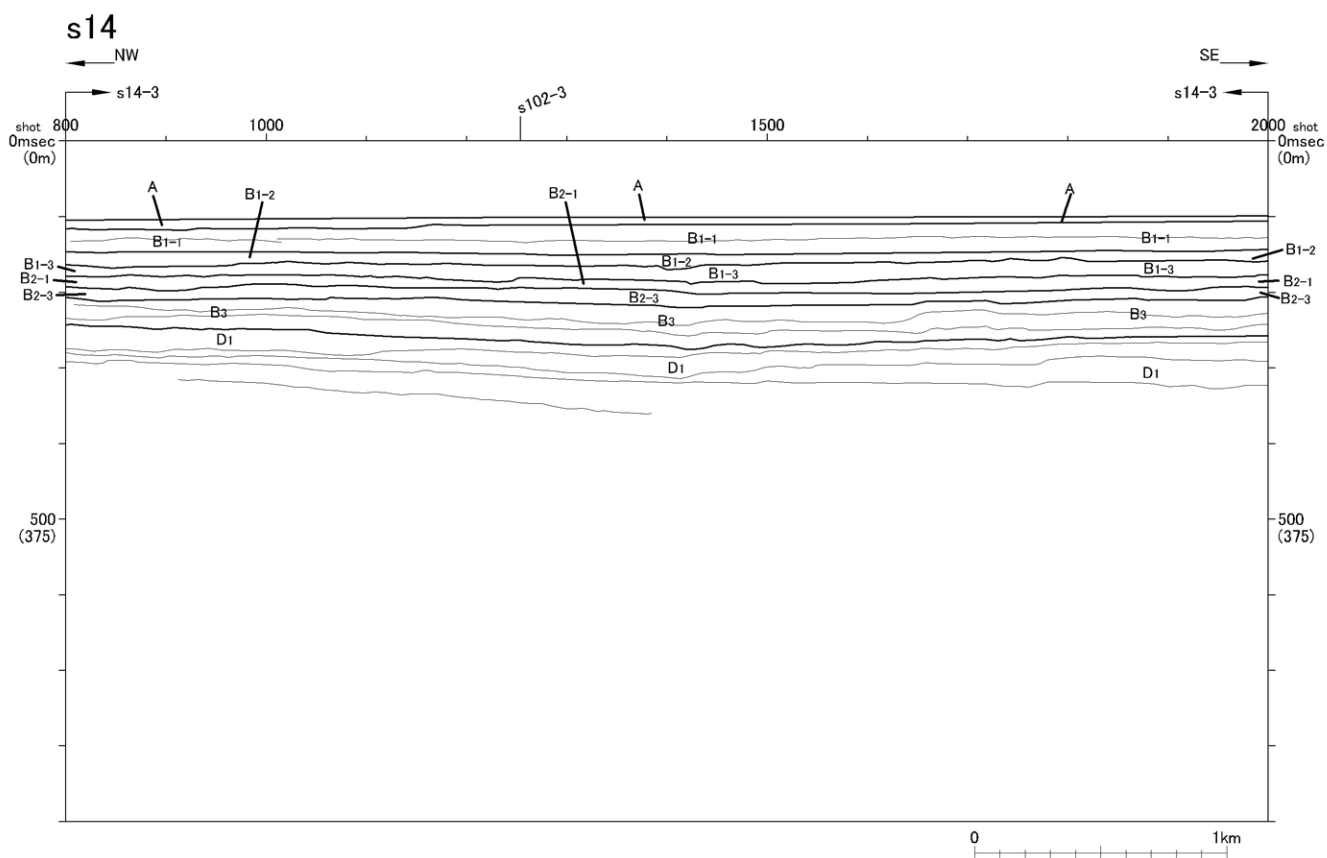
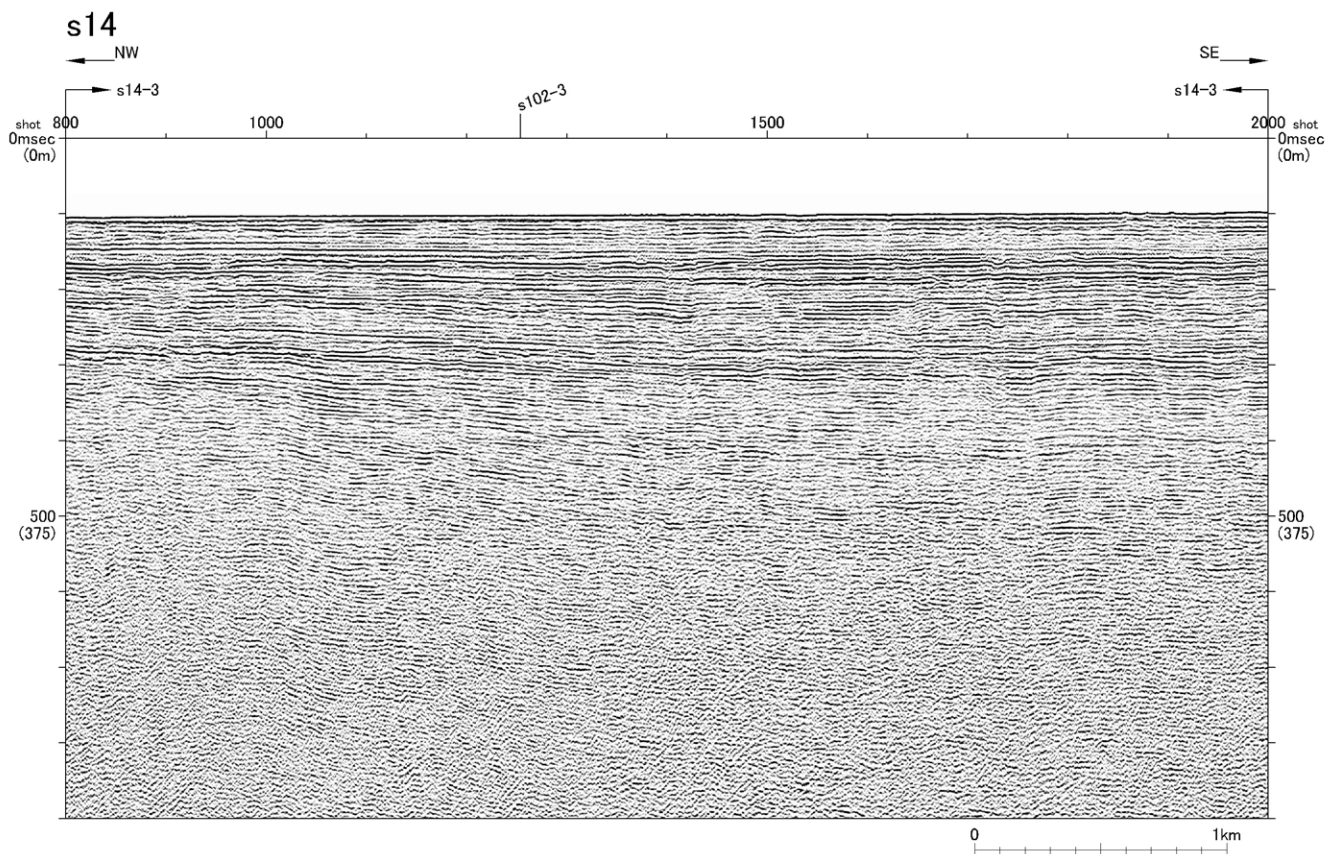




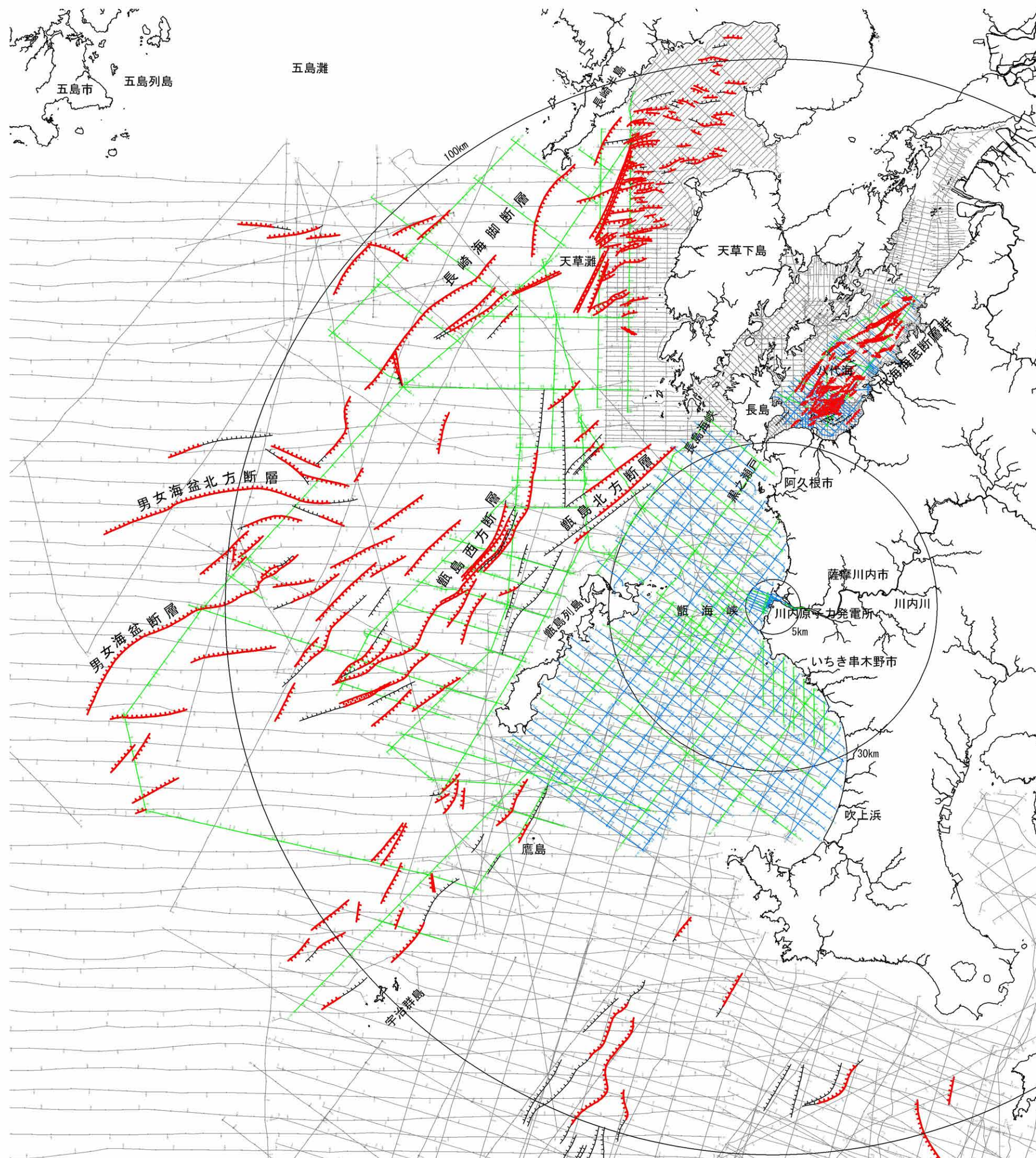
第1.2-176図(1) F－F断層の音波探査記録断面図 (s08測線)



第1.2-176図(2) F－F断層の音波探査記録断面図 (s05測線)

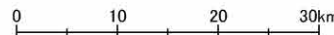


第1.2-176図(3) F-F断層の音波探査記録断面図 (s14測線)

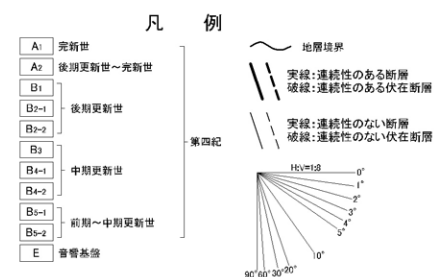
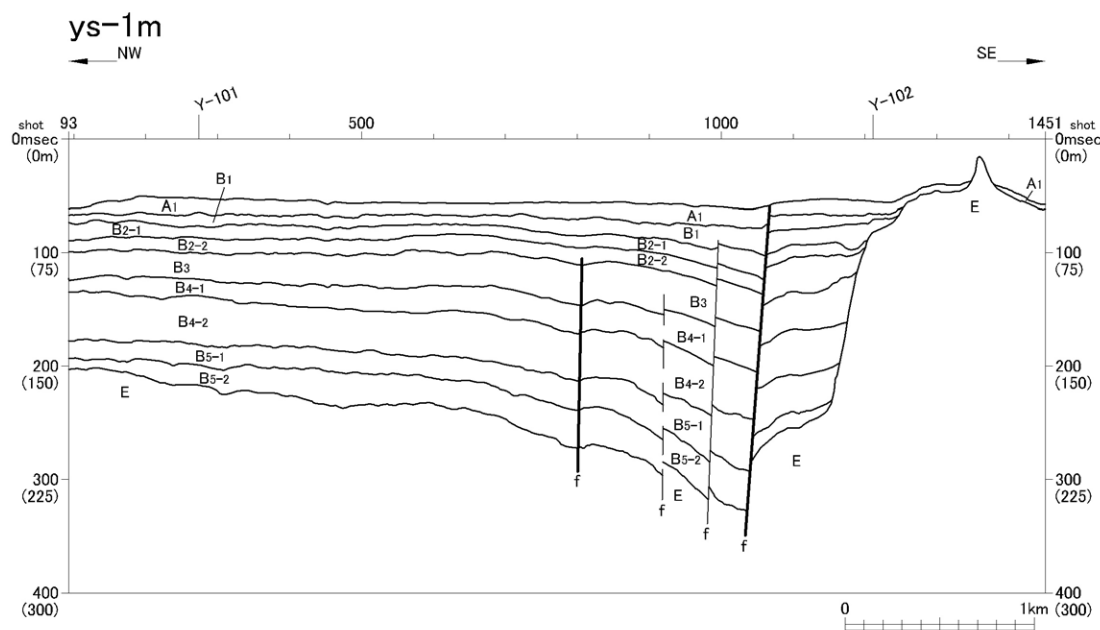
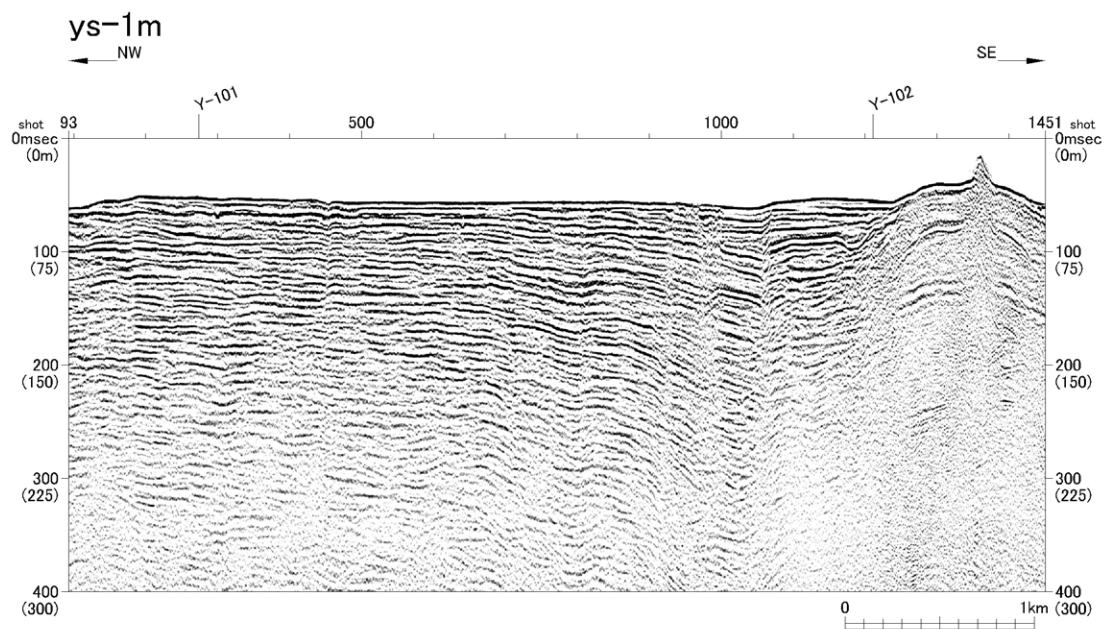


- 凡 例
- 連続性のある断層
 - 連続性のある伏在断層
 - 九州電力(株)による
マルチチャンネル音波探査測線
(G I ガン、ウォーターガン)
 - 九州電力(株)による
シングルチャンネル音波探査測線
(ウォーターガン、スパーカ)
 - 他機関による音波探査測線

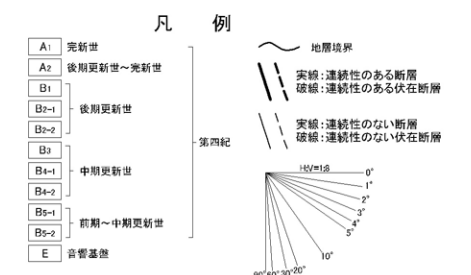
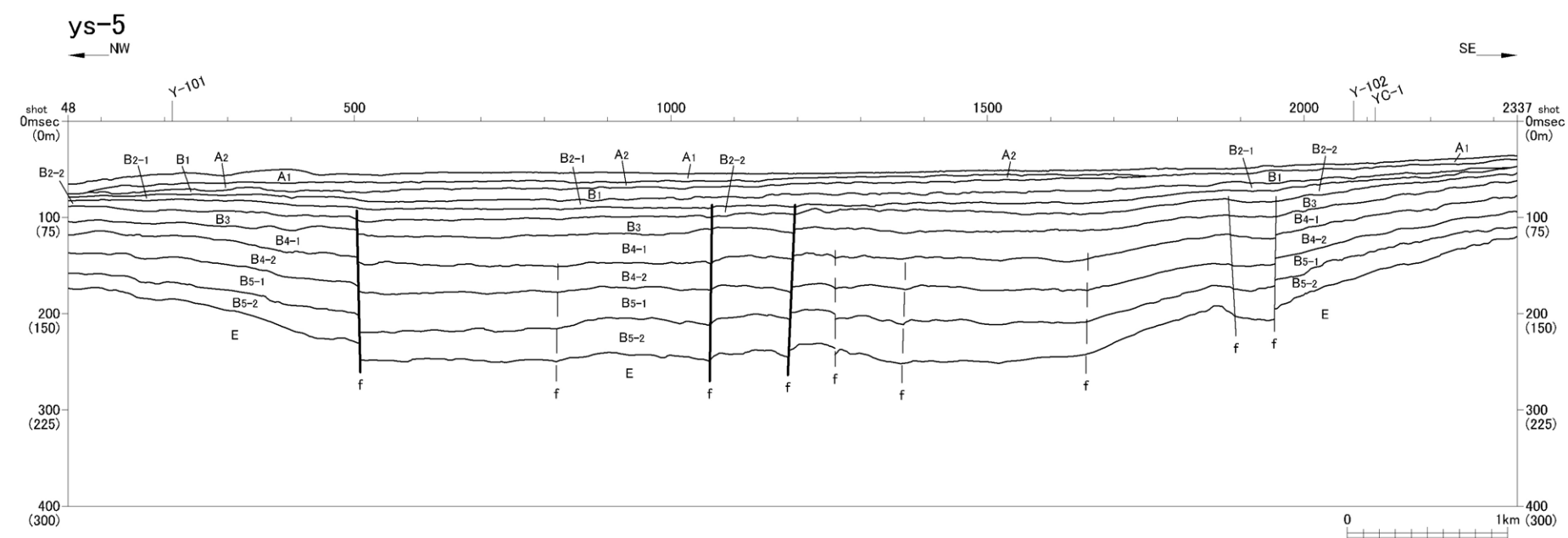
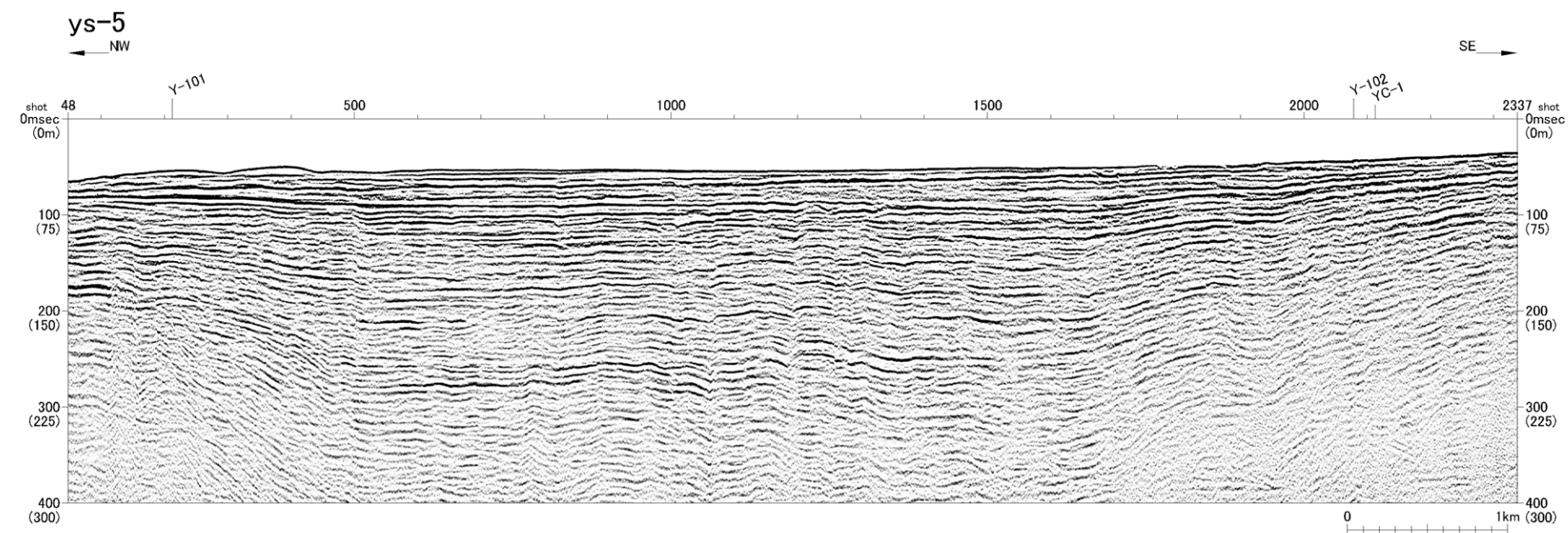
水涯線は、国土地理院発行の数値地図25000空間
データ基盤(長崎)他を編集したものである。



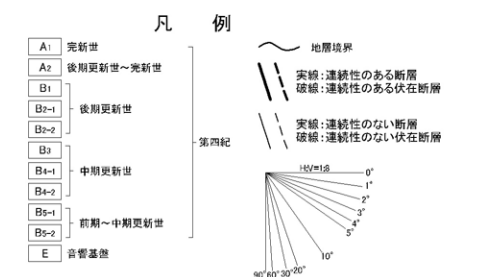
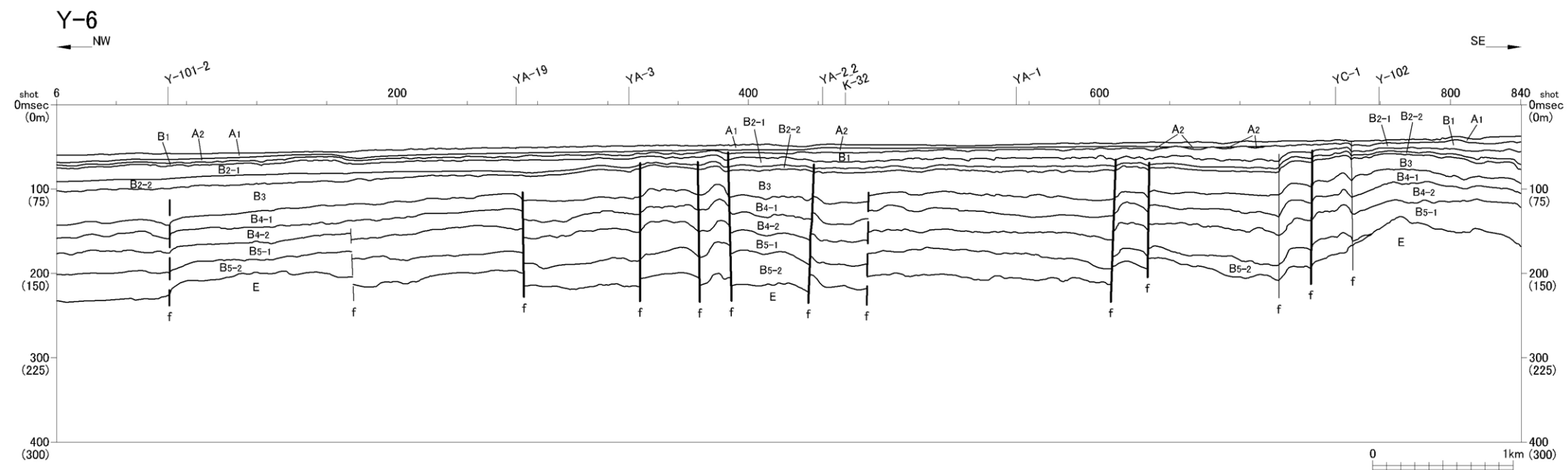
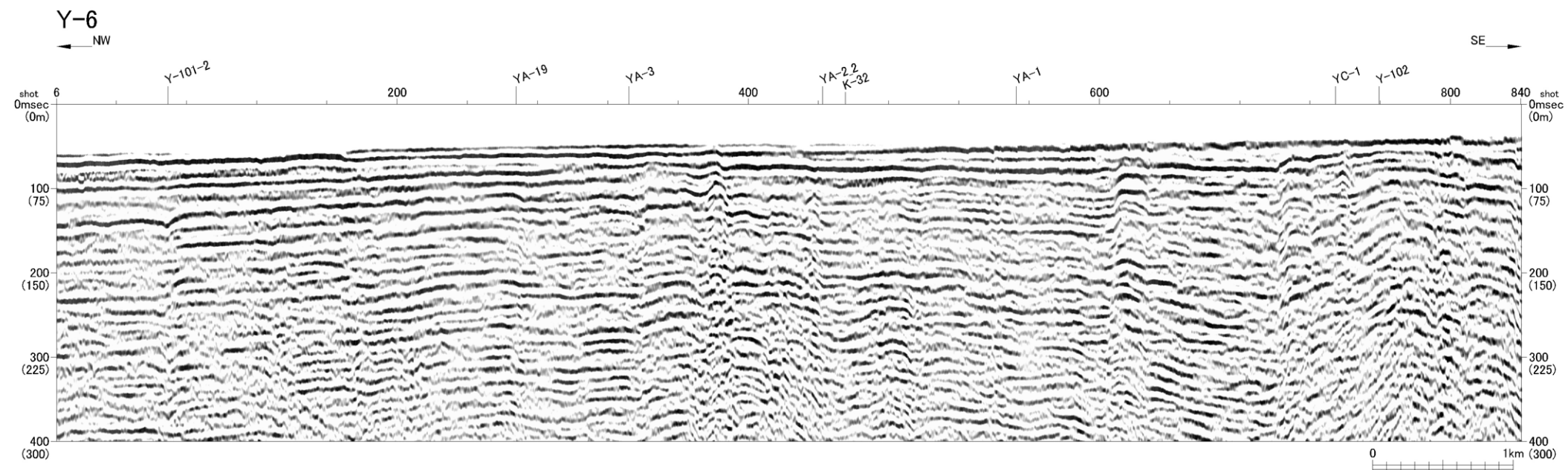
第1.2-177図 敷地周辺海域の断層分布図



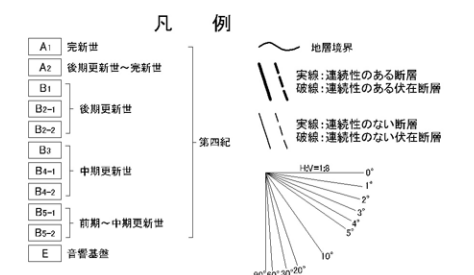
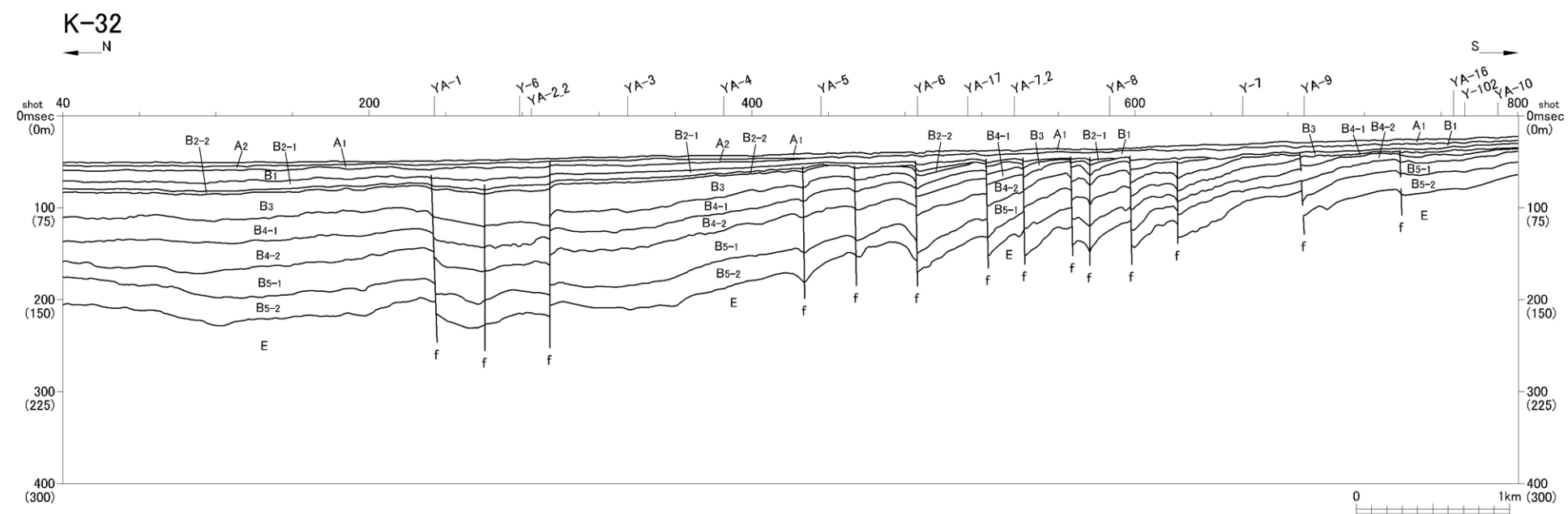
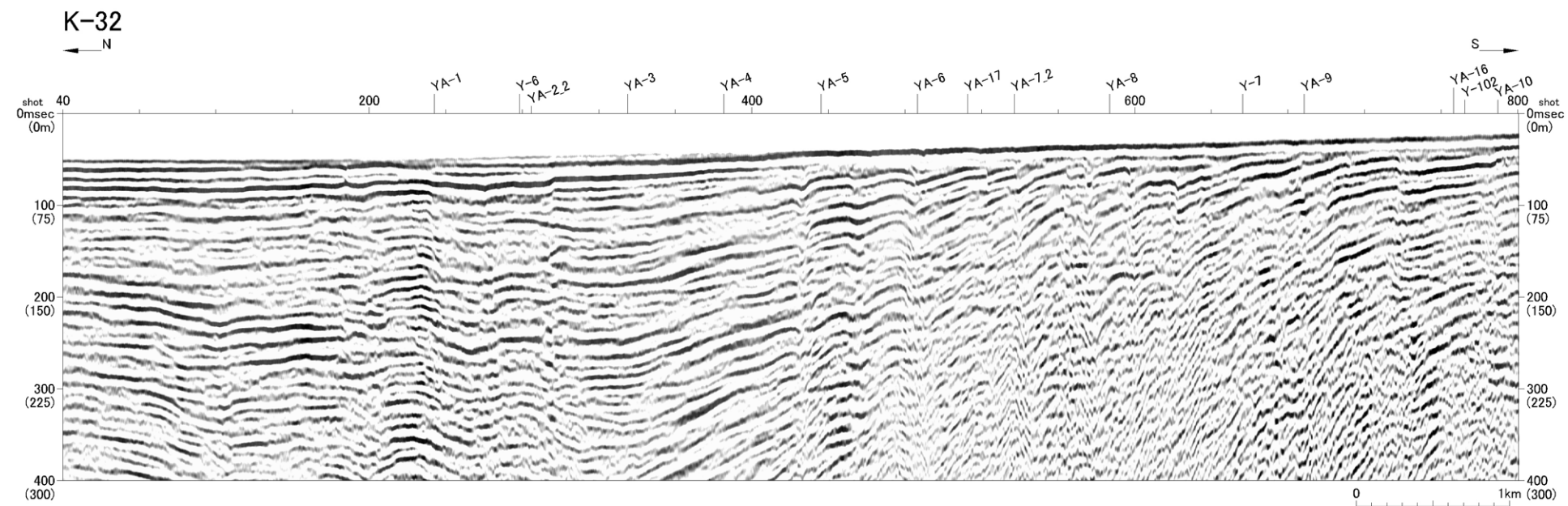
第1.2-178図 Fy-A断層群の音波探査記録断面図 (ys-1m測線)



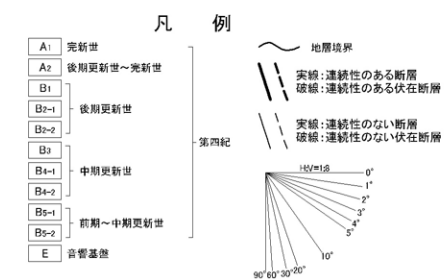
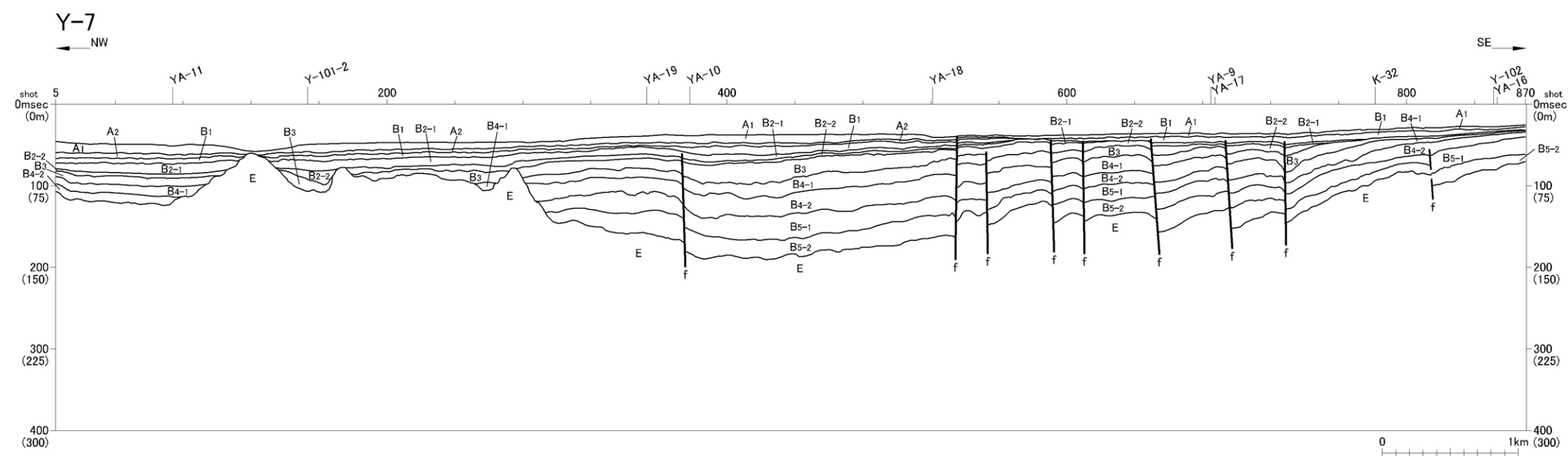
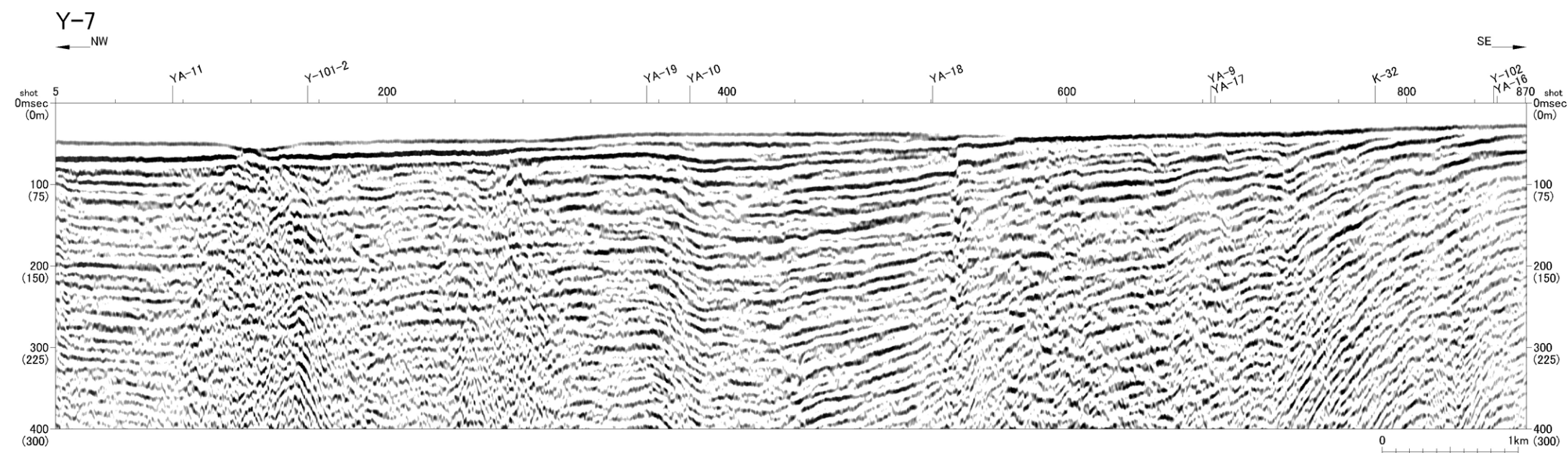
第1.2-179図(1) Fy-B断層群の音波探査記録断面図 (ys-5測線)



第1.2-179図(2) Fy-B断層群の音波探査記録断面図 (Y-6測線)

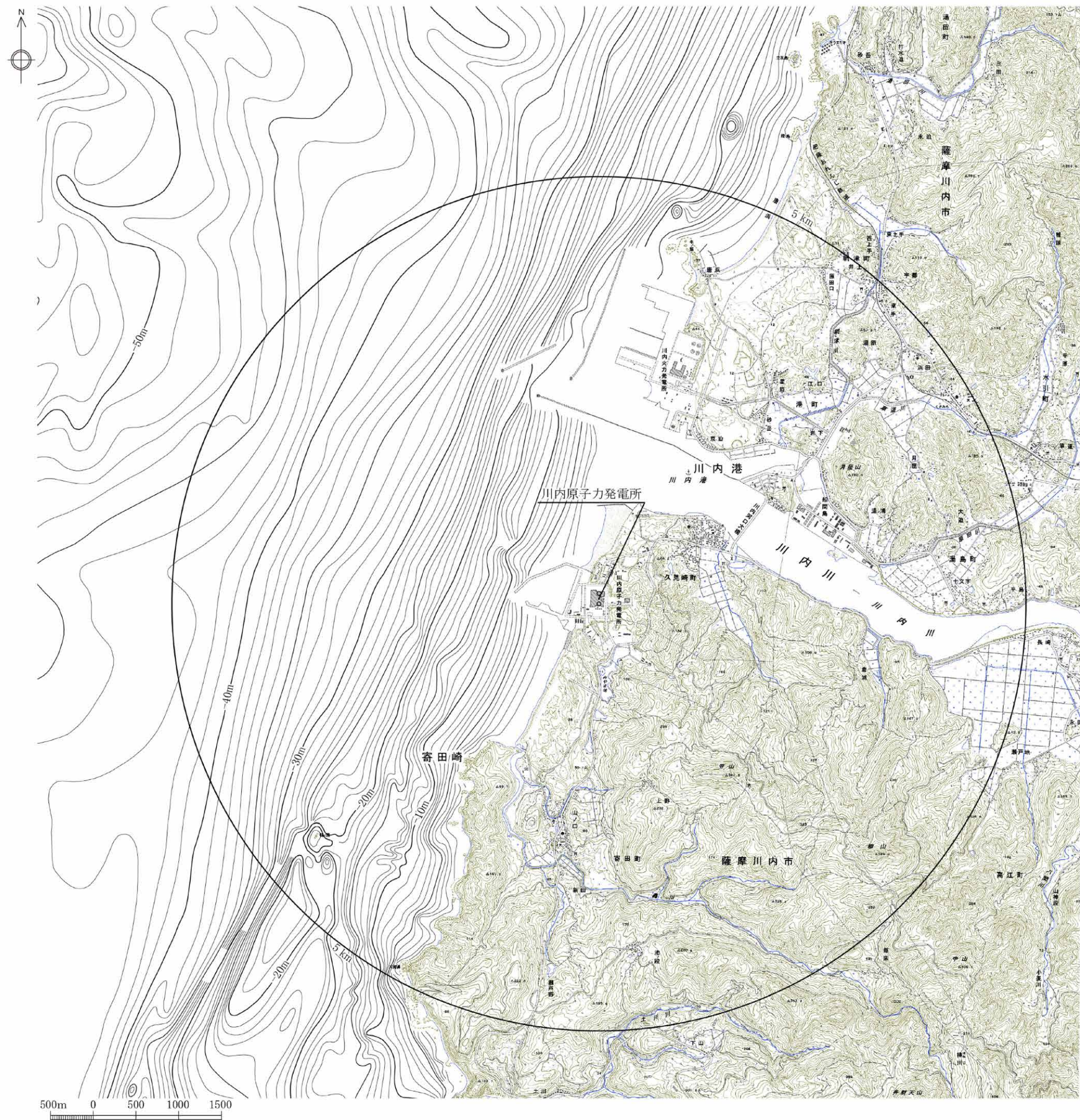


第1.2-180図(1) Fy-C断層群の音波探査記録断面図 (K-32測線)
1.2-702



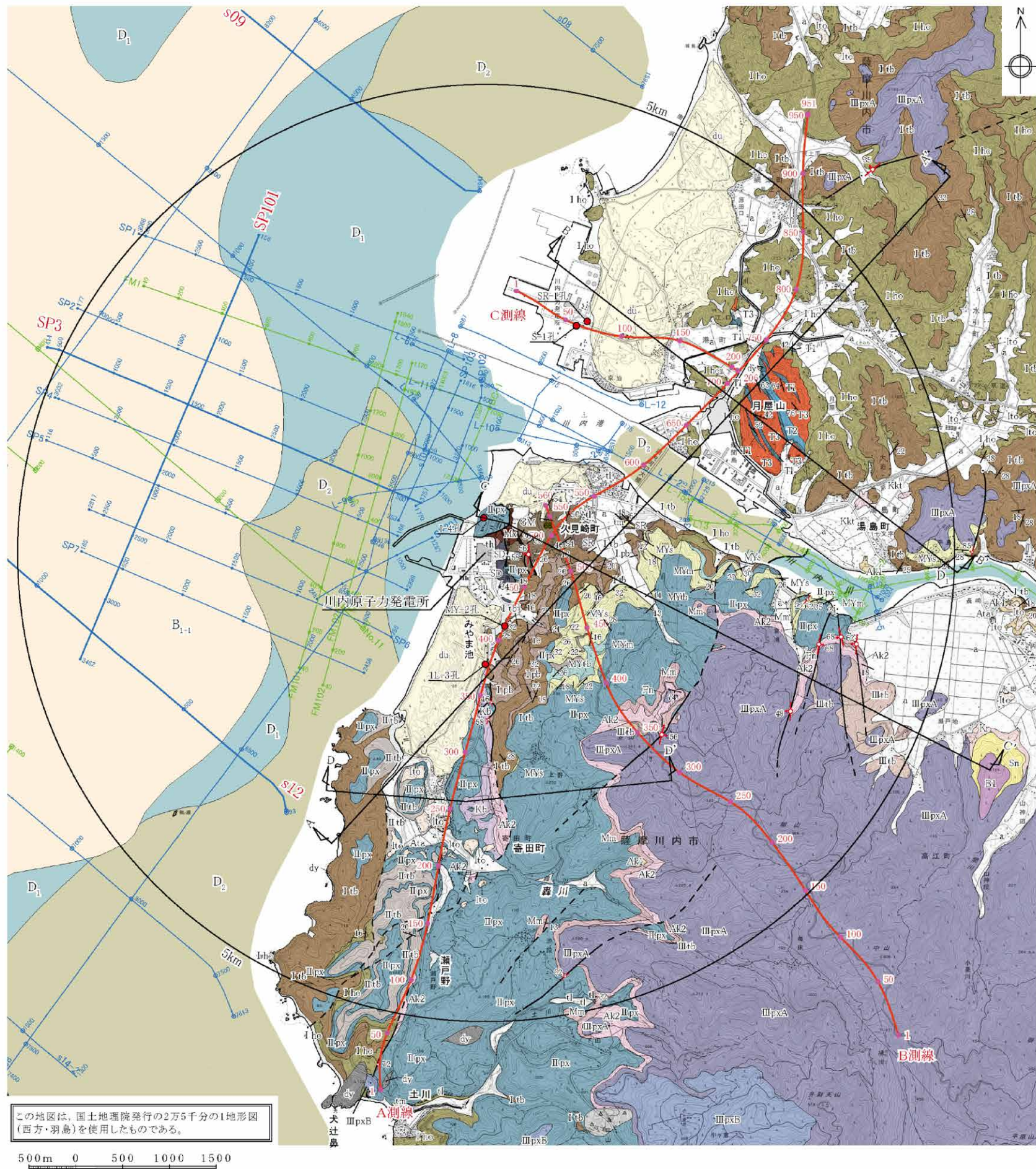
第1.2-180図(2) Fy-C断層群の音波探査記録断面図 (Y-7測線)

1.2-703



この陸域の地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図（西方・羽島）を使用したものである。海域の地図は、海上保安庁刊行の5万分の1沿岸の海の基本図（阿久根・串木野）を編集したものである。

第1.2-181図 敷地近傍の地形図



凡例-陸域

- a 沖積層及び盛土
- aa 崩壊～崖錐性堆積物
- du 砂丘堆積物
- tl 低位段丘堆積物
- lto 入戸火砕流堆積物
- Ata 阿多火砕流堆積物
- tm 中位段丘堆積物
- Kkt 加久藤火砕流堆積物
- th 高位段丘堆積物
- B1 川内玄武岩1(溶岩) 川内玄武岩類
- Sn 川内火砕流堆積物
- dy 貫入岩類
- Kr 倉野火砕流堆積物
- IIIpxB 輝石安山岩溶岩B
- IIIpxA 輝石安山岩溶岩A
- IIIto 輝石安山岩質凝灰角礫岩
- Ak2 阿久根2火砕流堆積物
- Kb 久保野火砕流堆積物
- Fr 舟川火砕流堆積物
- Mm 百次火砕流堆積物
- Ak1 阿久根1火砕流堆積物
- IIpx 輝石安山岩溶岩
- IIto 凝灰角礫岩～火山礫凝灰岩・火山角礫岩
- MYm 凝灰質泥岩
- MYs 凝灰質砂岩
- MYto 輝石安山岩質凝灰角礫岩・礫岩
- Itb 軽石質凝灰角礫岩
- Ito 火山・凝灰角礫岩
- Iho 角閃石安山岩溶岩
- SL 澗浪層
- GM 久見崎層
- SD 川内層
- Mk 混在岩
- TS チャート
- LR 石灰岩
- TI 砂岩・粘板岩

凡例-海域

[A層を除いた地質図]

- B₁₋₁ B₁₋₁層
- D₁ D₁層
- D₂ D₂層

音波探査凡例

- 九州電力株式会社によるシングルチャンネル音波探査 (ウォーターガン, スパーク)
- 九州電力株式会社による6chマルチチャンネル音波探査 (ウォーターガン)

断層(破線は推定, 点線は伏在)

断層面の走向・傾斜

層理面の走向・傾斜

地質断面位置

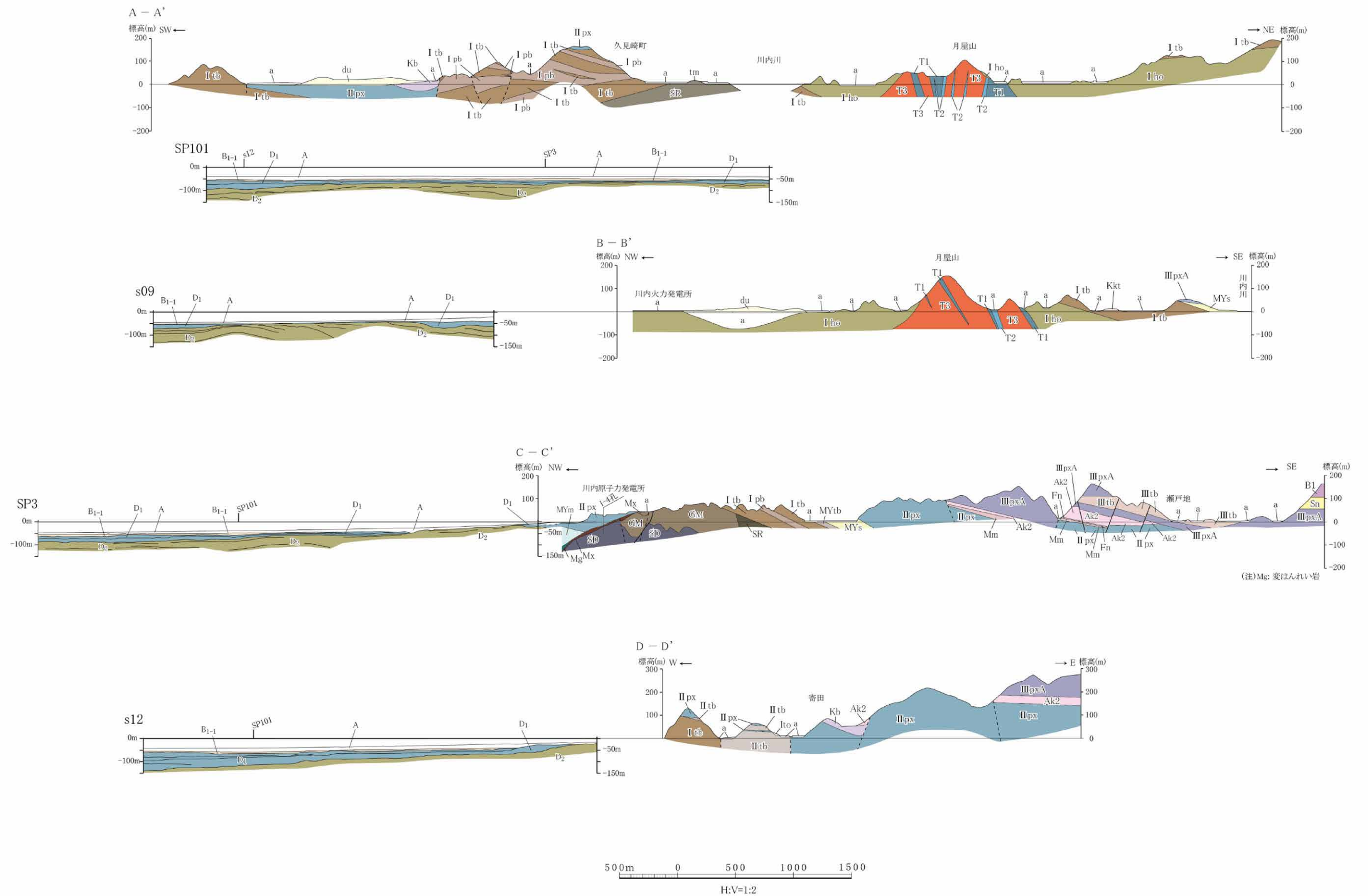
反射法地震探査解析測線 (数字はCMP番号)

ボーリング位置・孔番号

地質時代			陸域の地質	海域の地層	
新生代	第四紀	更新世	完新世	沖積層・砂丘堆積物など	A 層
			後期	入戸火砕流堆積物	B ₁₋₁ 層
		中期	阿多火砕流堆積物など		
			加久藤火砕流堆積物など		
	前期				
		第三紀	鮮新世	北薩火山岩類Ⅱ・Ⅲ*	D ₁ 層
中新世	北薩火山岩類Ⅰ		D ₂ 層		
中生代	白亜紀	秩父層群	E 層		
	ジュラ紀				

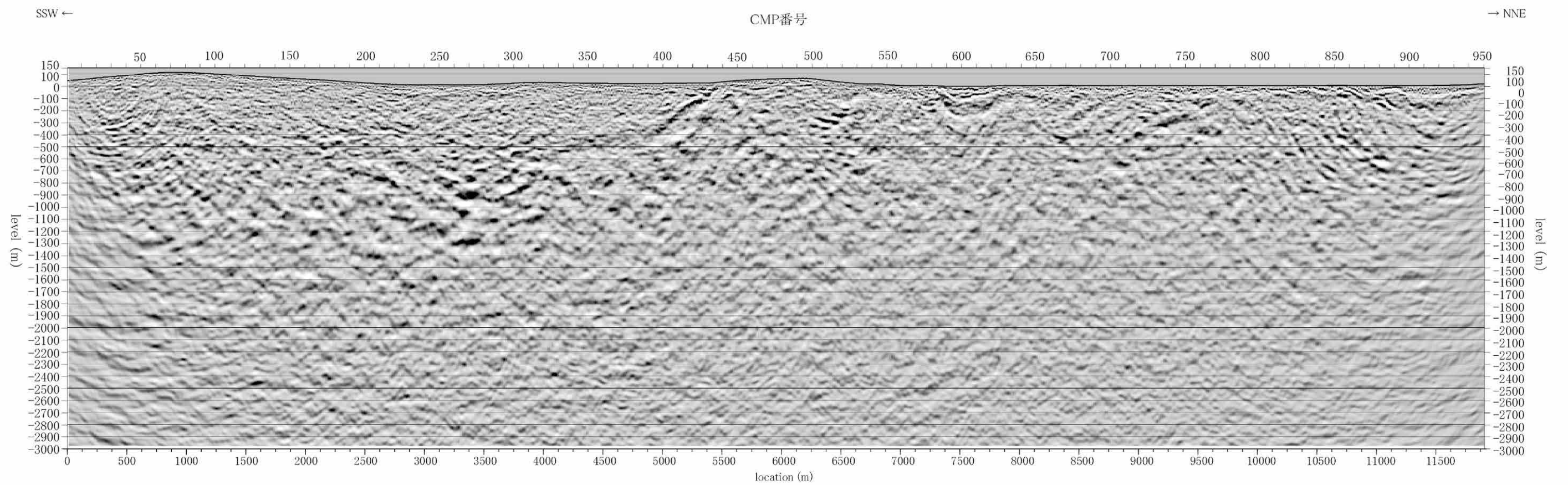
*: 阿久根2火砕流堆積物、久保野火砕流堆積物、舟川火砕流堆積物及び百次火砕流堆積物を含む。

第1.2-182図 敷地近傍の地質図



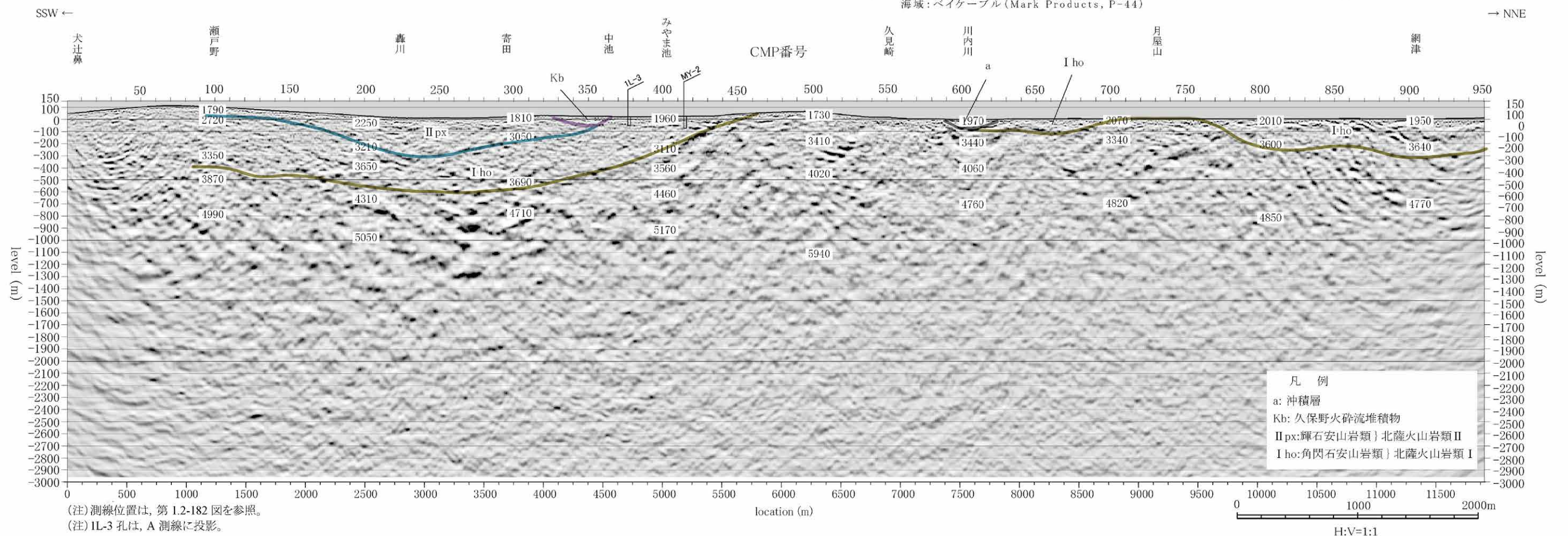
(注) 凡例は、第 1.2-182 図を参照。

第1.2-183図 敷地近傍の地質断面図

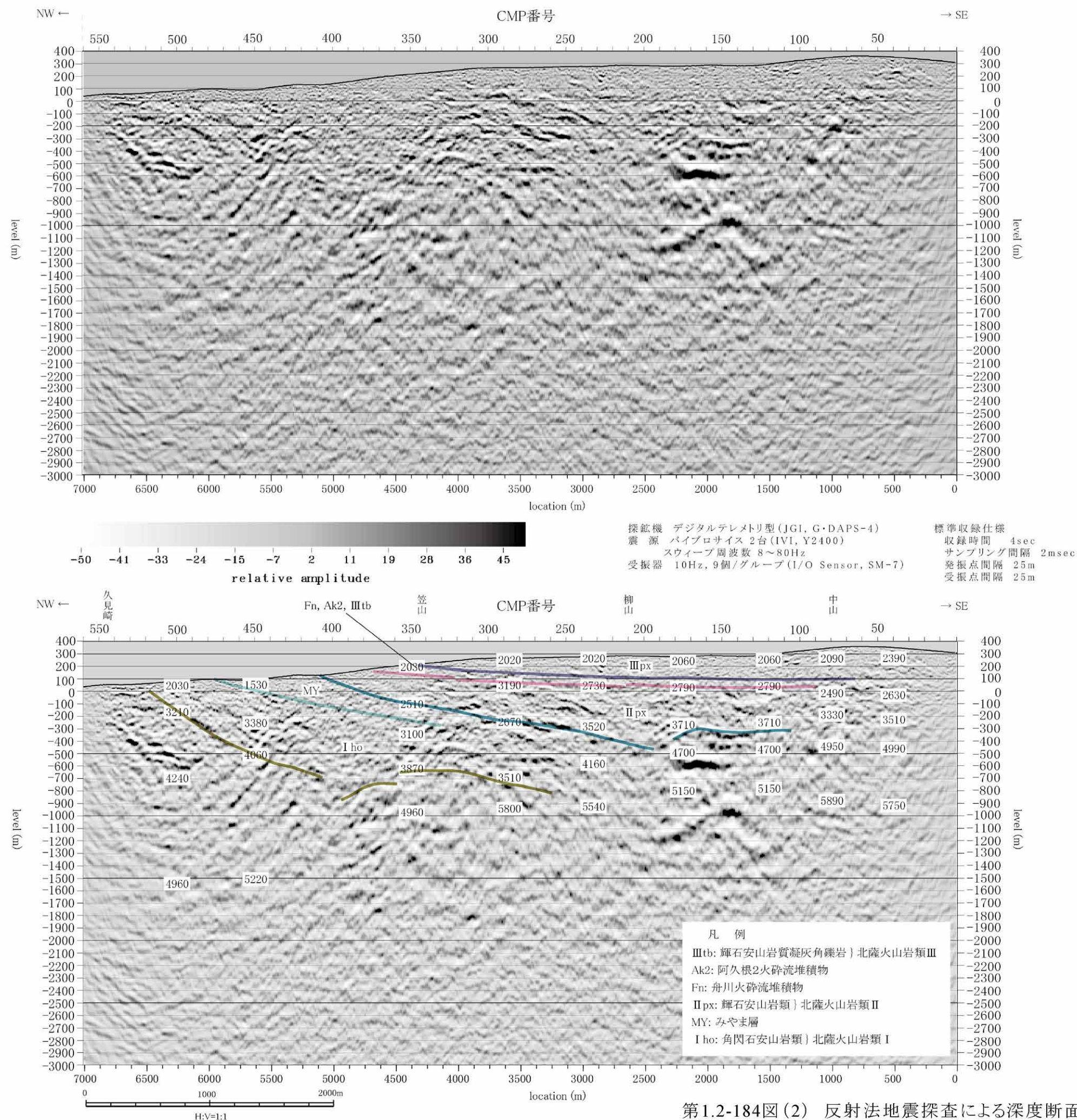


探鉱機 デジタルテレメトリ型 (JGI, G・DAPS-4)
 震 源 陸域: バイプロサイズ 2台 (IVI, Y2400)
 スウィープ周波数 8~80Hz
 油圧インパクト (補助震源) 1台 (JGI, JMI-200 II)
 加速式重錘落下, 重錘質量 200kg
 海域: エアガン (40立方インチ; Bolt)
 受振器 陸域: 10Hz, 9個/グループ (I/O Sensor, SM-7)
 海域: バイケーブル (Mark Products, P-44)

標準収録仕様
 収録時間 陸域: 4sec
 海域: 4.5sec
 サンプル間隔 2msec
 発振点間隔 25m
 受振点間隔 陸域: 25m
 海域: 20m

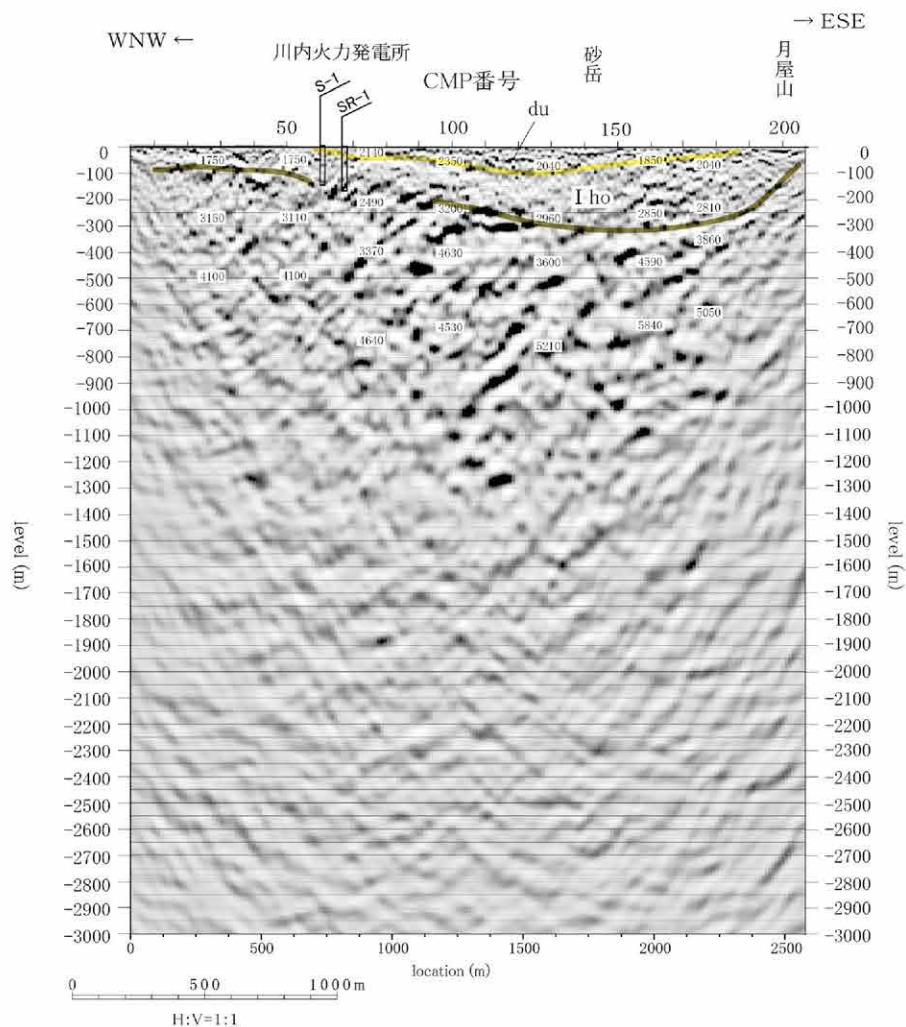
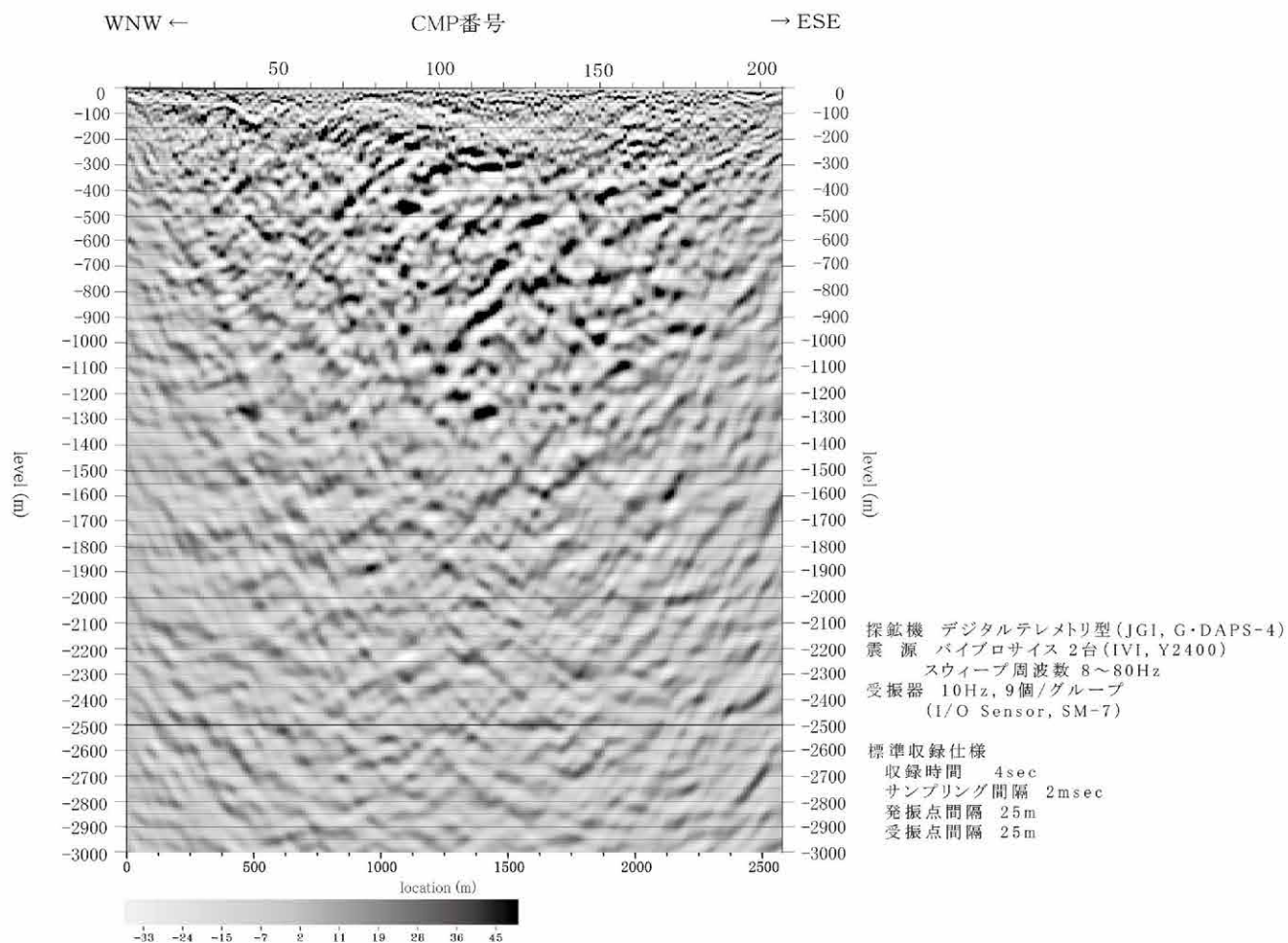


第1.2-184図(1) 反射法地震探査による深度断面とその解釈 (A測線)



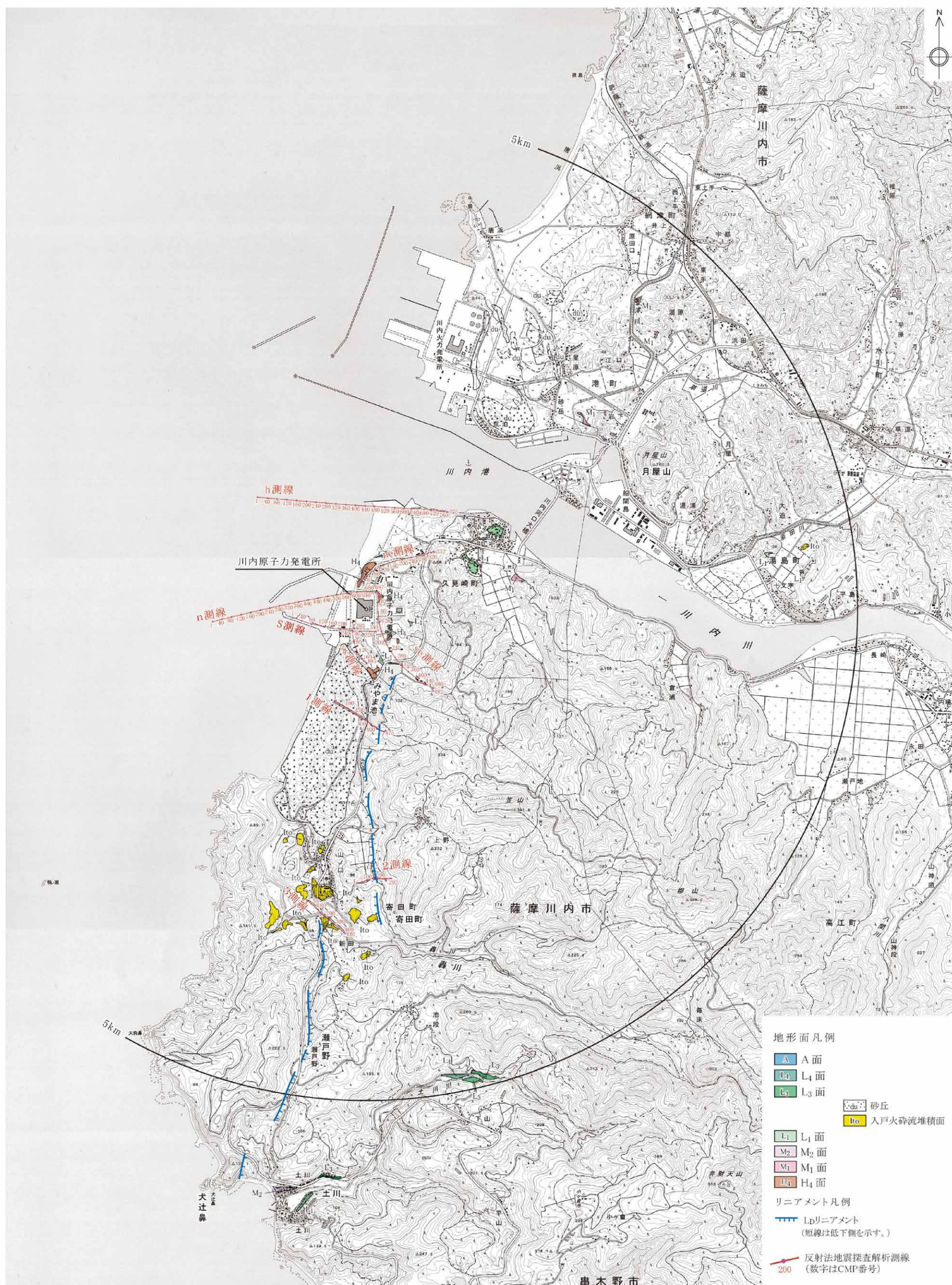
第1.2-184図(2) 反射法地震探査による深度断面とその解釈(B測線)

(注)測線位置は、第1.2-182図を参照。



(注) 測線位置は、第 1.2-182 図を参照。
(注) SR-1 孔は、C 測線に投影。

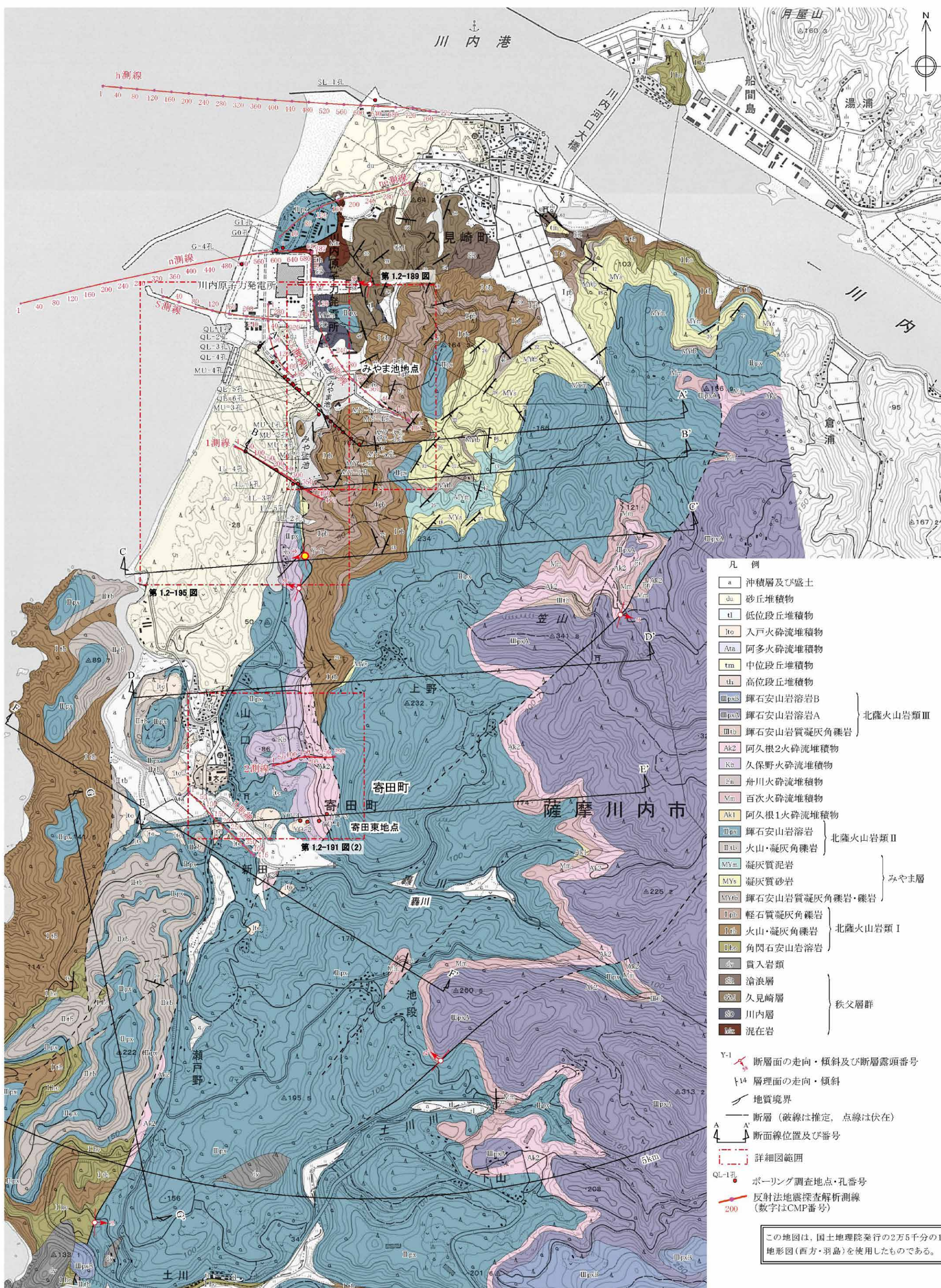
第1.2-184図(3) 反射法地震探査による深度断面とその解釈(C測線)



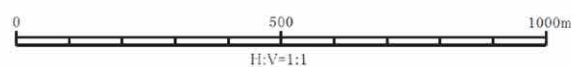
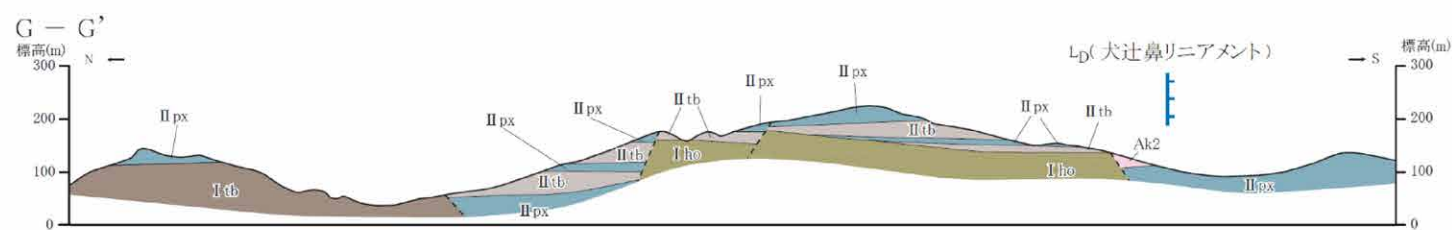
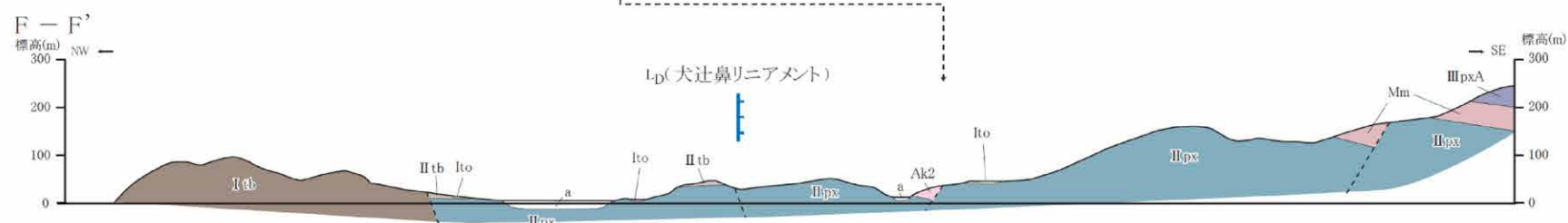
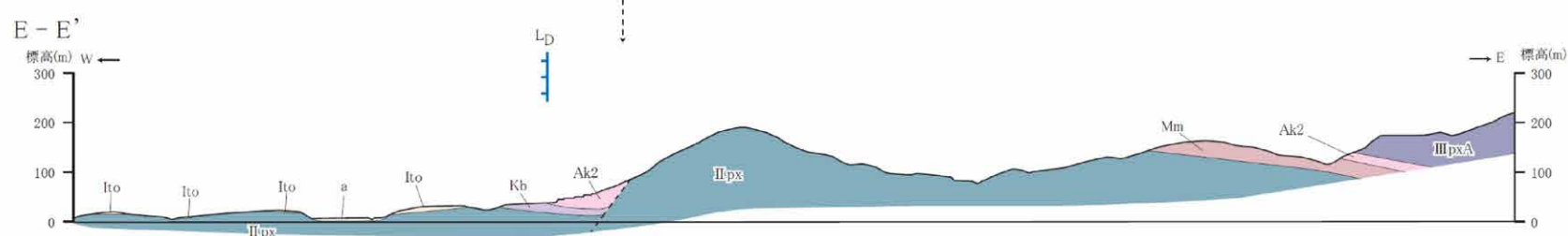
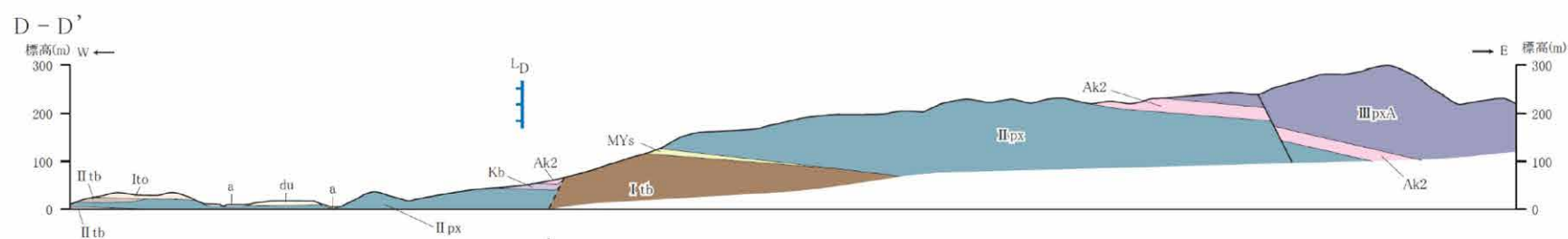
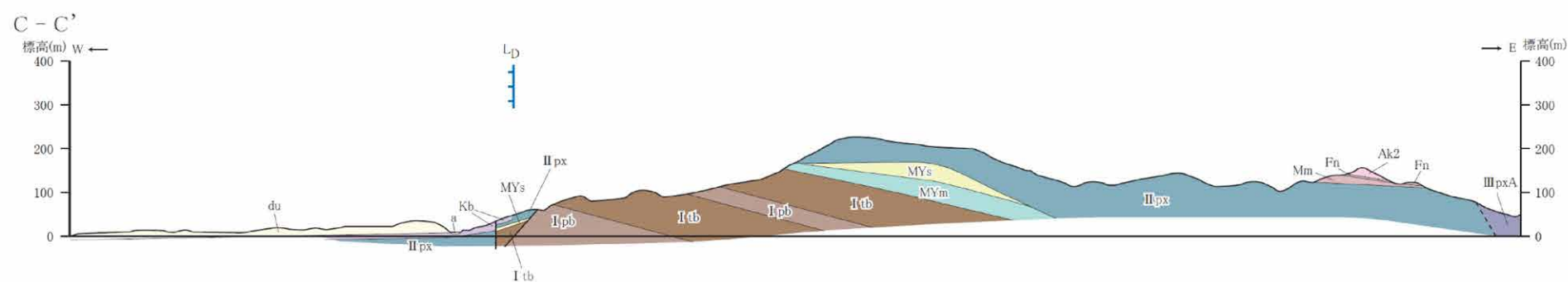
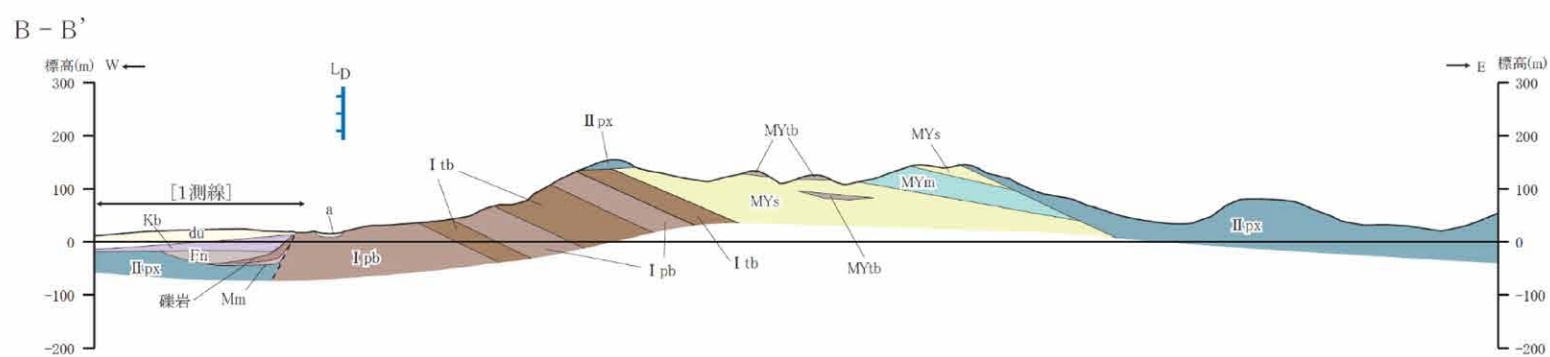
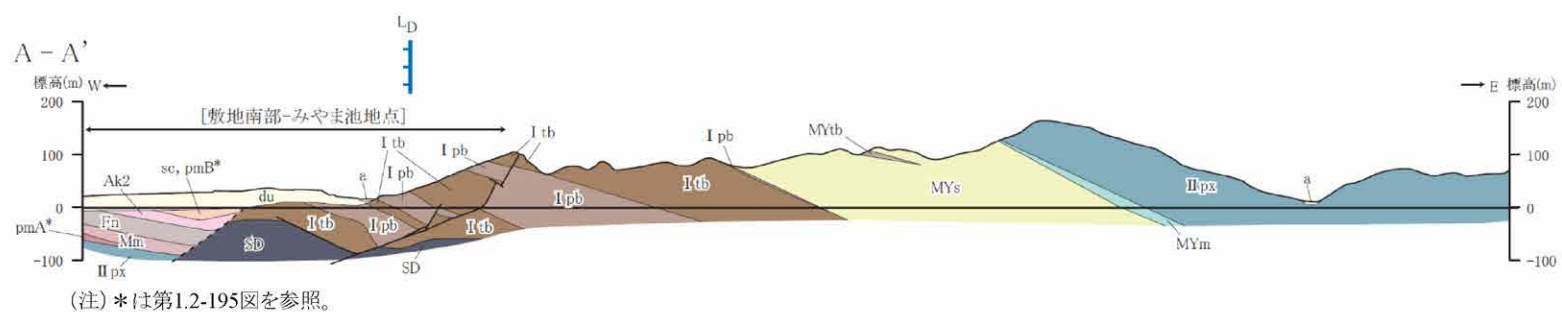
この地図は、国土地理院発行の2万5千分の1地形図（西方・羽島）を使用したものである。

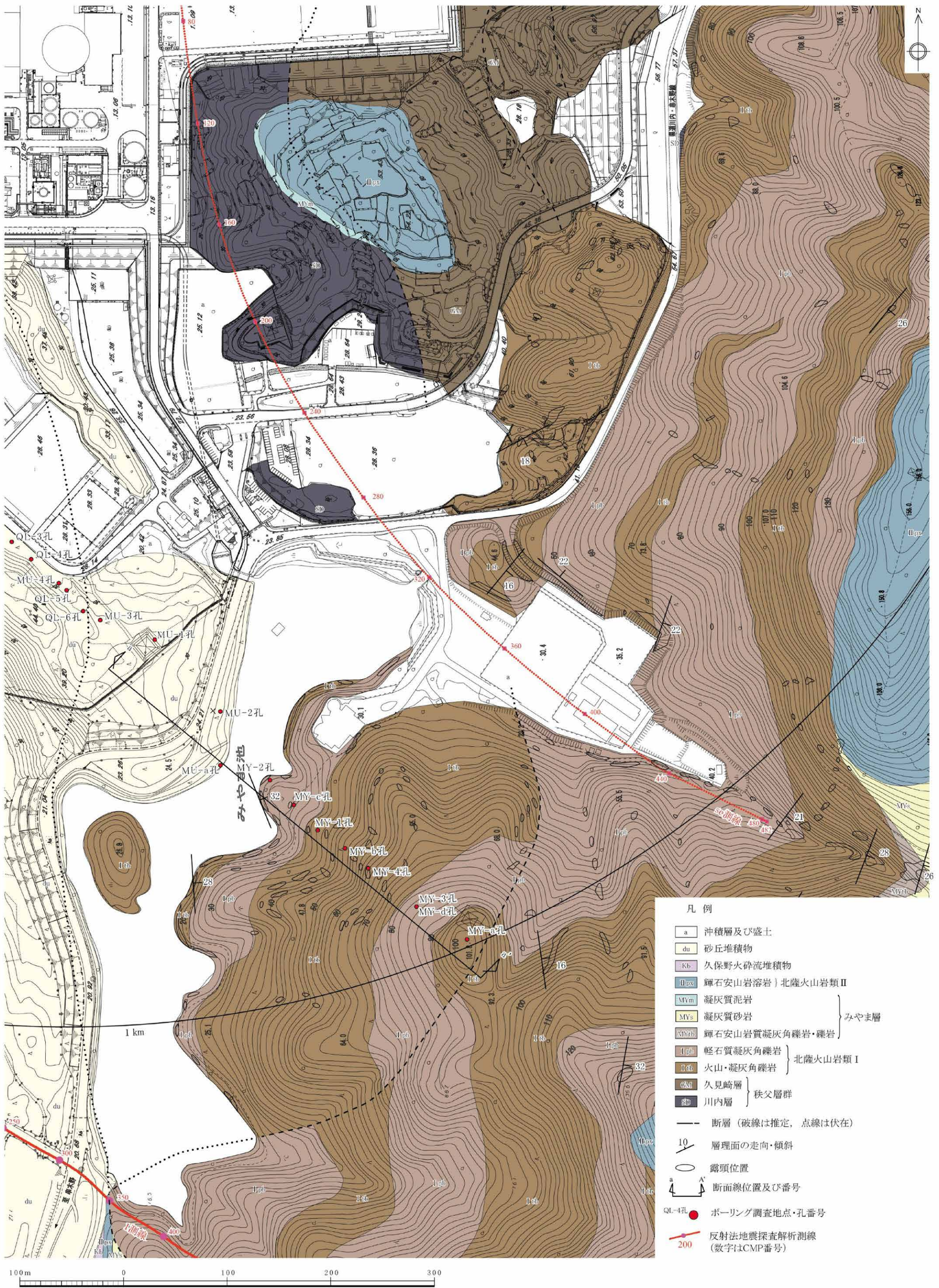
500m 0 500 1000 1500

第1.2-185図 敷地近傍陸域の空中写真判読図

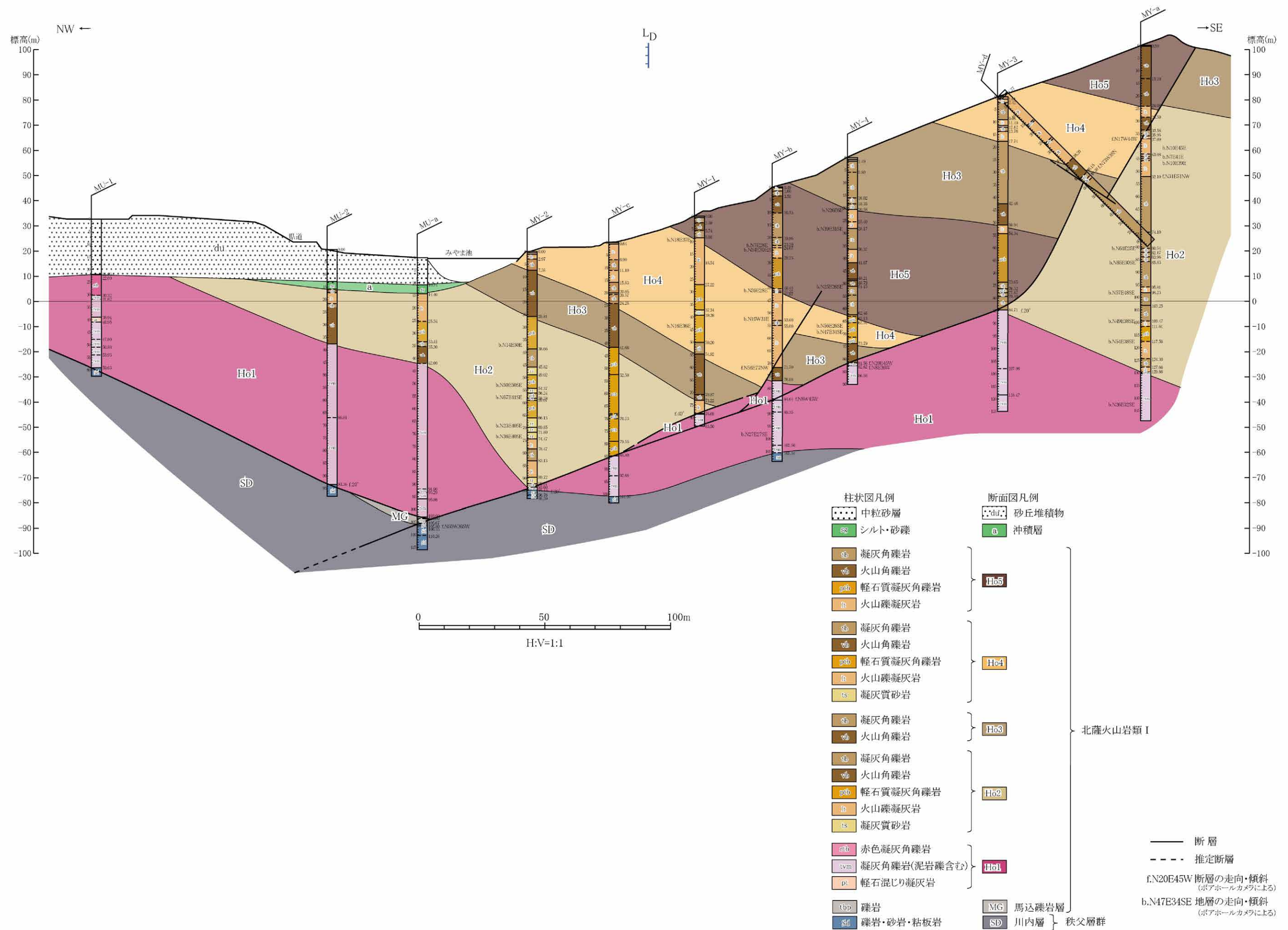


第1.2-187図 寄田東リニアメント周辺の地質図

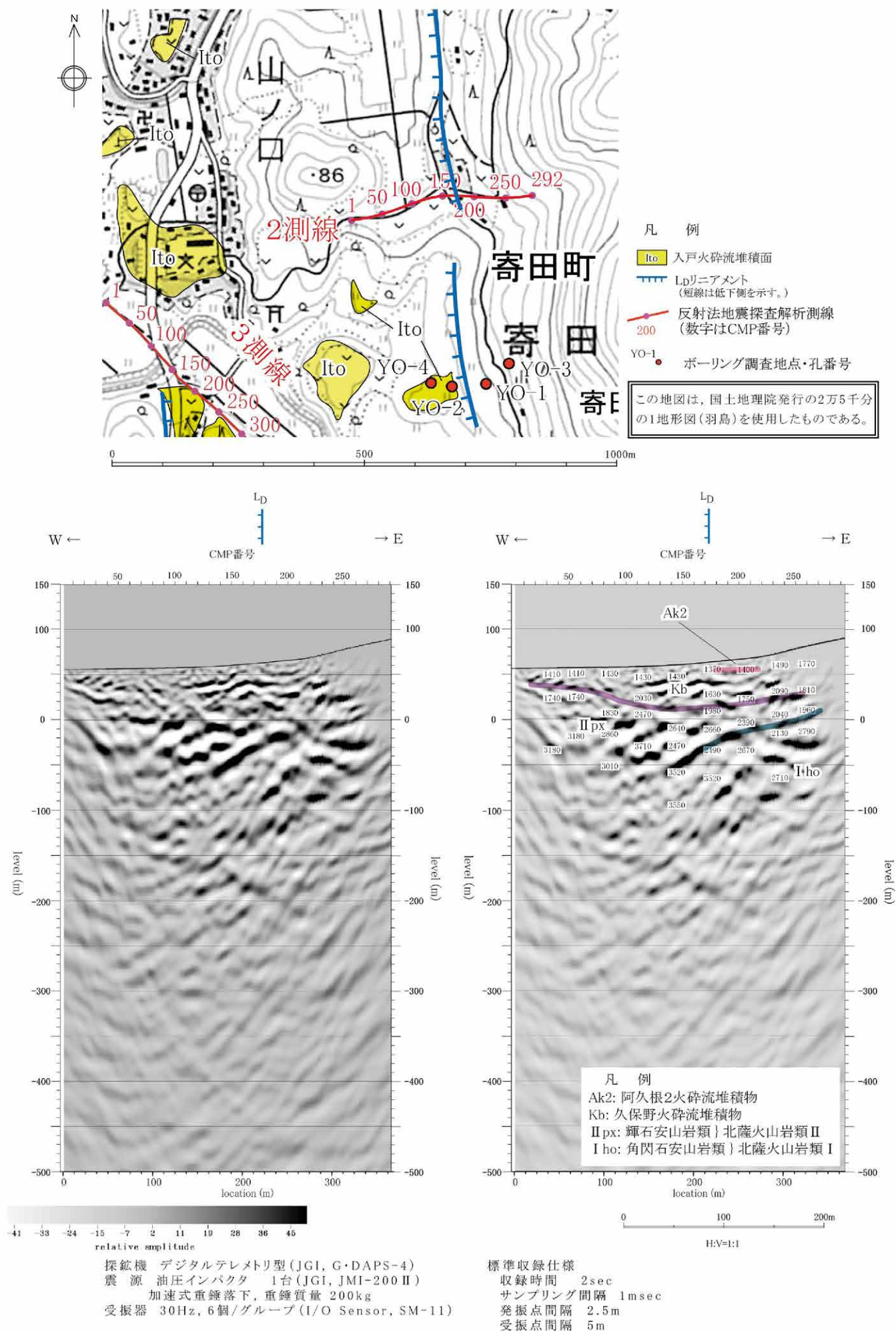




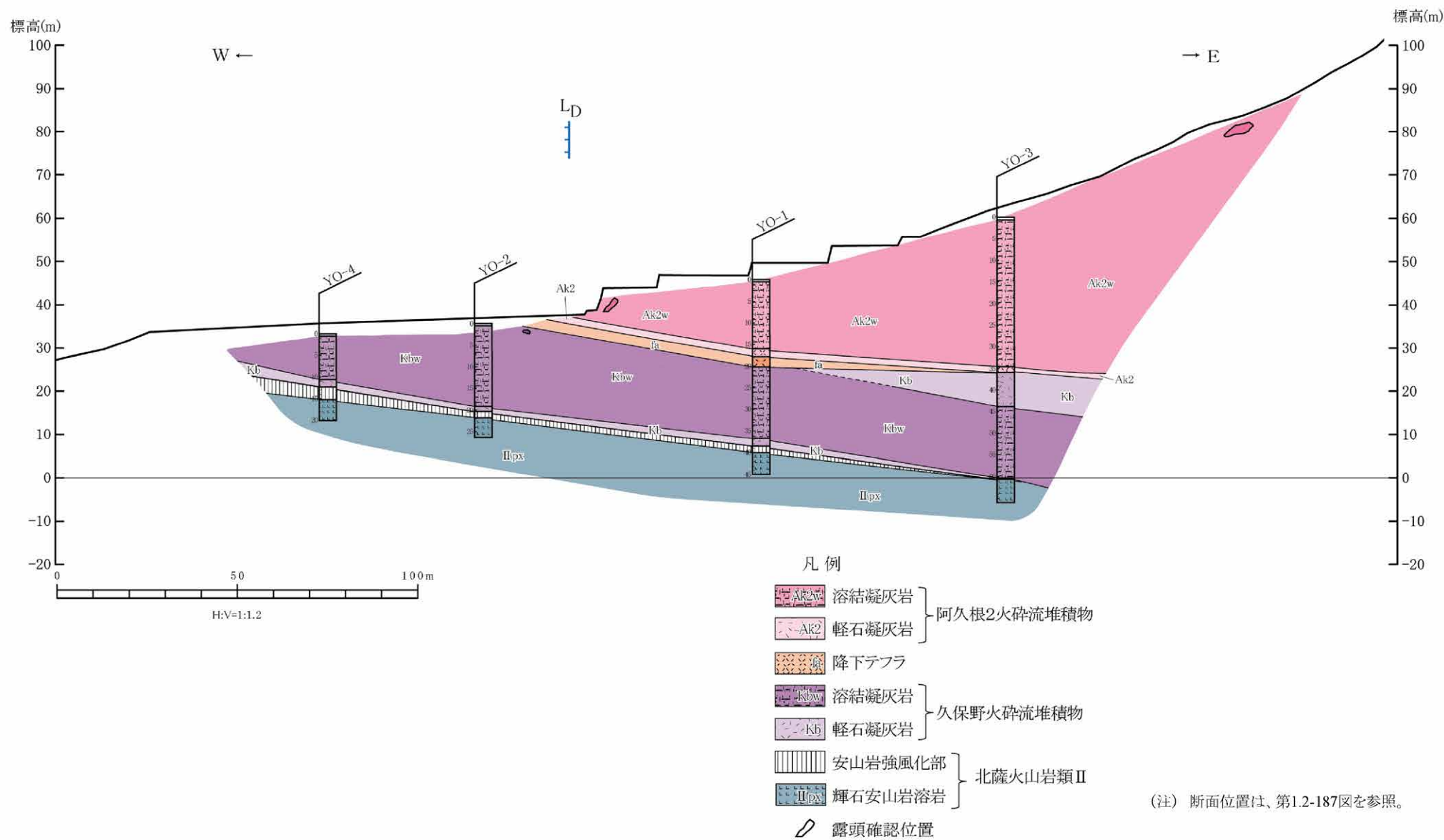
第1.2-189図 みやま池地点の地質図・ボーリング調査位置図



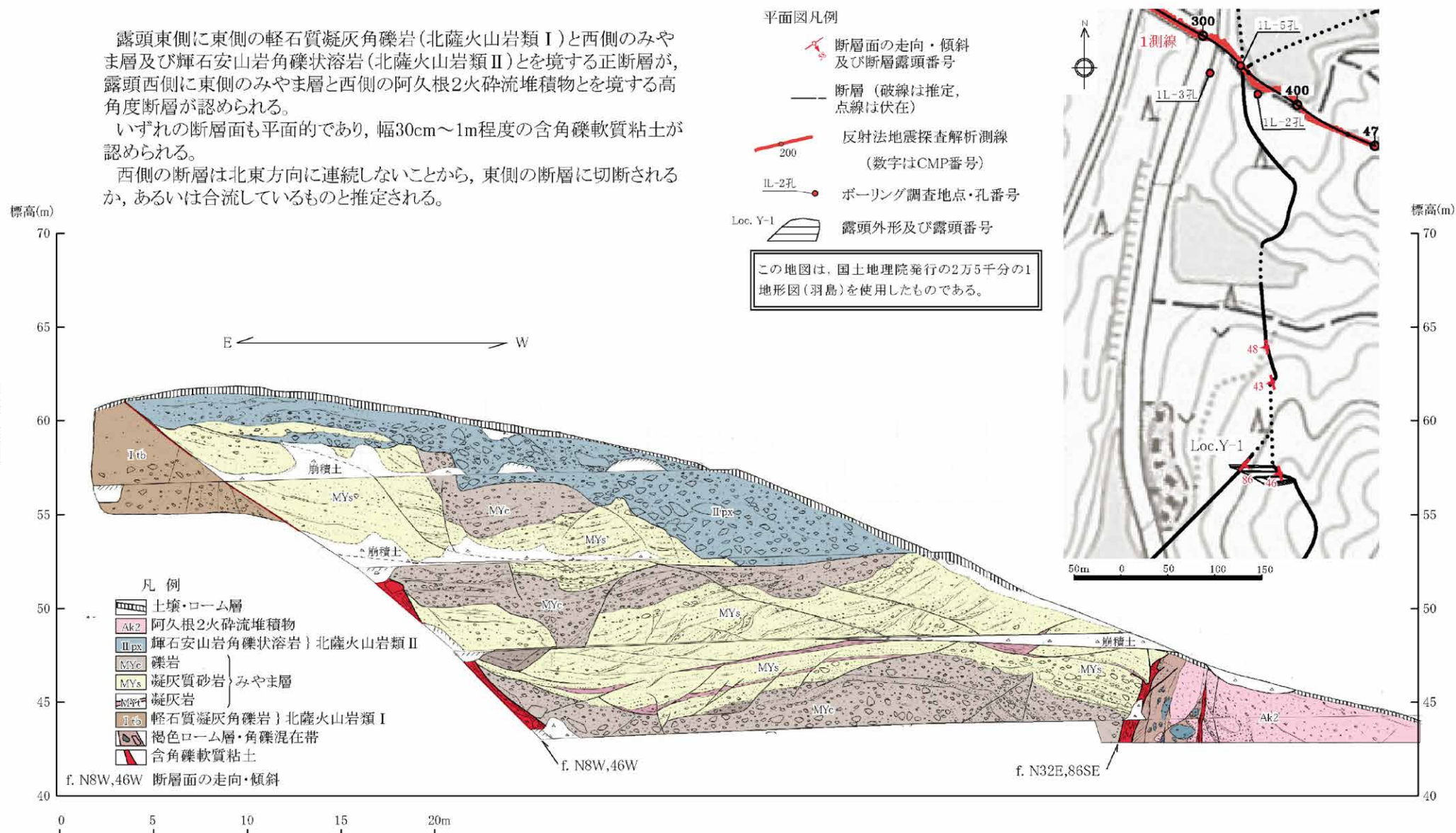
第1.2-190図 地質断面図(みやま池地点)

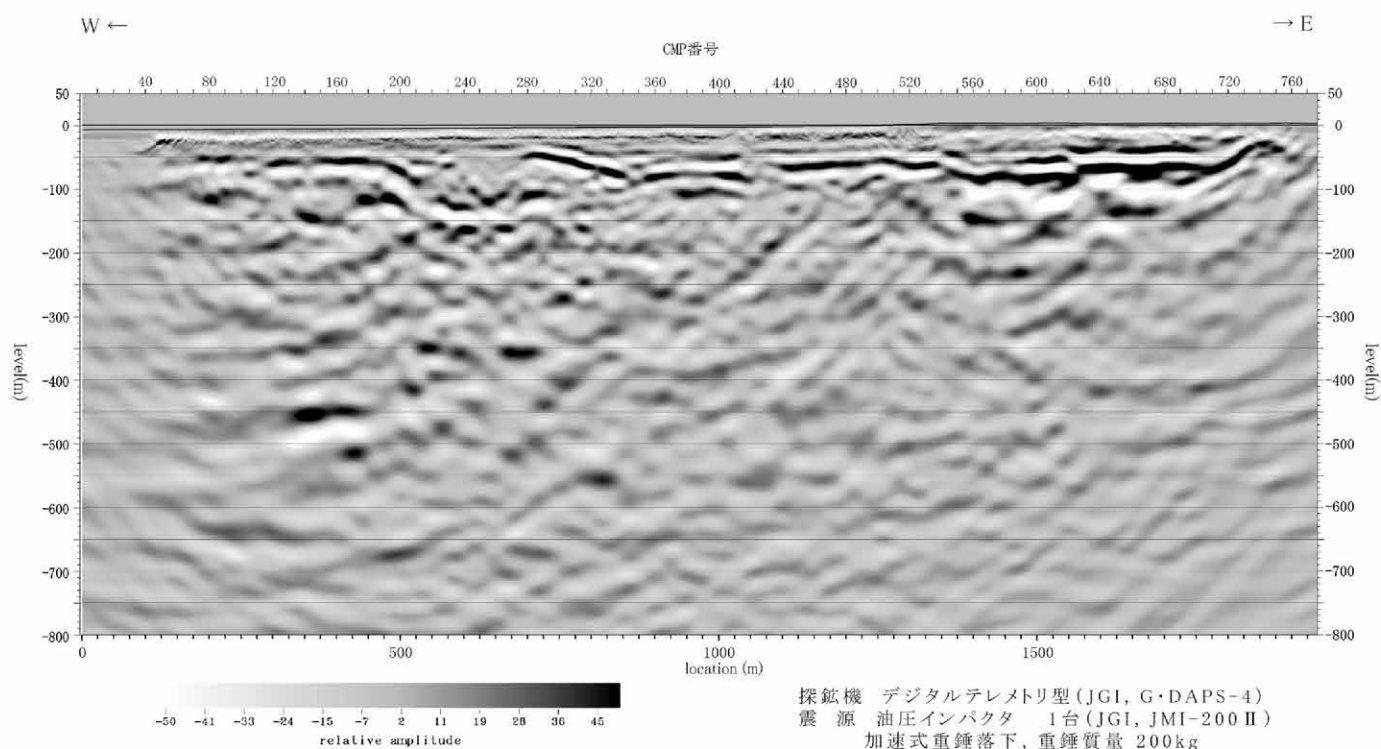


第1.2-191図(2) 反射法地震探査による深度断面とその解釈(2測線)

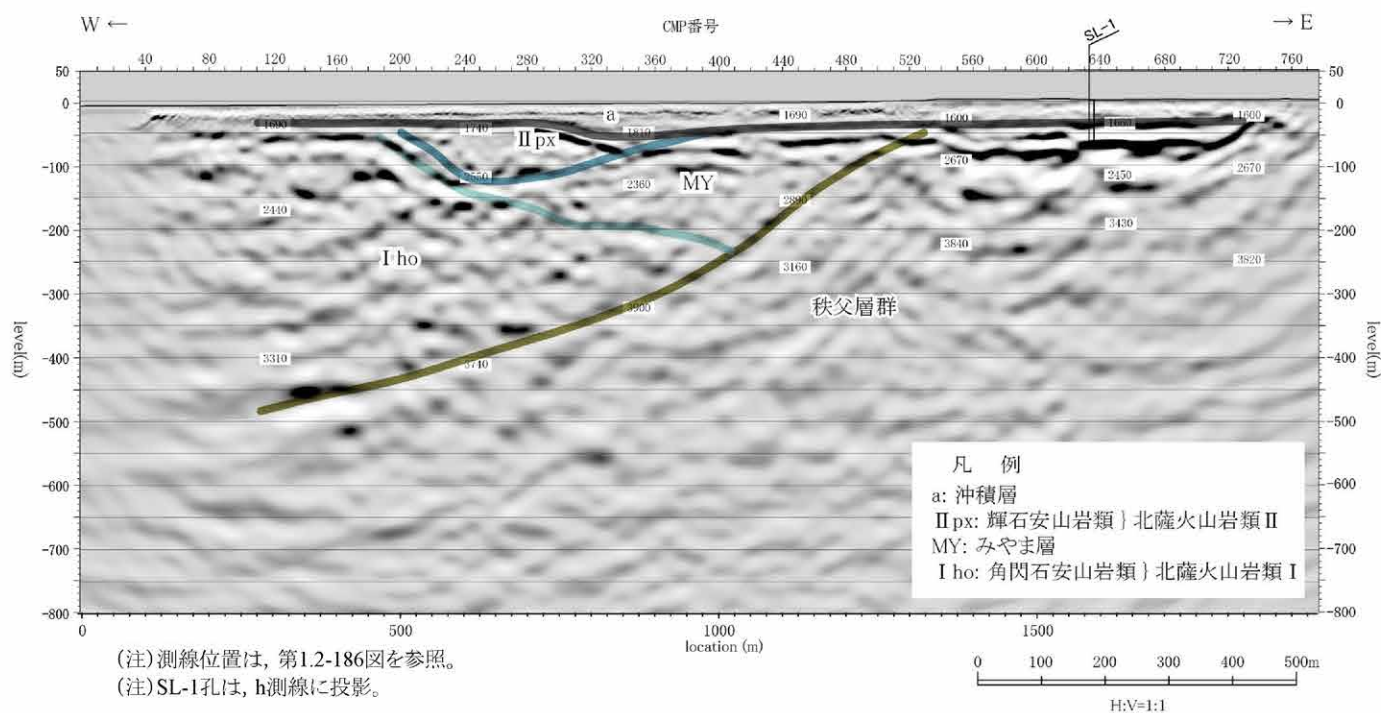


第1.2-192図 地質断面図(寄田東地点)

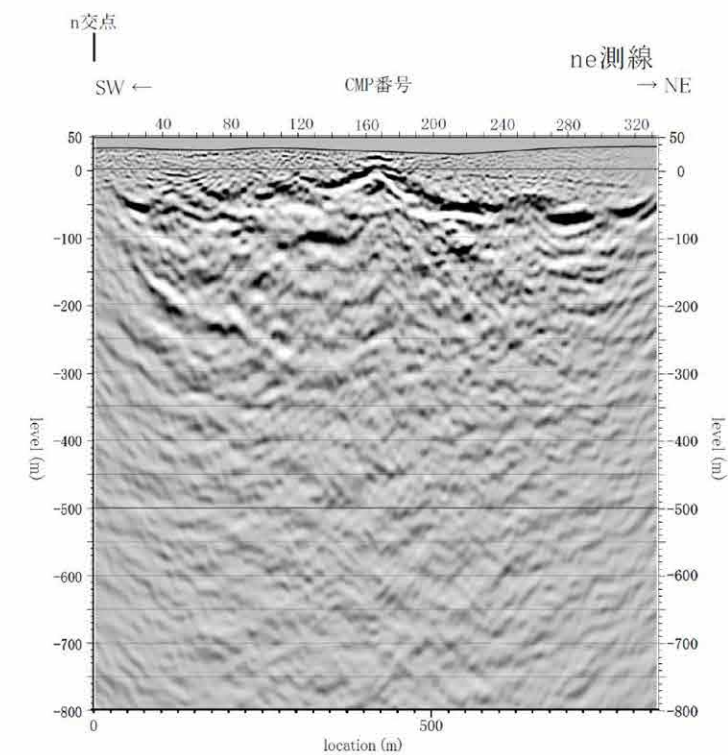
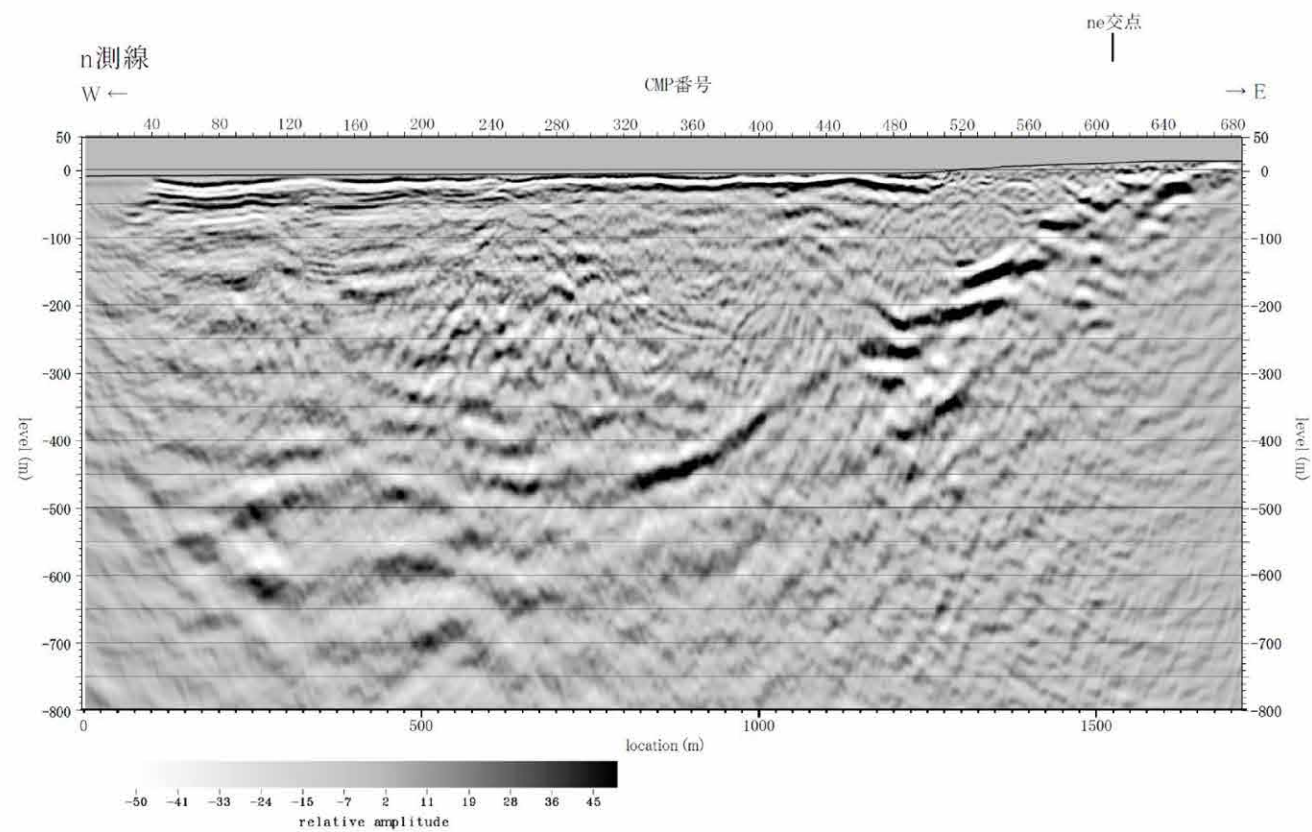




標準収録仕様
 収録時間 2sec
 サンプリング間隔 1msec
 発振点間隔 5m
 受振点間隔 5m

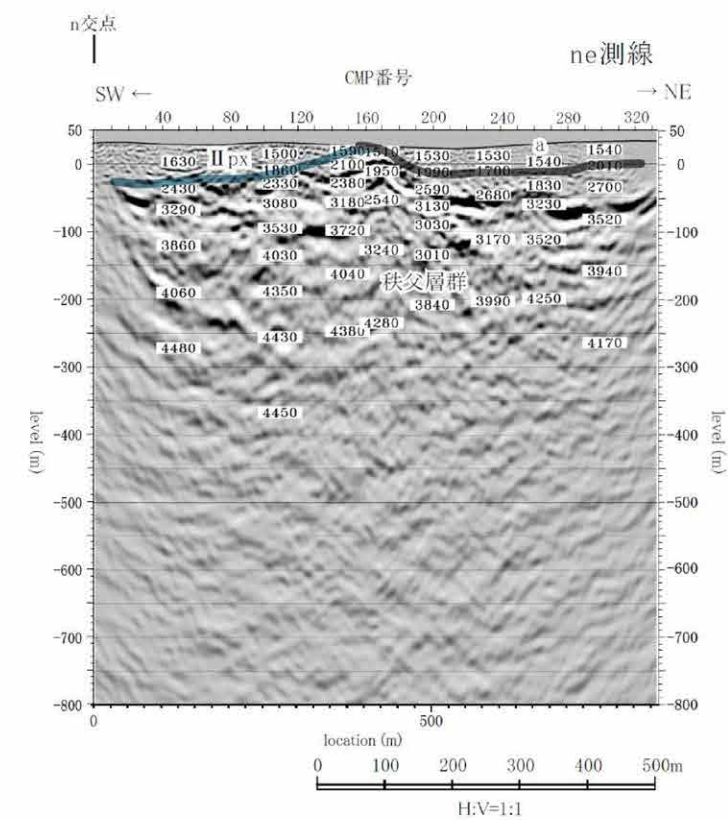
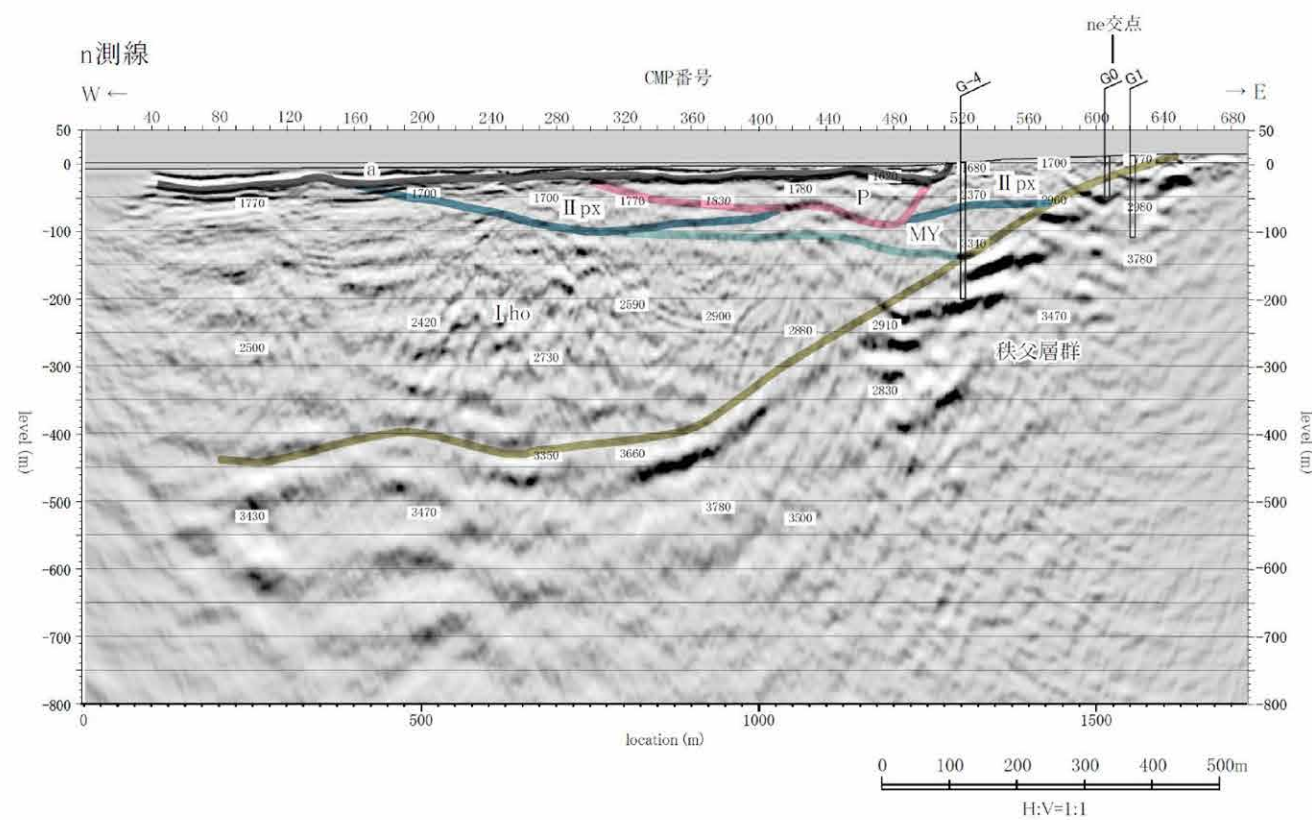


第1.2-194図(1) 反射法地震探査による深度断面とその解釈(h測線)



探鉱機 デジタルテレメトリ型 (JGI, G・DAPS-4)
震源 油圧インパクト 1台 (JGI, JMI-200 II)
加速式重錘落下, 重錘質量 200kg
受振器 30Hz, 6個/グループ (I/O Sensor, SM-11)

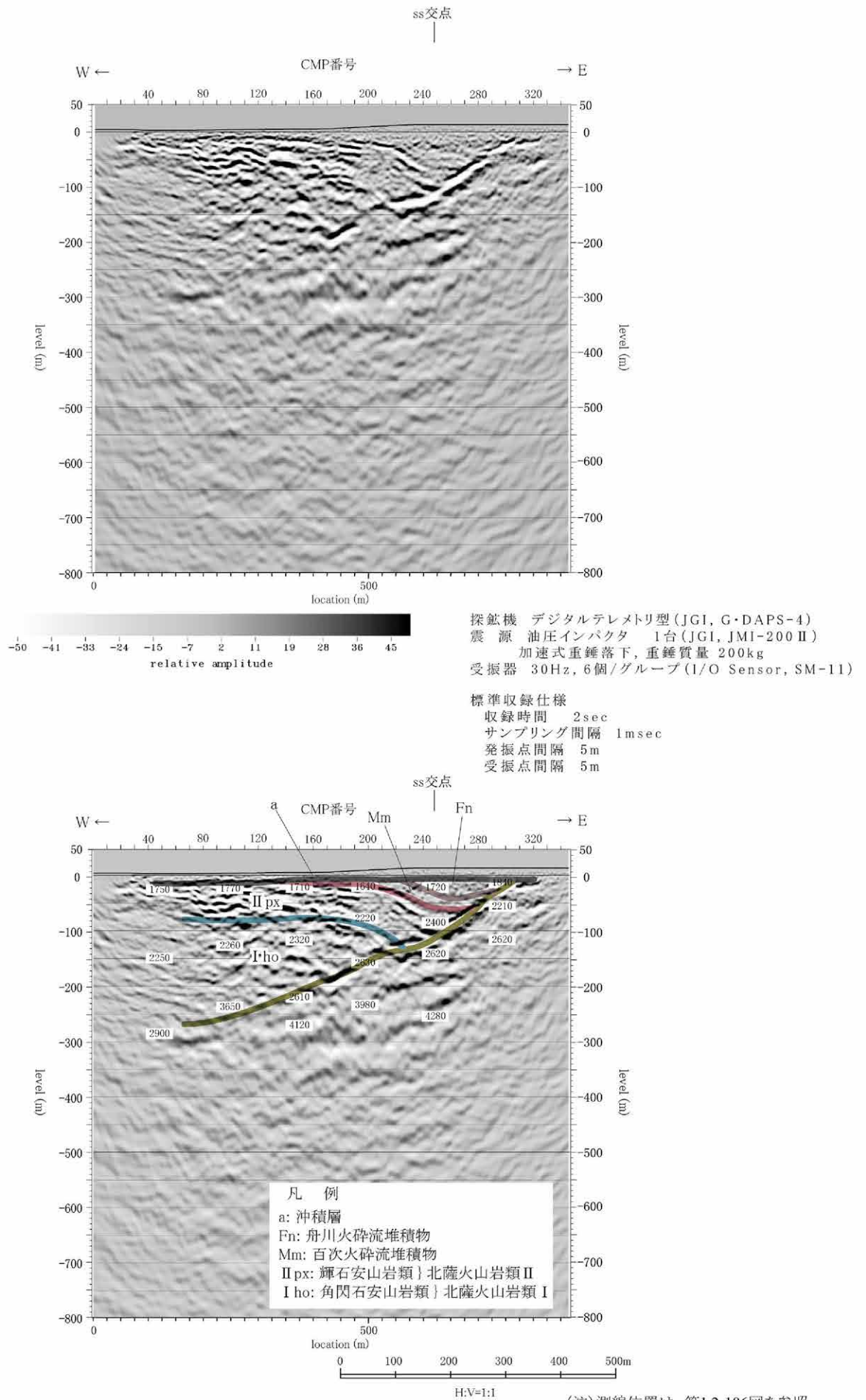
標準収録仕様
収録時間 2sec
サンプリング間隔 1msec
発振点間隔 5m
受振点間隔 5m



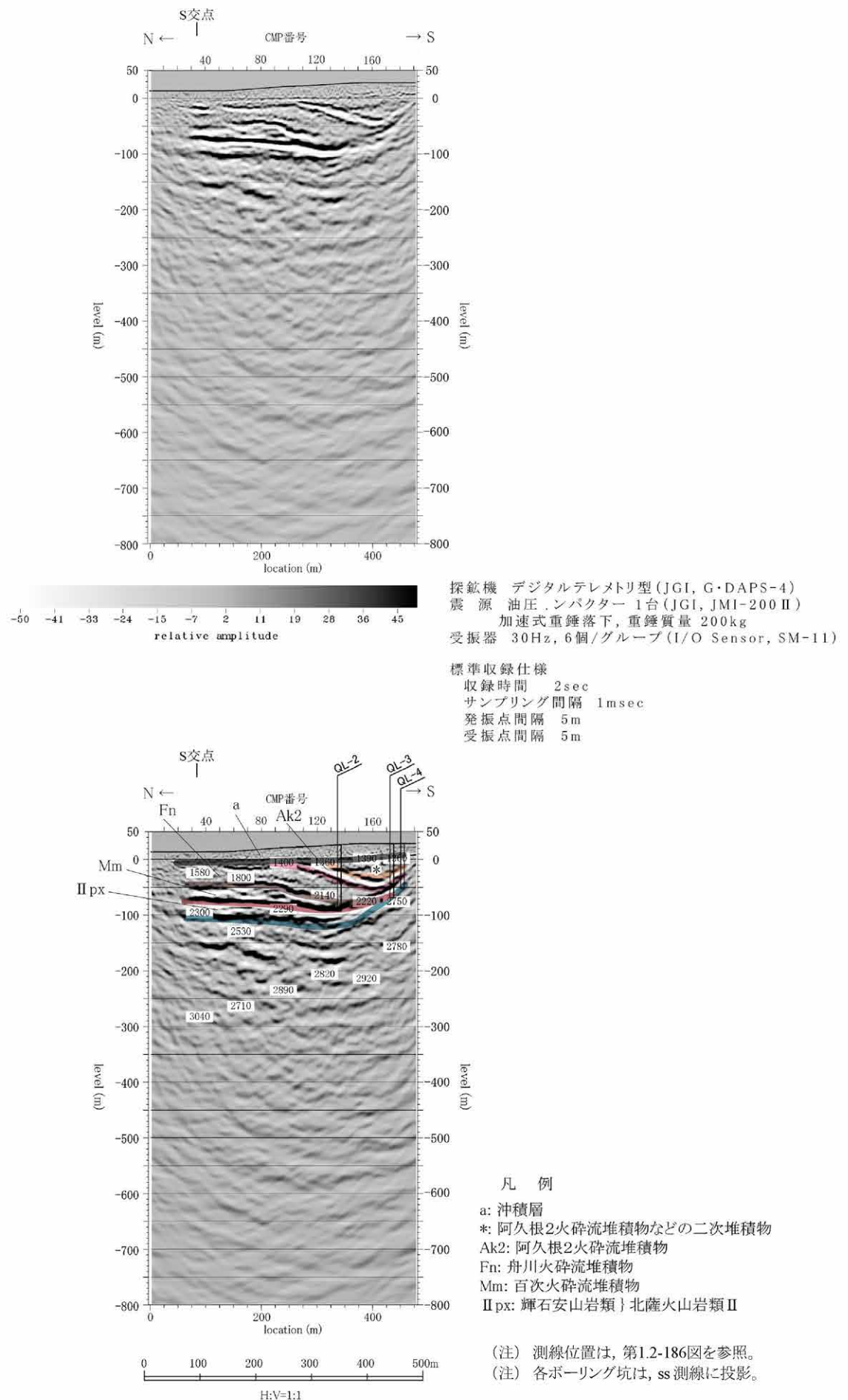
凡 例
a: 沖積層
P: 阿久根2火砕流堆積物など
II px: 輝石安山岩類 } 北薩火山岩類 II
MY: みやま層
I ho: 角閃石安山岩類 } 北薩火山岩類 I

(注) 測線位置は, 第1.2-186図を参照。
(注) G-4孔及びG1孔は, n測線に投影。

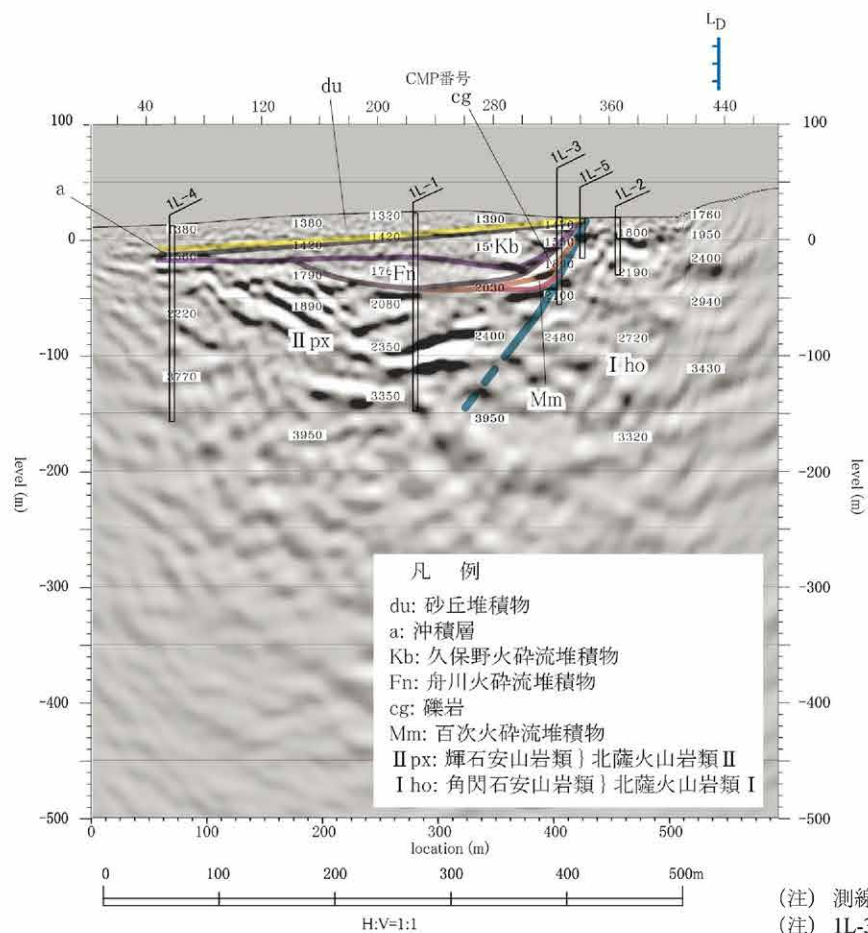
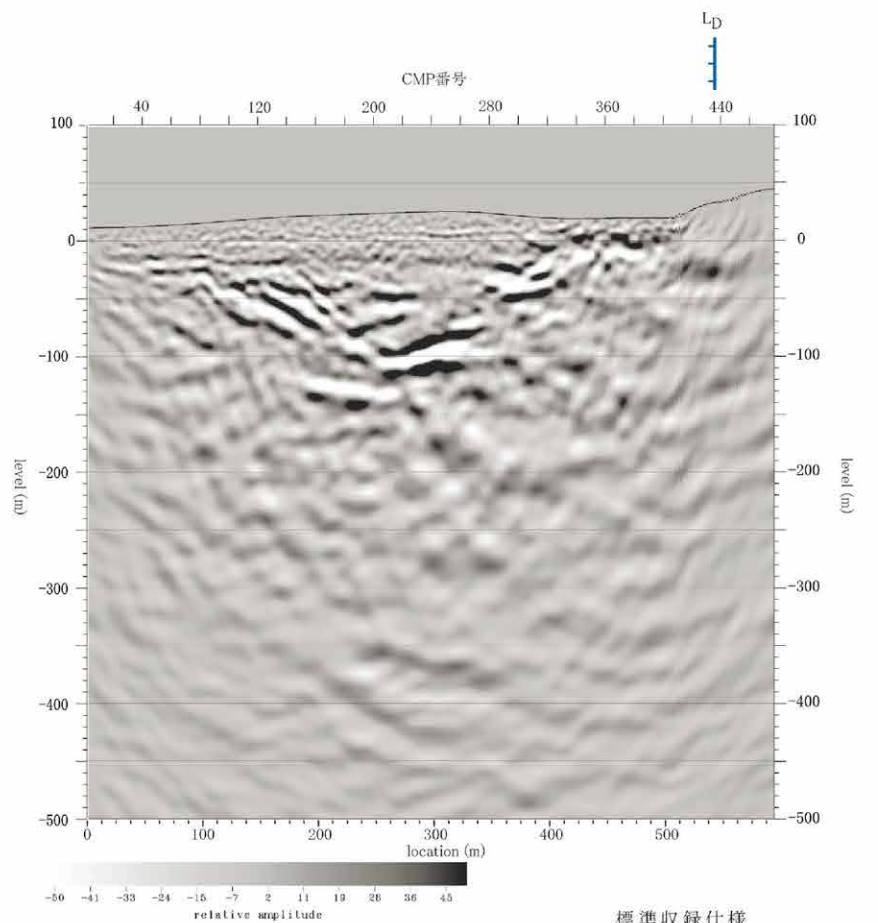
第1.2-194図(2) 反射法地震探査による深度断面とその解釈 (n測線、ne測線)



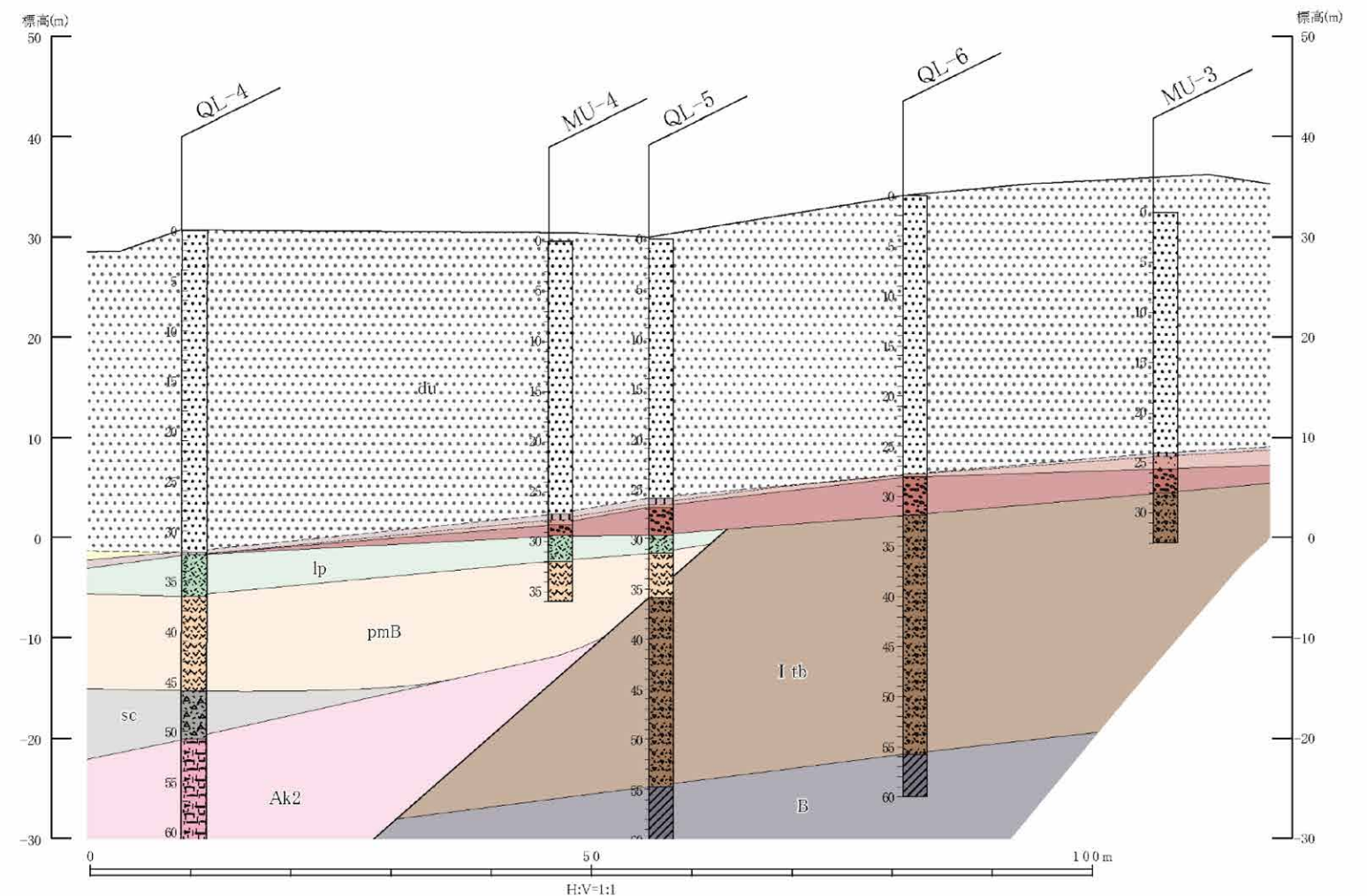
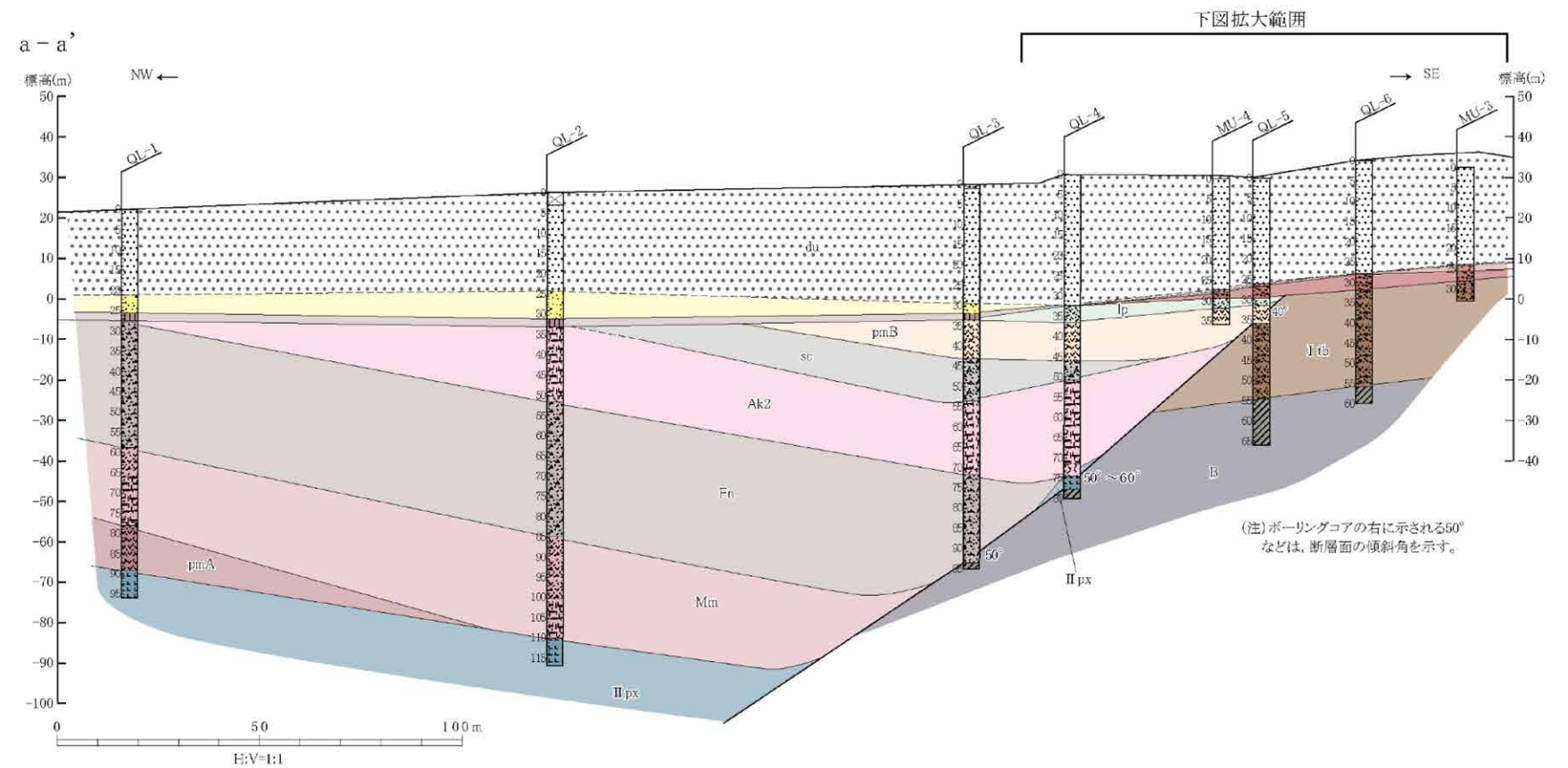
第1.2-194図(3) 反射法地震探査による深度断面とその解釈(S測線)



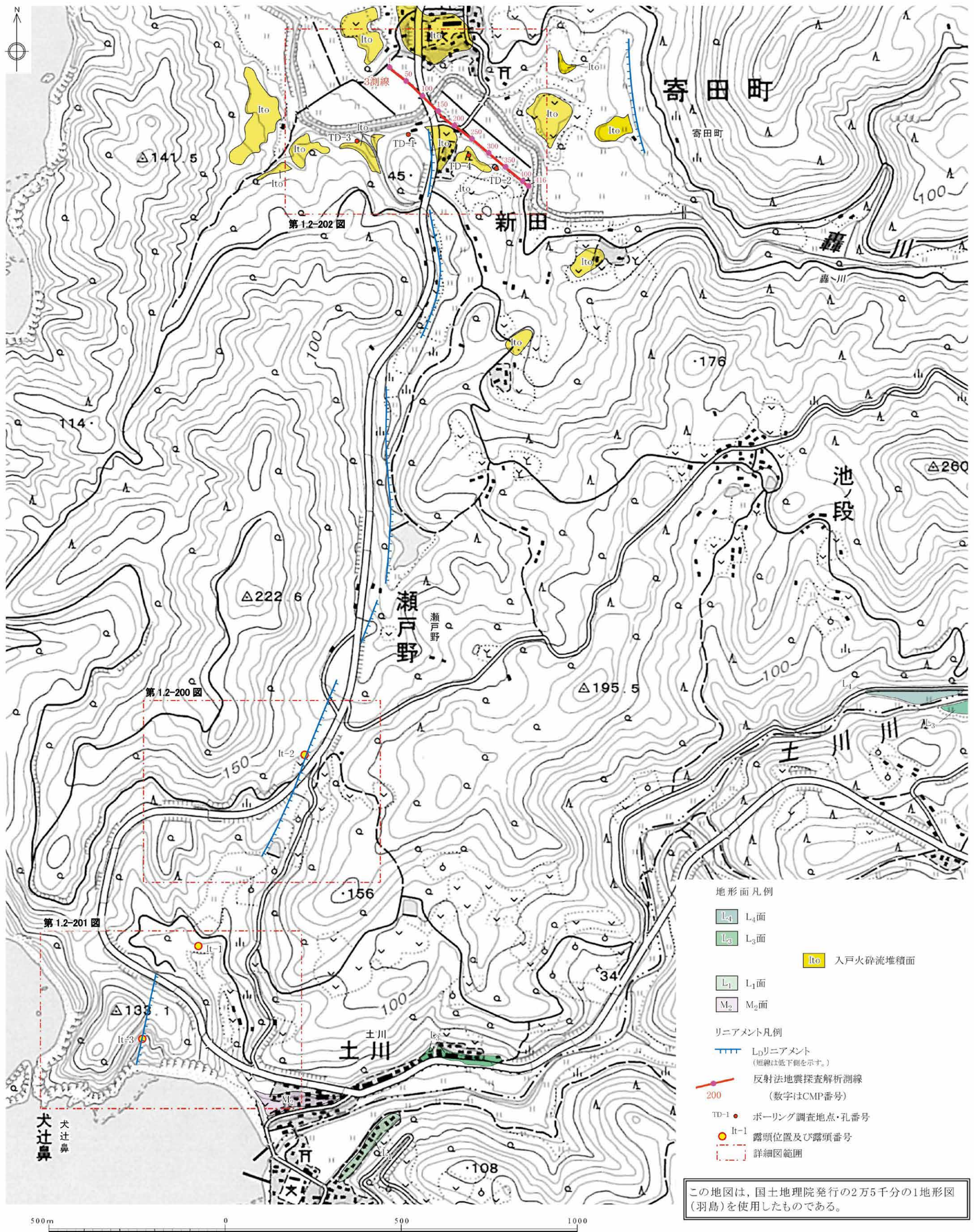
第1.2-194図(4) 反射法地震探査による深度断面とその解釈(ss測線)



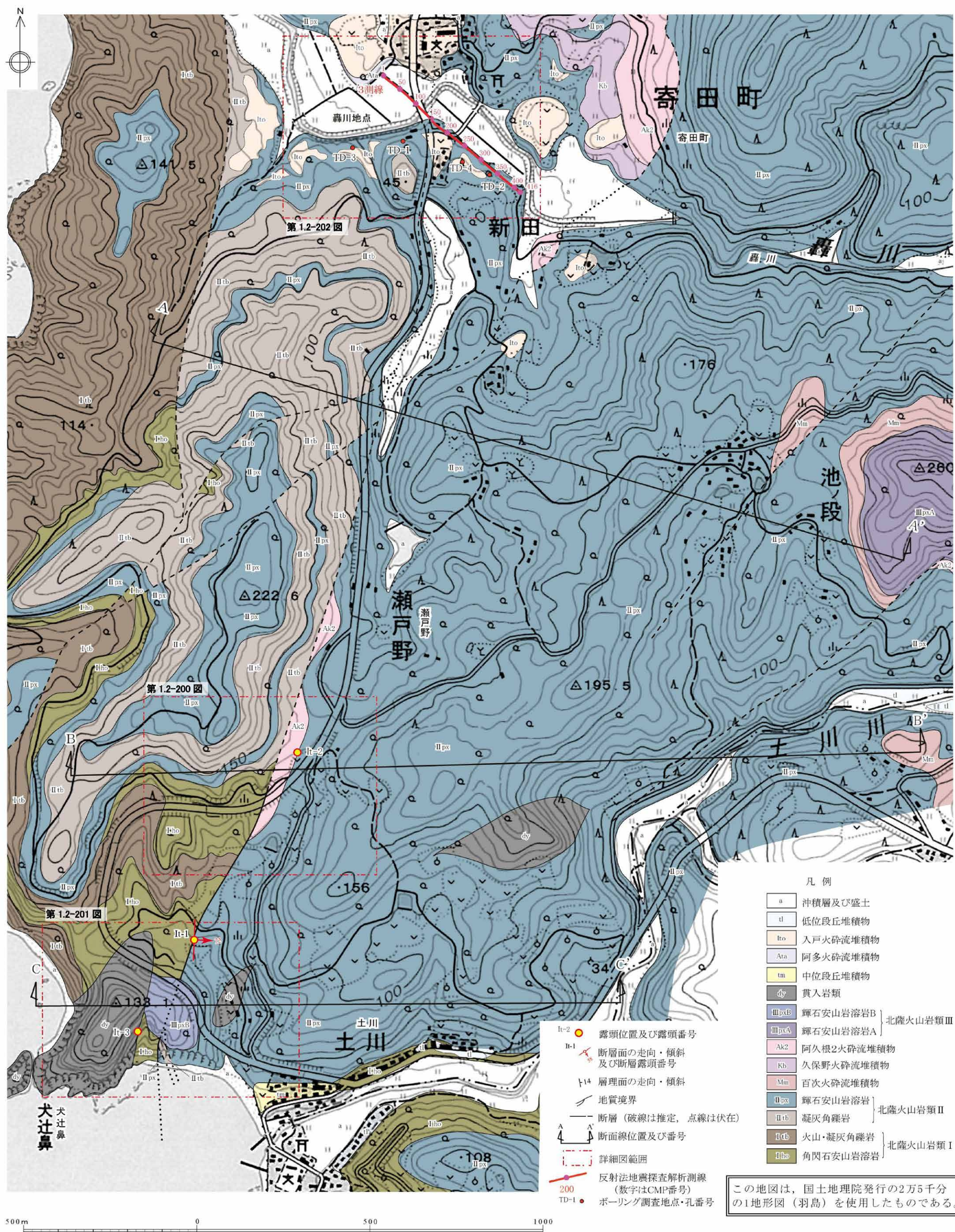
第1.2-194図(5) 反射法地震探査による深度断面とその解釈(1測線)



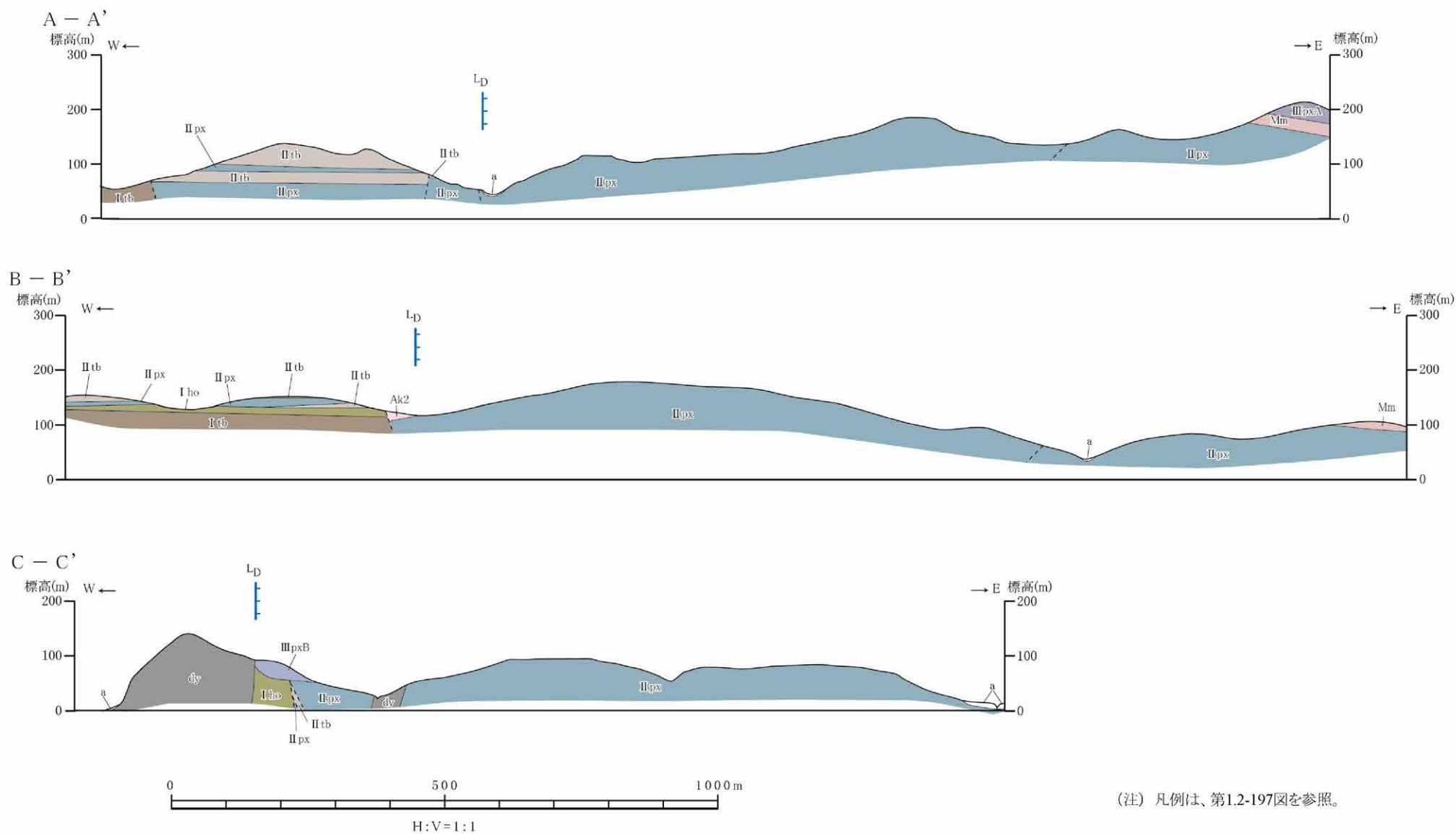
第1.2-195図 敷地南端部における地質断面図



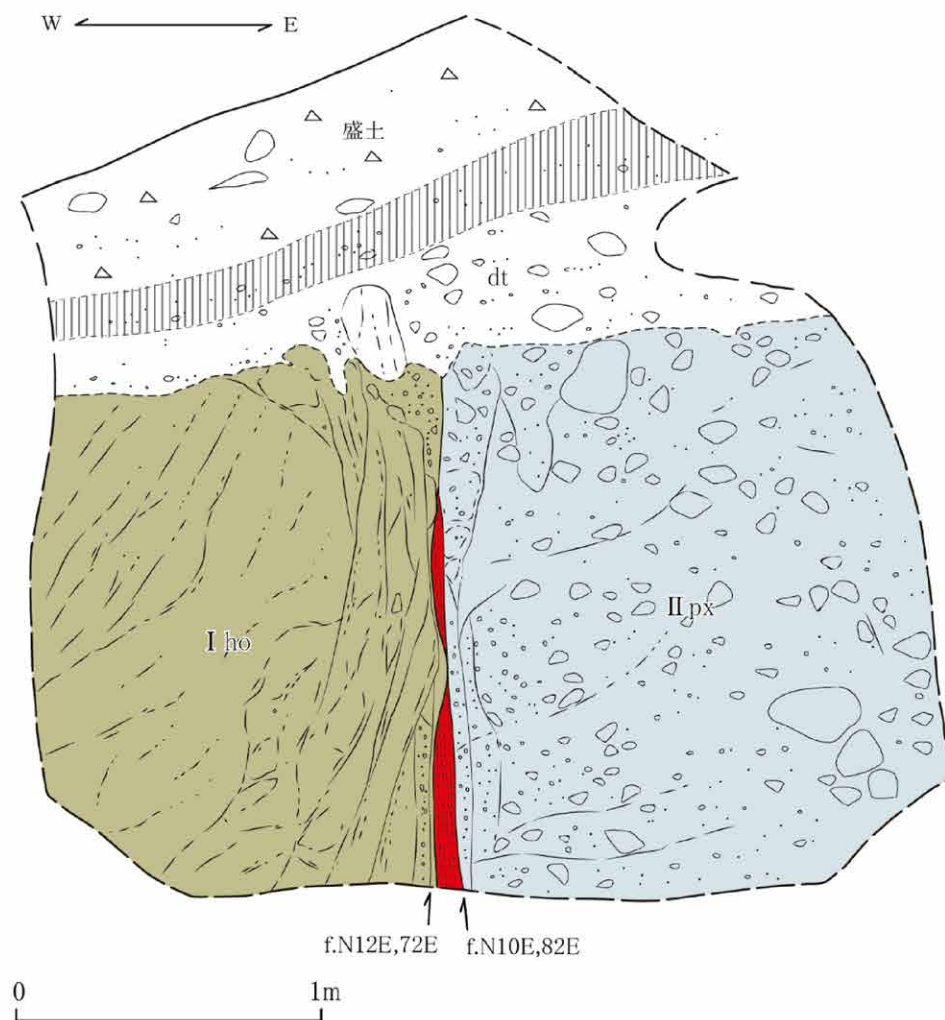
第1.2-196図 犬辻鼻リニアメント周辺の空中写真判読図



第1.2-197図 犬辻鼻リニアメント周辺の地質図



第1.2-198図 犬辻鼻リニアメント周辺の地質断面図



西側の角閃石安山岩溶岩(北薩火山岩類Ⅰ)と東側の輝石安山岩自破碎溶岩(北薩火山岩類Ⅱ)とを境する断層。

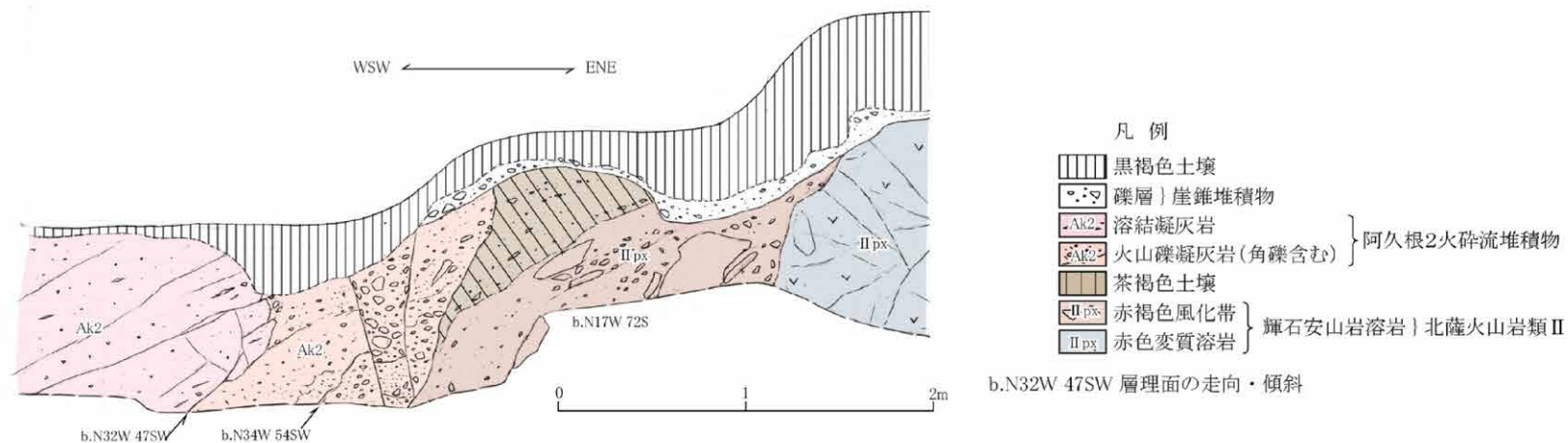
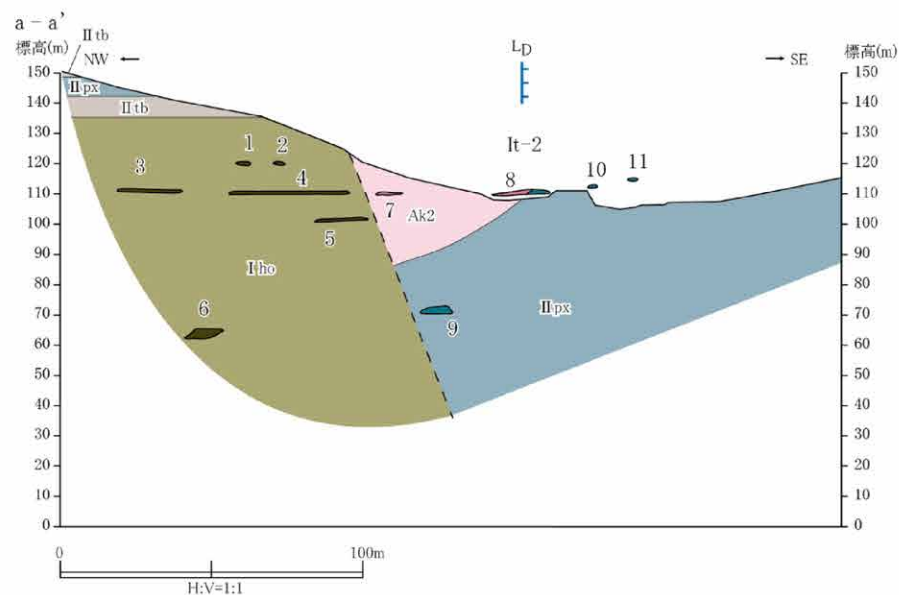
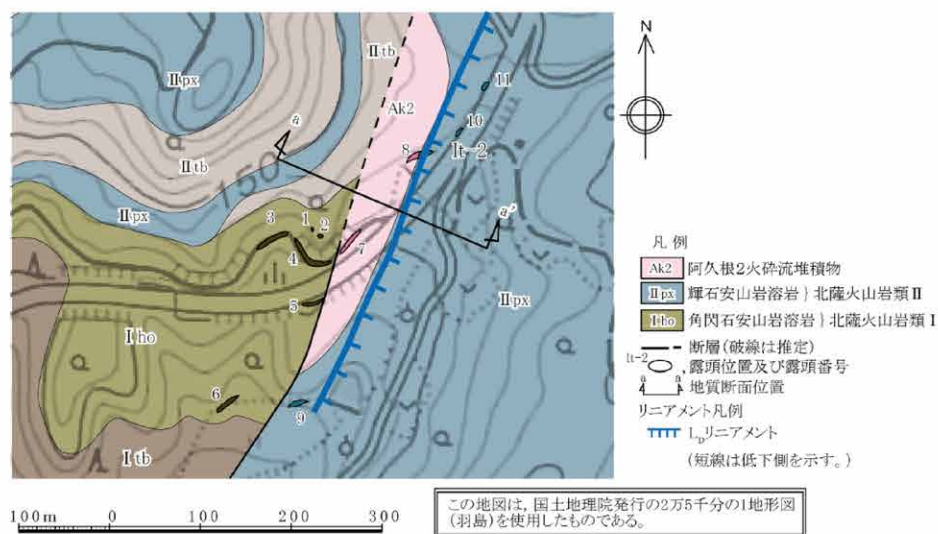
断層面は平面的であり、面沿いに幅5cm程度の軟質粘土が認められるが、一部で軟質粘土は連続せず、断層面も癒着している。

凡 例

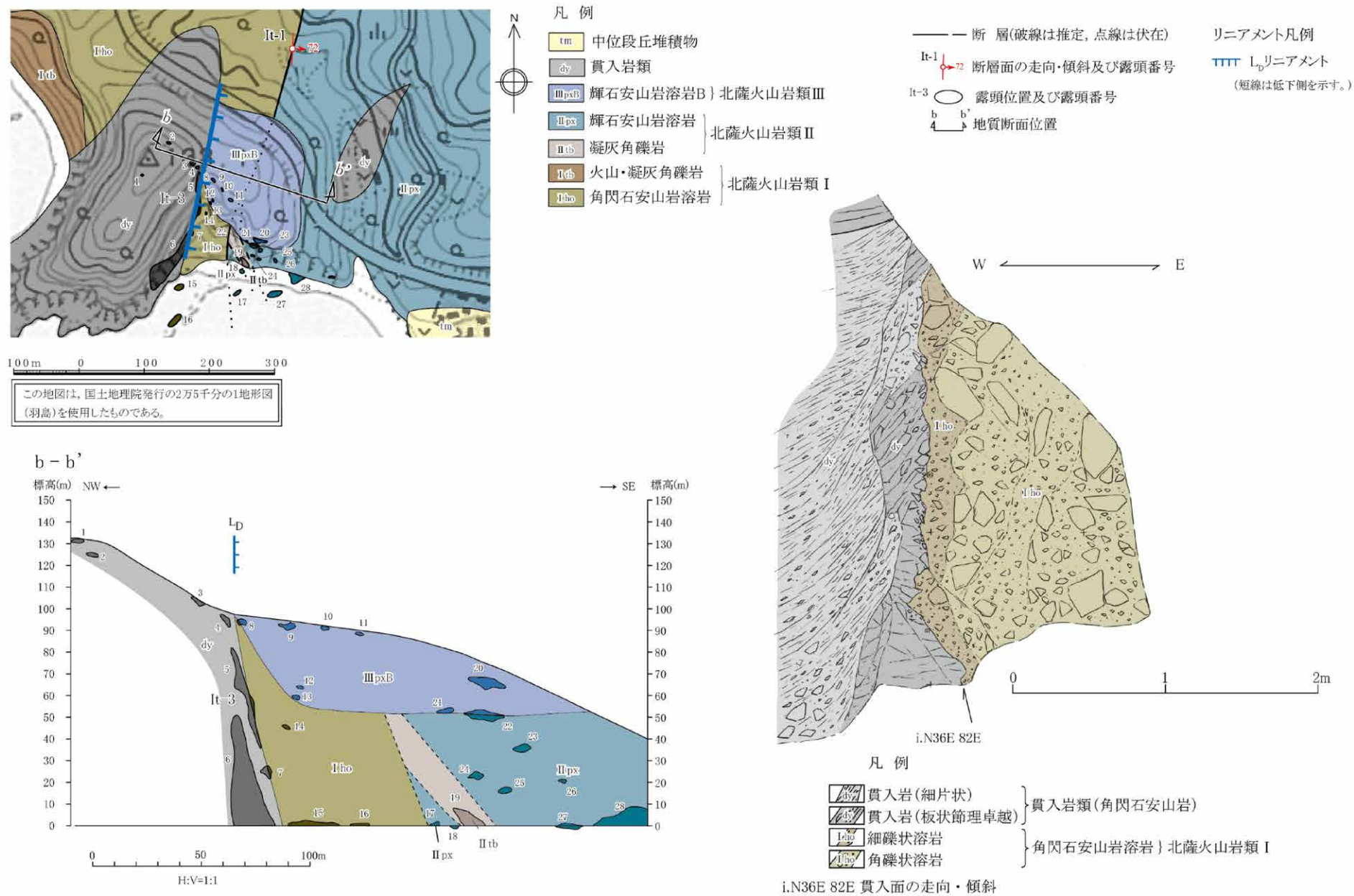
-  黒褐色～茶褐色土壌
-  黄褐色砂層 } 崖錐性堆積物
-  II px 輝石安山岩自破碎溶岩 } 北薩火山岩類Ⅱ
-  I ho 角閃石安山岩溶岩 } 北薩火山岩類Ⅰ
-  軟質粘土

f.N12E,72E 断層面の走向・傾斜

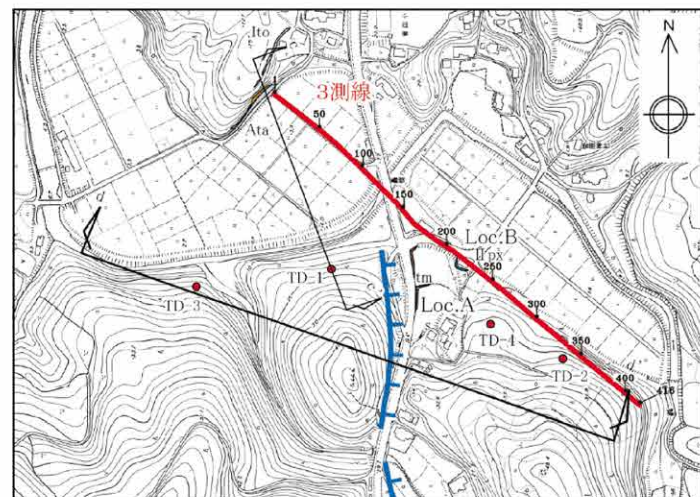
第1.2-199図 露頭スケッチ (Loc.It-1, 薩摩川内市土川北)



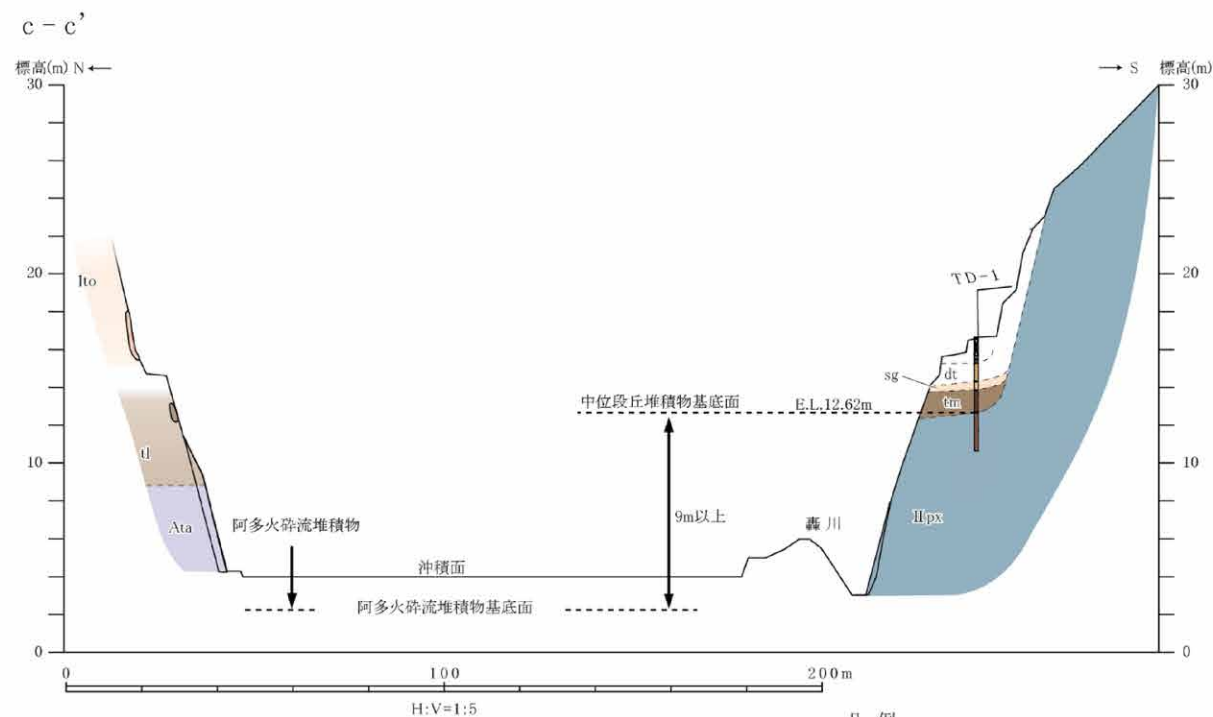
第1.2-200図 ルートマップ・地質断面図・露頭スケッチ (Loc.It-2, 薩摩川内市瀬戸野付近)



第1.2-201図 ルートマップ・地質断面図・露頭スケッチ(Loc.It-3, 薩摩川内市犬辻鼻東方付近)

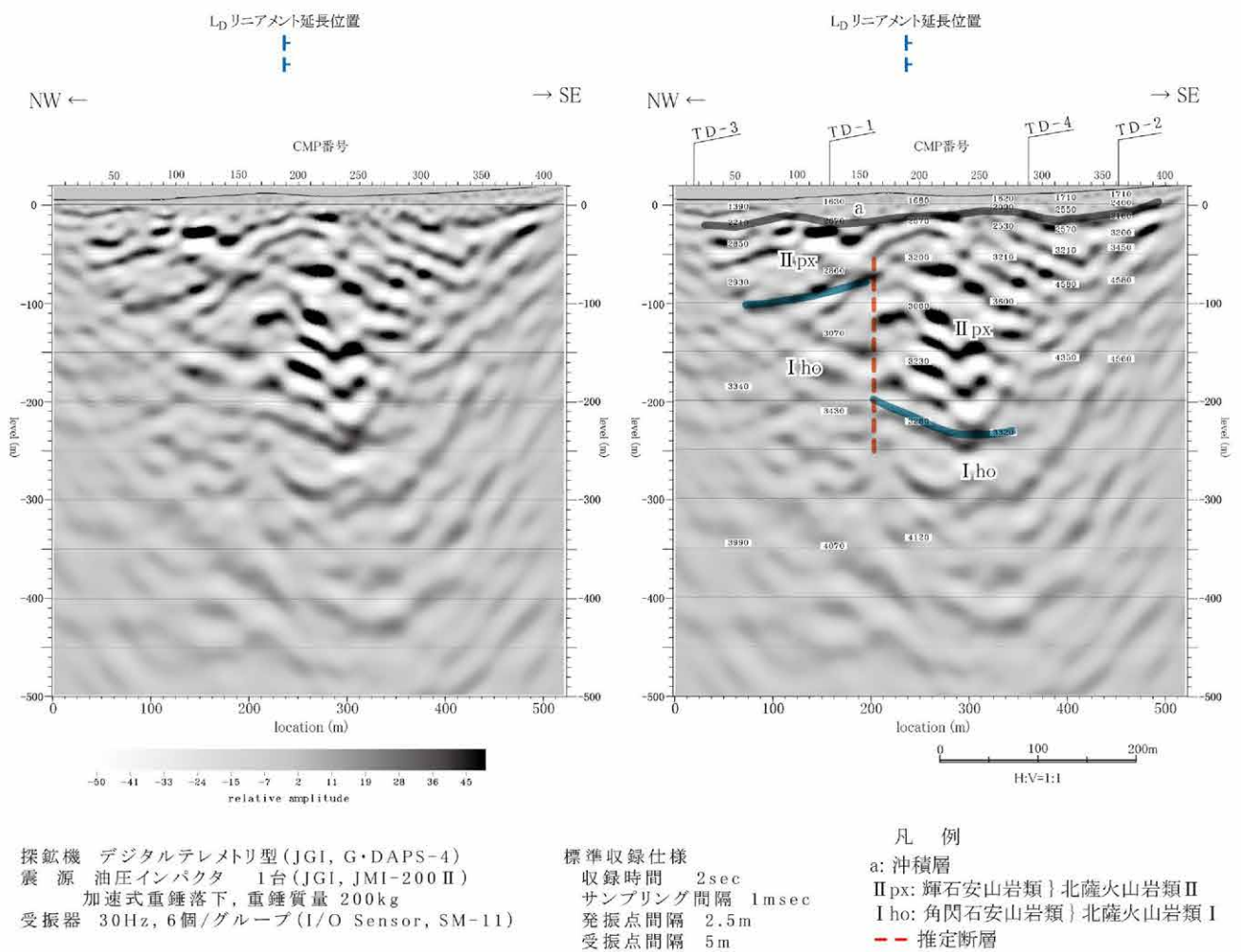


- 凡 例
- Loc.A ○ 露頭位置及び露頭番号
- c c' 4 地質断面位置
- 200 反射法地震探査測線
(数字はCMP番号)
- TD-1 ● ボーリング調査地点・孔番号
- リニアメント凡例
- L_Dリニアメント
(短線は低下側を示す。)

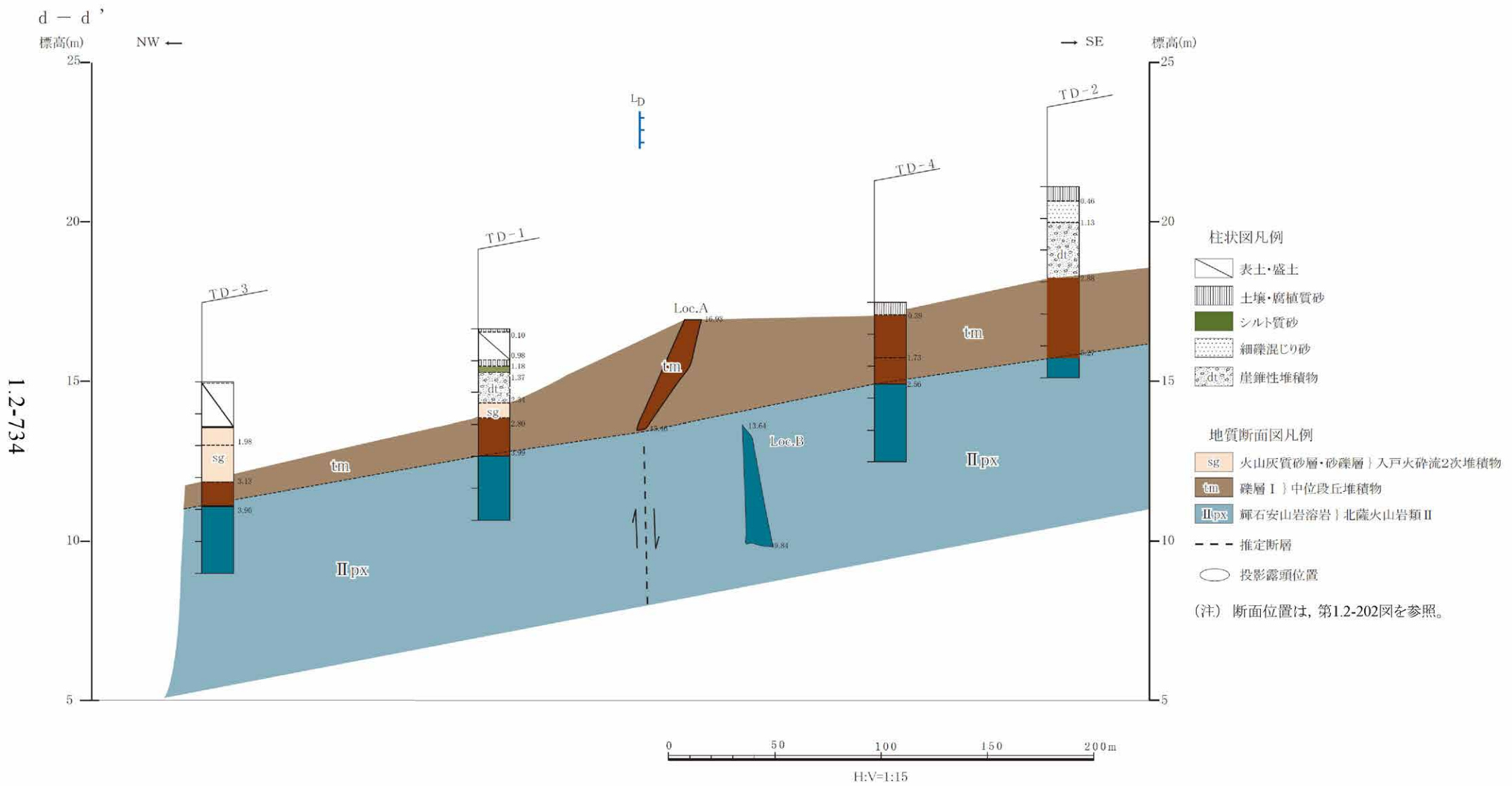


- 凡 例
- dt 崖錐性堆積物
- sg 火山灰質砂層・砂礫層 入戸火砕流2次堆積物
- lto 入戸火砕流堆積物
- tl 礫層Ⅱ 低位段丘堆積物
- Ata 阿多火砕流堆積物
- tm 礫層Ⅰ 中位段丘堆積物
- llpx 輝石安山岩溶岩 北薩火山岩類Ⅱ
- 投影露頭位置

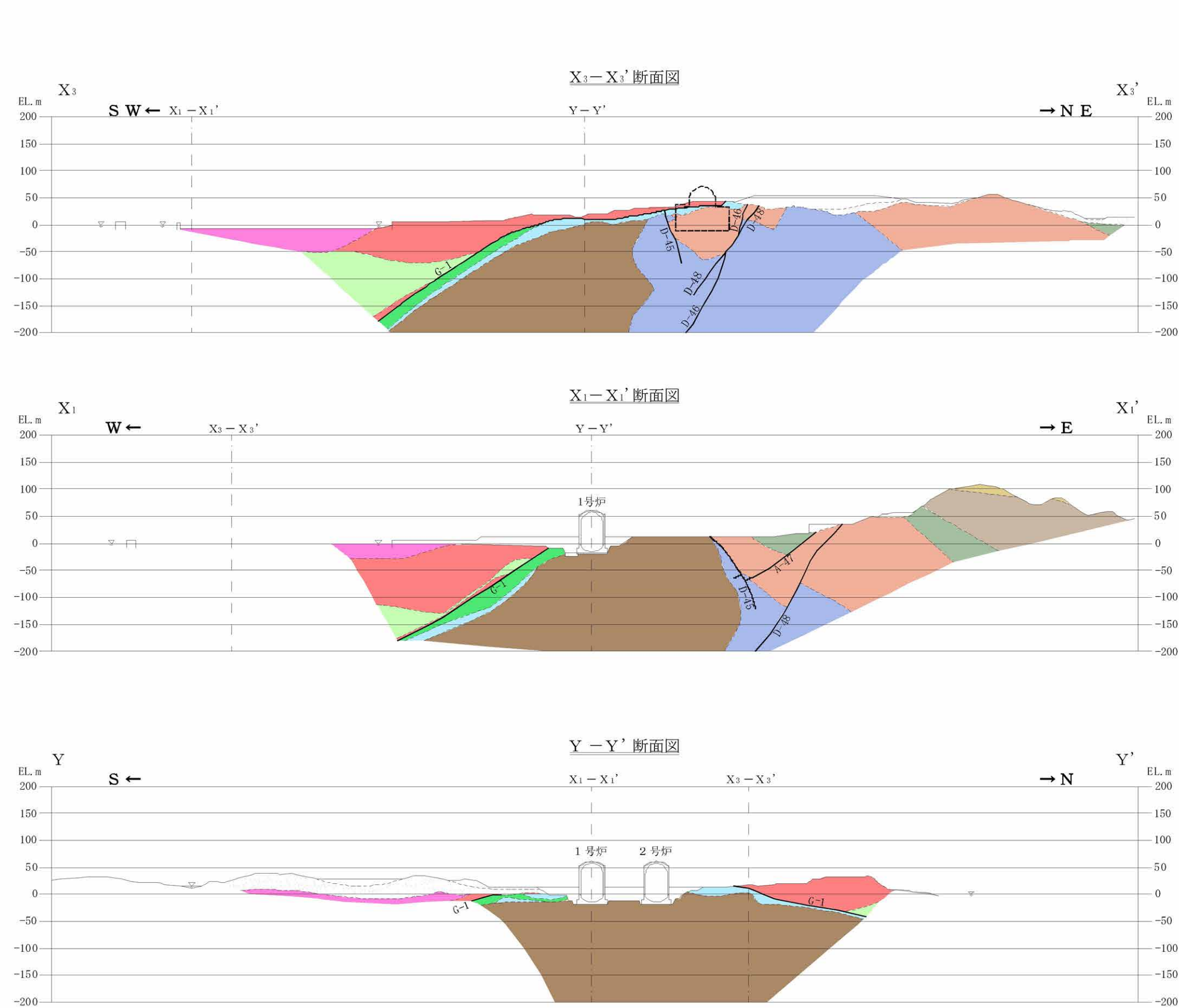
第1.2-202図 調査位置図・地質断面図(轟川地点)



第1.2-203図 反射法地震探査による深度断面とその解釈 (3測線)

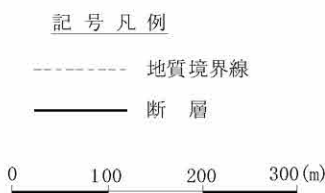


第1.2-204図 地質断面図(轟川地点)

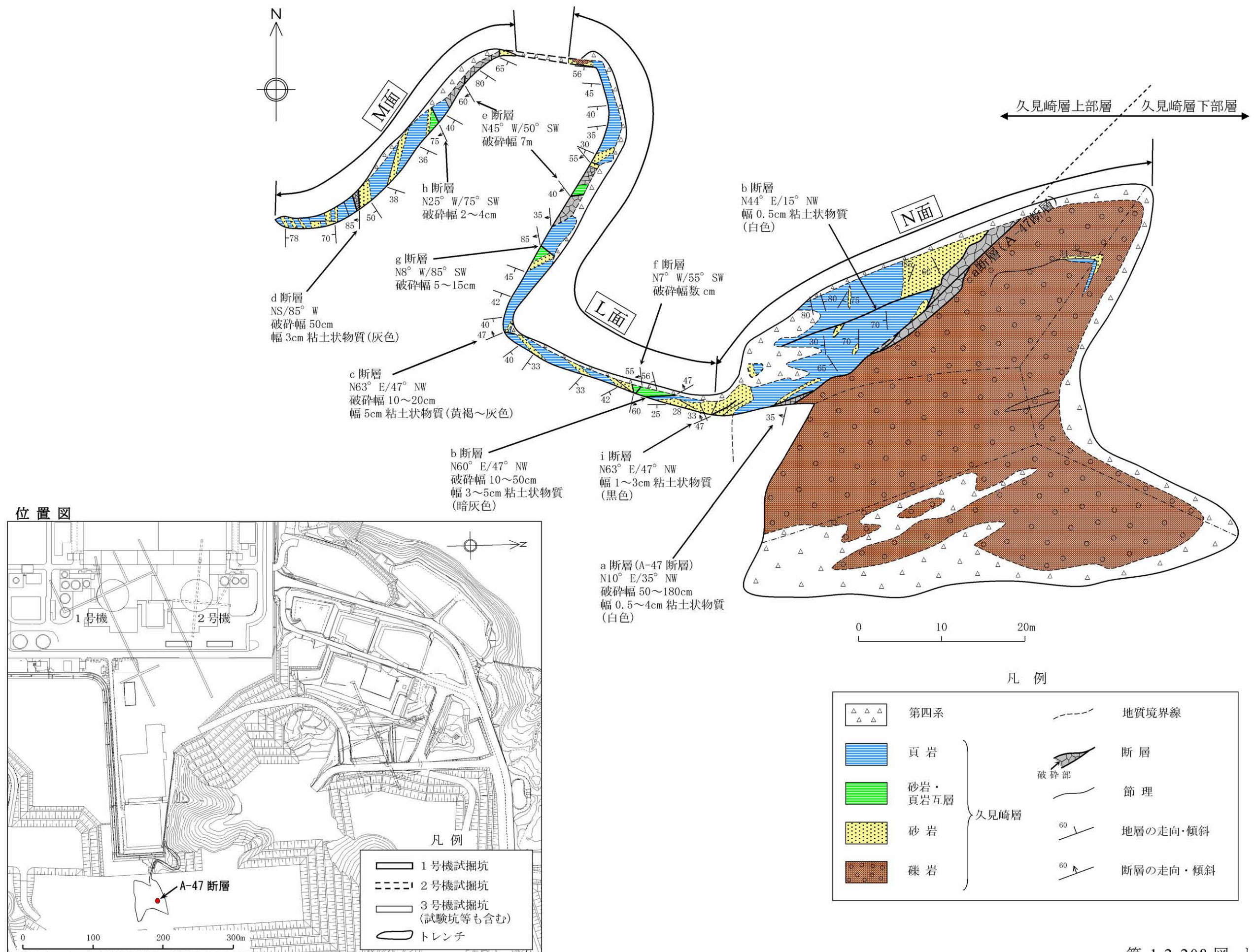


地質時代			地層名	地質
新生代	第四紀	完新世 更新世	盛土	礫、砂、シルト等
			海浜堆積物	礫、砂等
			沖積層	礫、砂、泥等
			砂丘堆積物	砂等
			段丘堆積物	礫、砂、シルト等
	第三紀	鮮新世	火砕流堆積物	溶結凝灰岩
			北薩火山岩類Ⅱ (輝石安山岩質)	安山岩溶岩、火山角礫岩、凝灰角礫岩、火山礫凝灰岩、凝灰岩
			みやま層	凝灰質シルト岩、凝灰質砂岩、凝灰質礫岩、軽石凝灰岩
		中新世	北薩火山岩類Ⅰ (角閃石安山岩質)	軽石質凝灰角礫岩、火山角礫岩、凝灰角礫岩、火山礫凝灰岩
中生代	白亜紀	後期	混在岩	泥質岩基質及び岩塊(砂岩、礫岩、石灰岩等)
		前期	滄浪層	砂岩、礫岩、頁岩
			久見崎層	上部層 頁岩、砂岩、礫岩
				下部層 礫岩、砂岩、頁岩
		川内層	上部層	粘板岩、砂岩、礫岩
			下部層	礫岩、砂岩、粘板岩
		ジュラ紀	変はんれい岩類※	蛇紋岩メランジュ(変はんれい岩、角閃岩、蛇紋岩等)

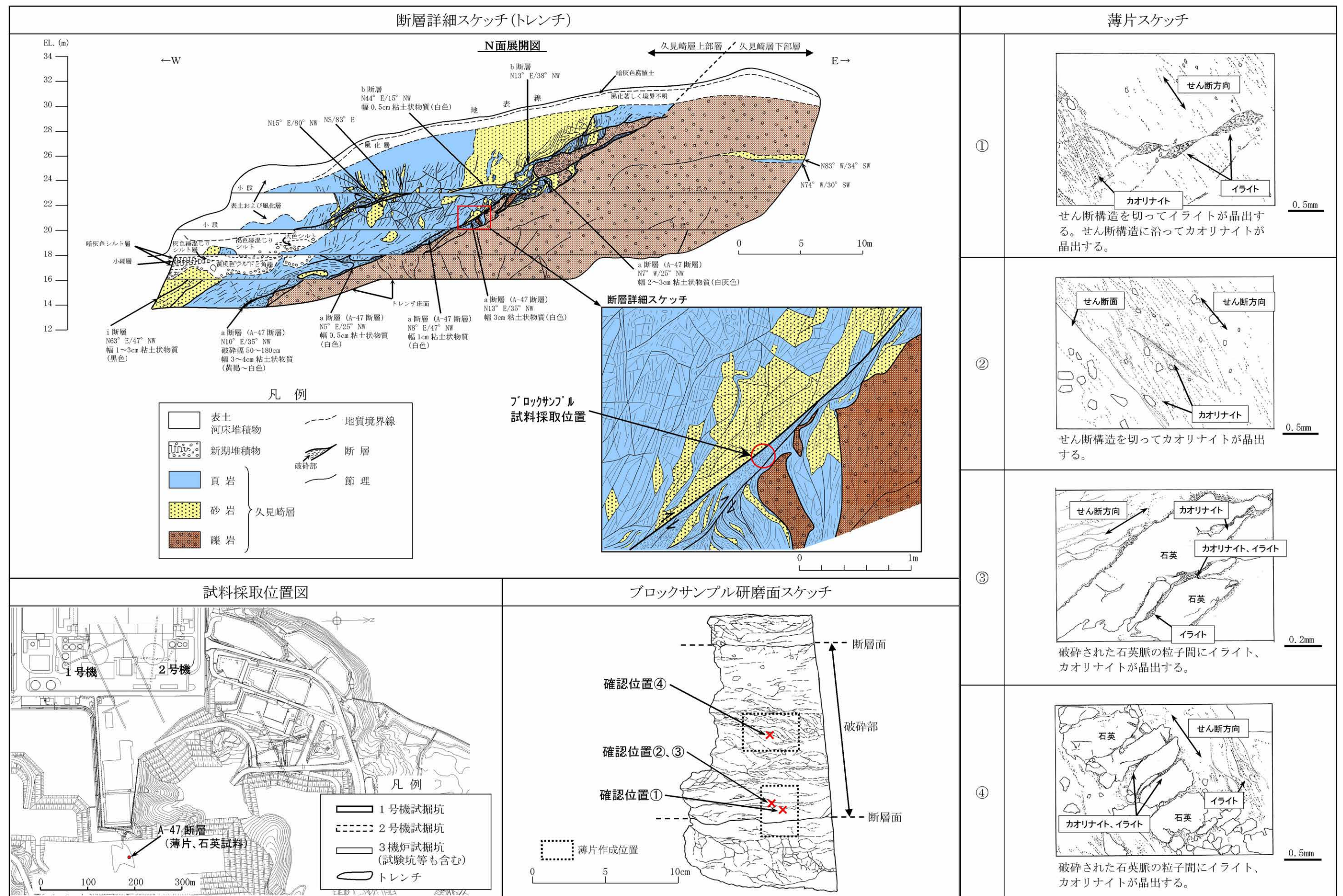
※ 変はんれい岩類を構成する各岩石が形成された時代は古生代。ただし、蛇紋岩は時代不詳。

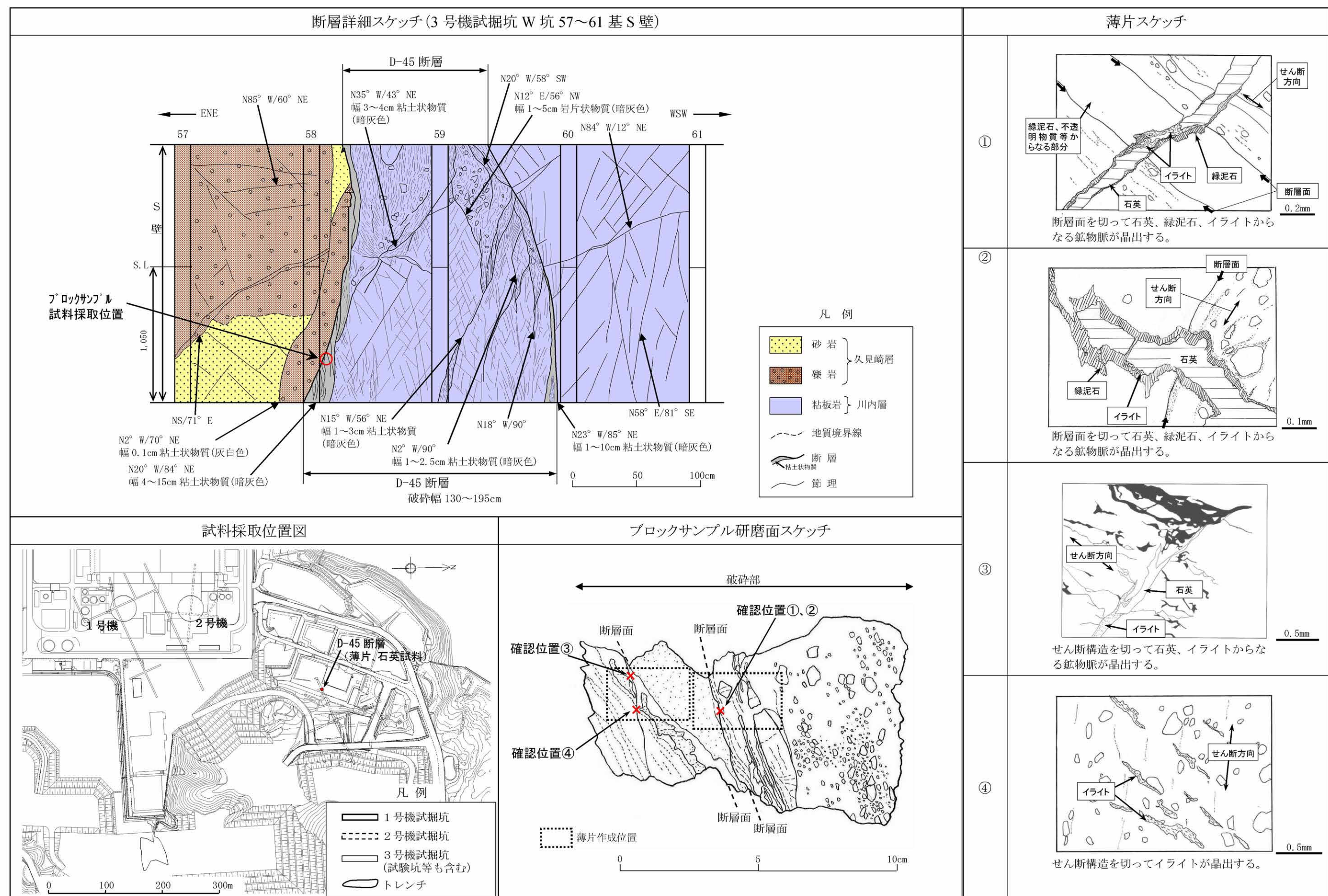


第 1.2-207 図 敷地の地質断面図
1.2-735

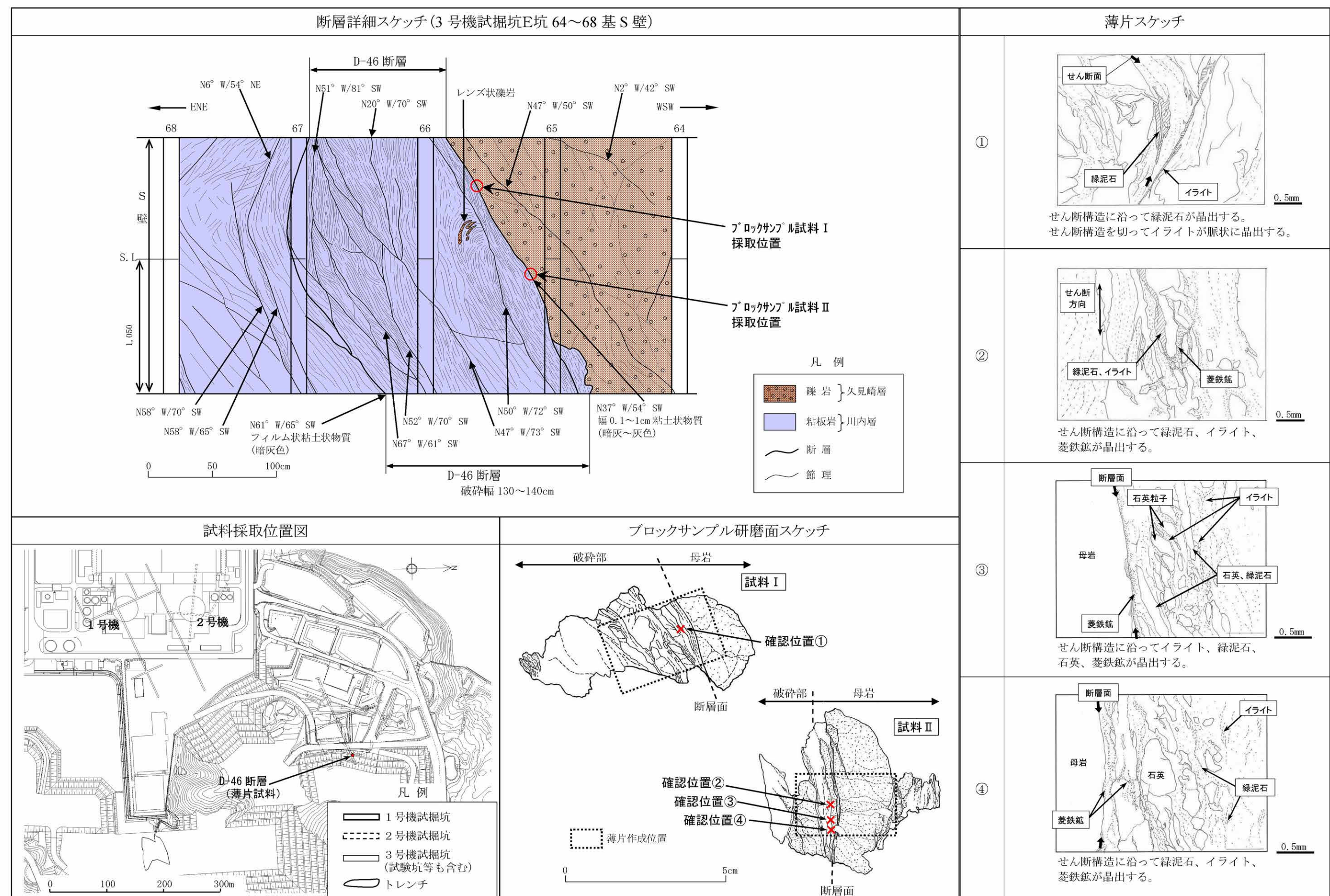


第 1.2-208 図 トレンチ平面図

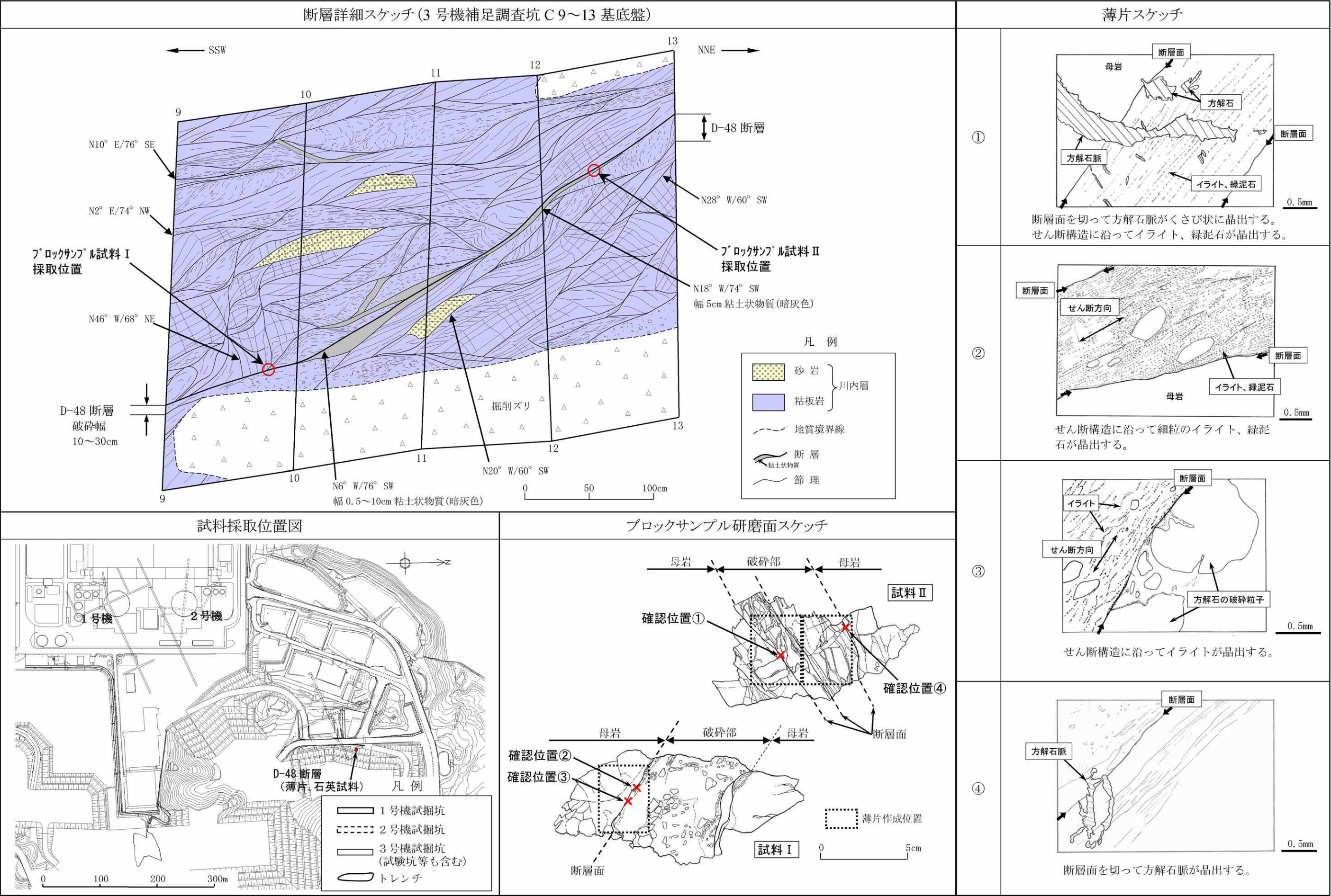




第 1.2-210 図(1) 断層詳細スケッチ・薄片観察結果(D-45 断層)

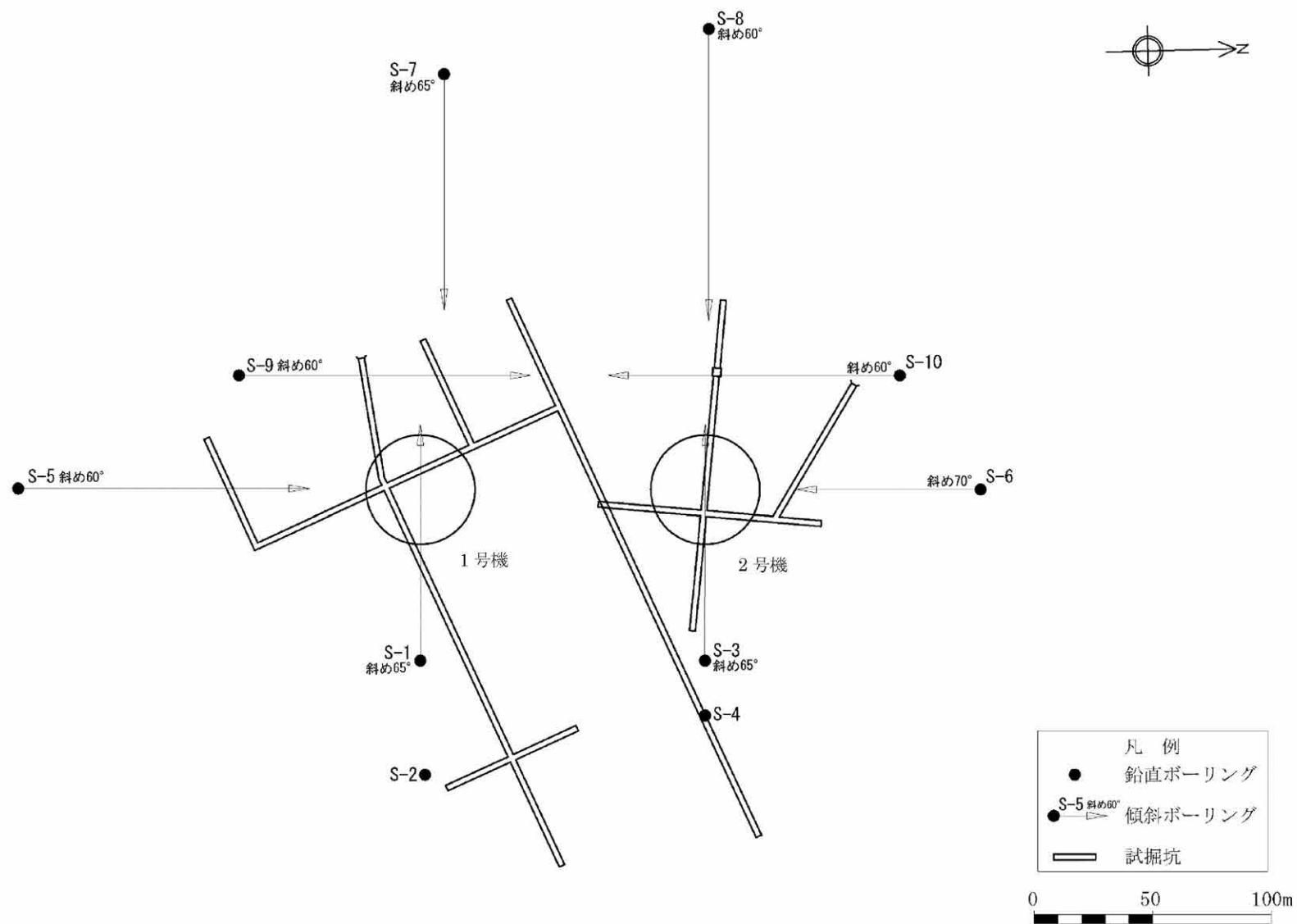


第 1.2-210 図(2) 断層詳細スケッチ・薄片観察結果 (D-46 断層)
1.2-739

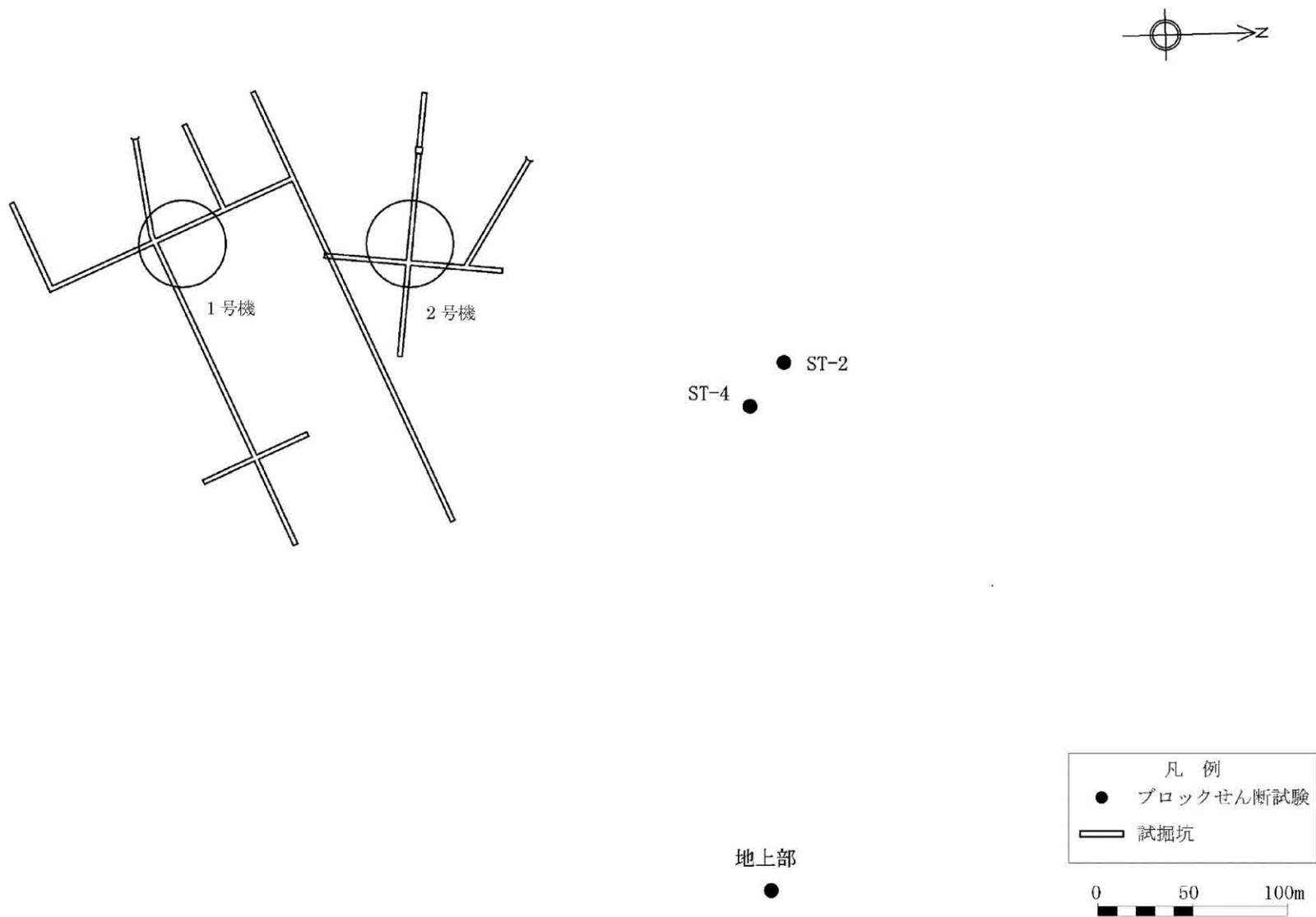


第 1.2-210 図(3) 断層詳細スケッチ・薄片観察結果 (D-48 断層)

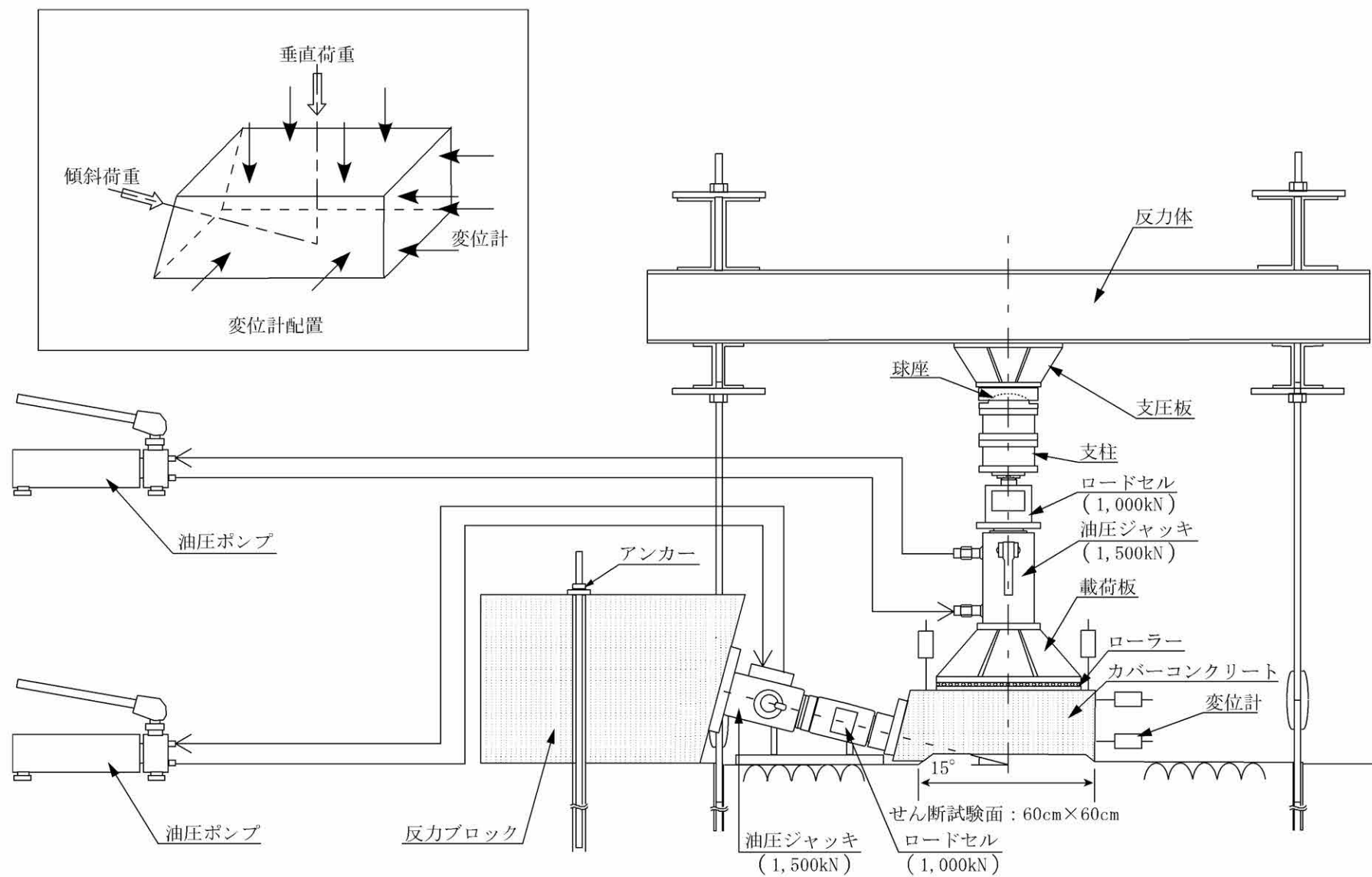
1.2-740



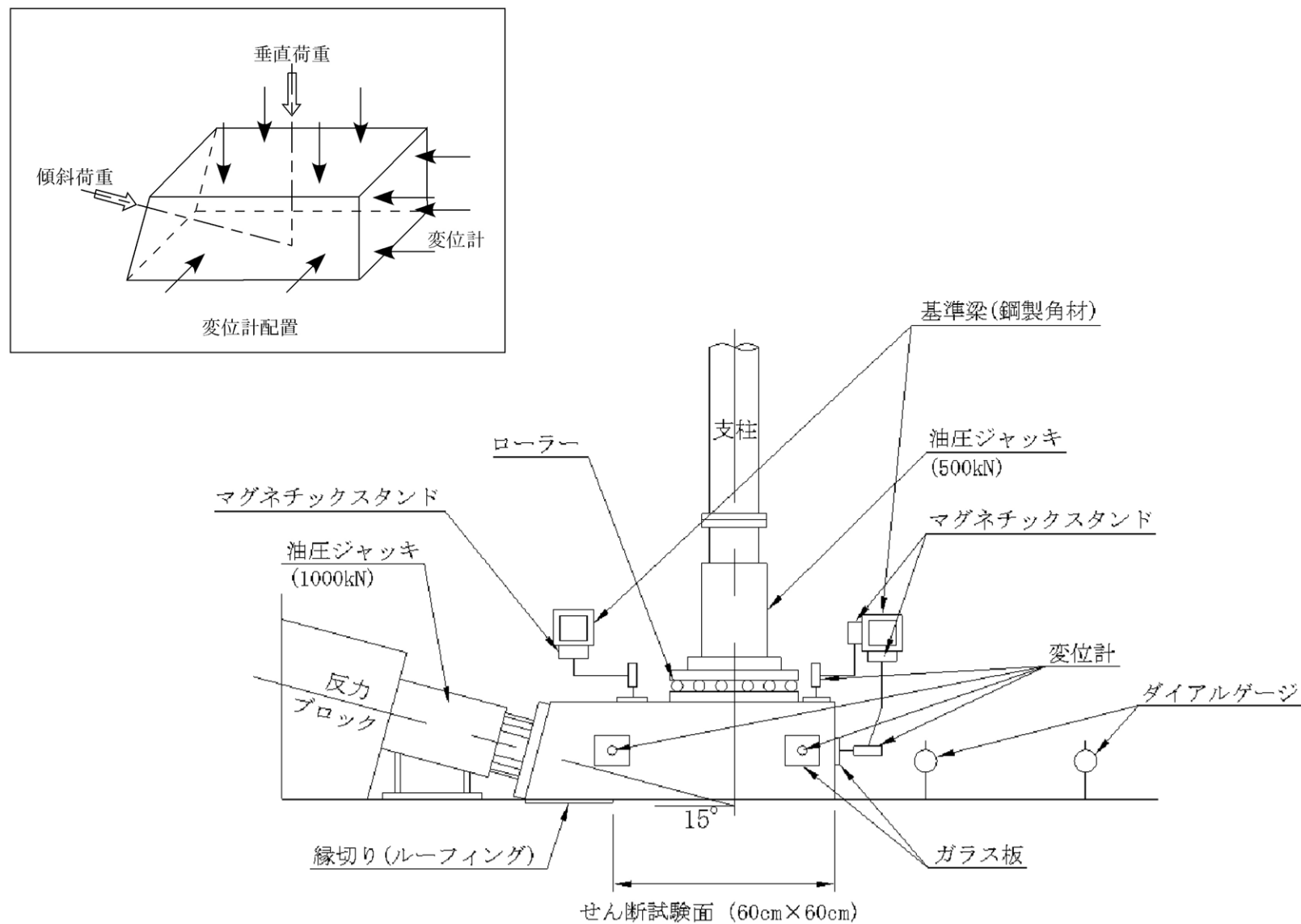
第1.2-212図 岩石試験試料採取位置図



第1.2-213図 ブロックせん断試験位置図

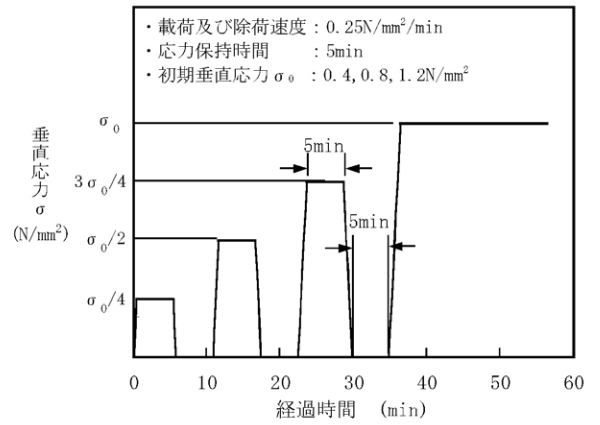
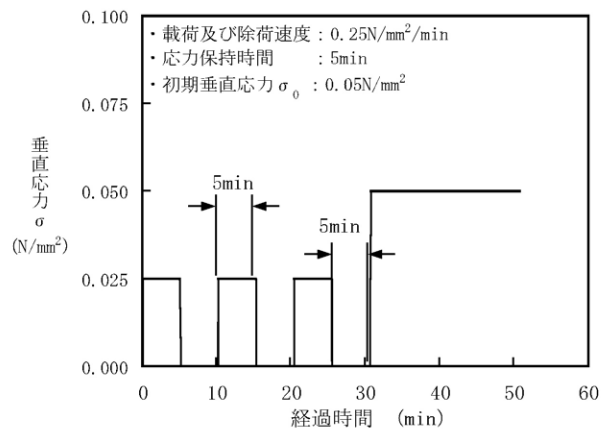


第1.2-214図(1) ブロックせん断試験装置概略図(地上部)

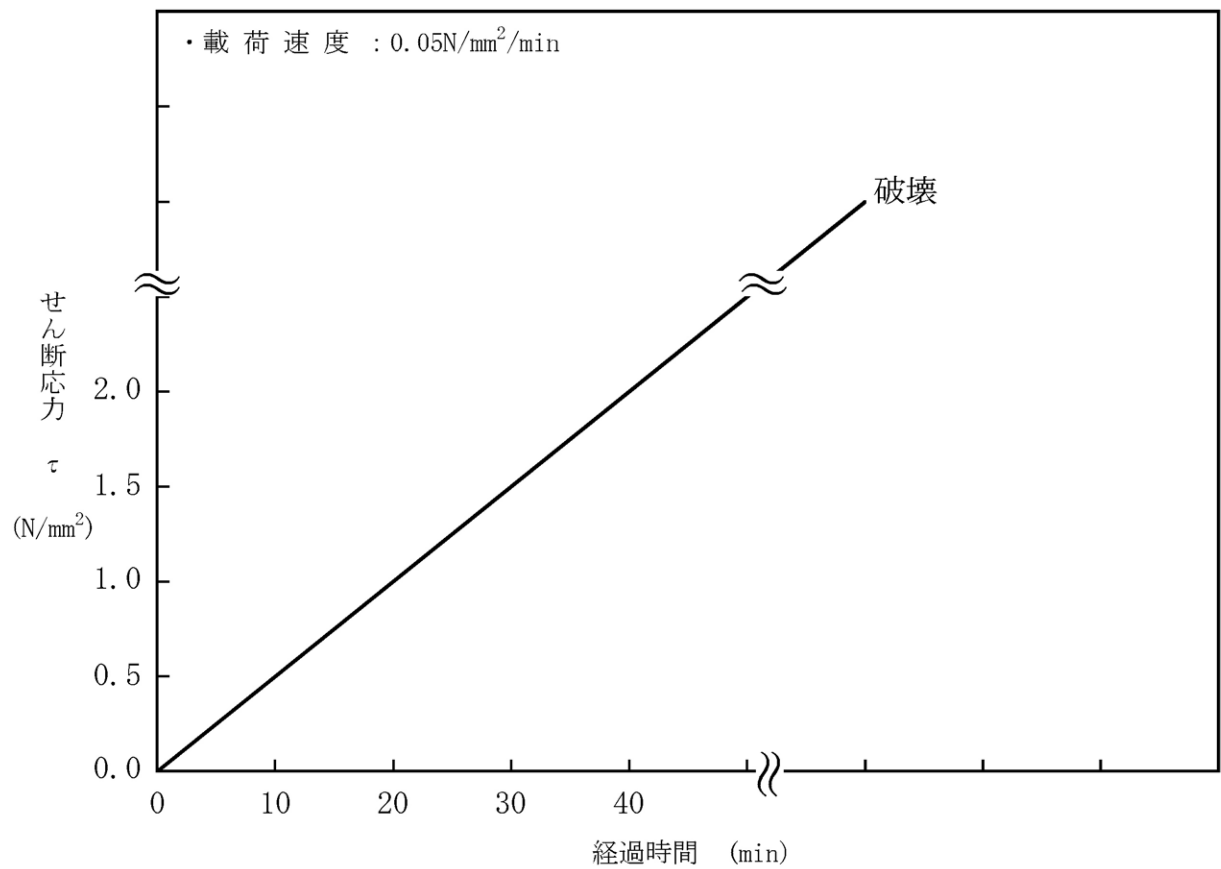


第1.2-214図(2) ブロックせん断試験装置概略図(ST-2及びST-4)

垂直応力の載荷パターン

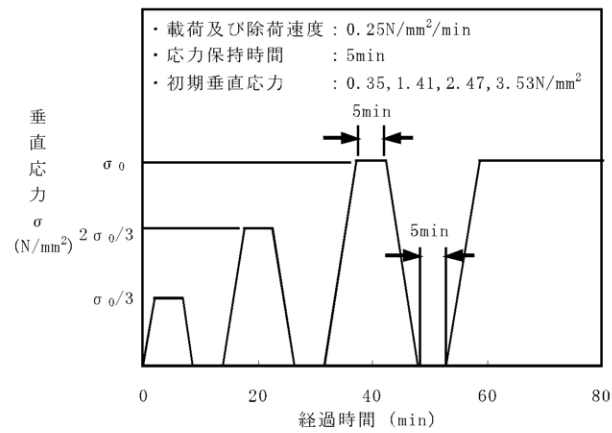


せん断応力の載荷パターン

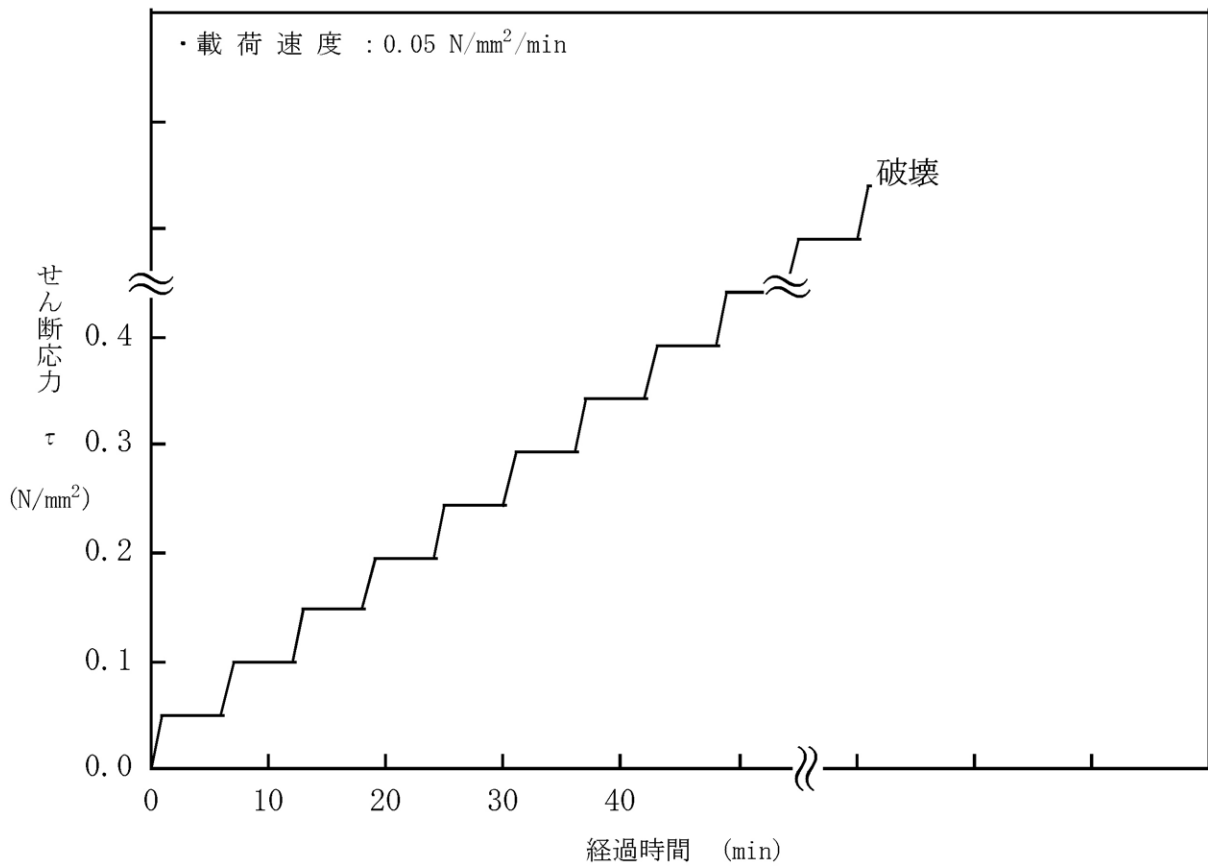


第1.2-215図(1) ブロックせん断試験載荷パターン(地上部)

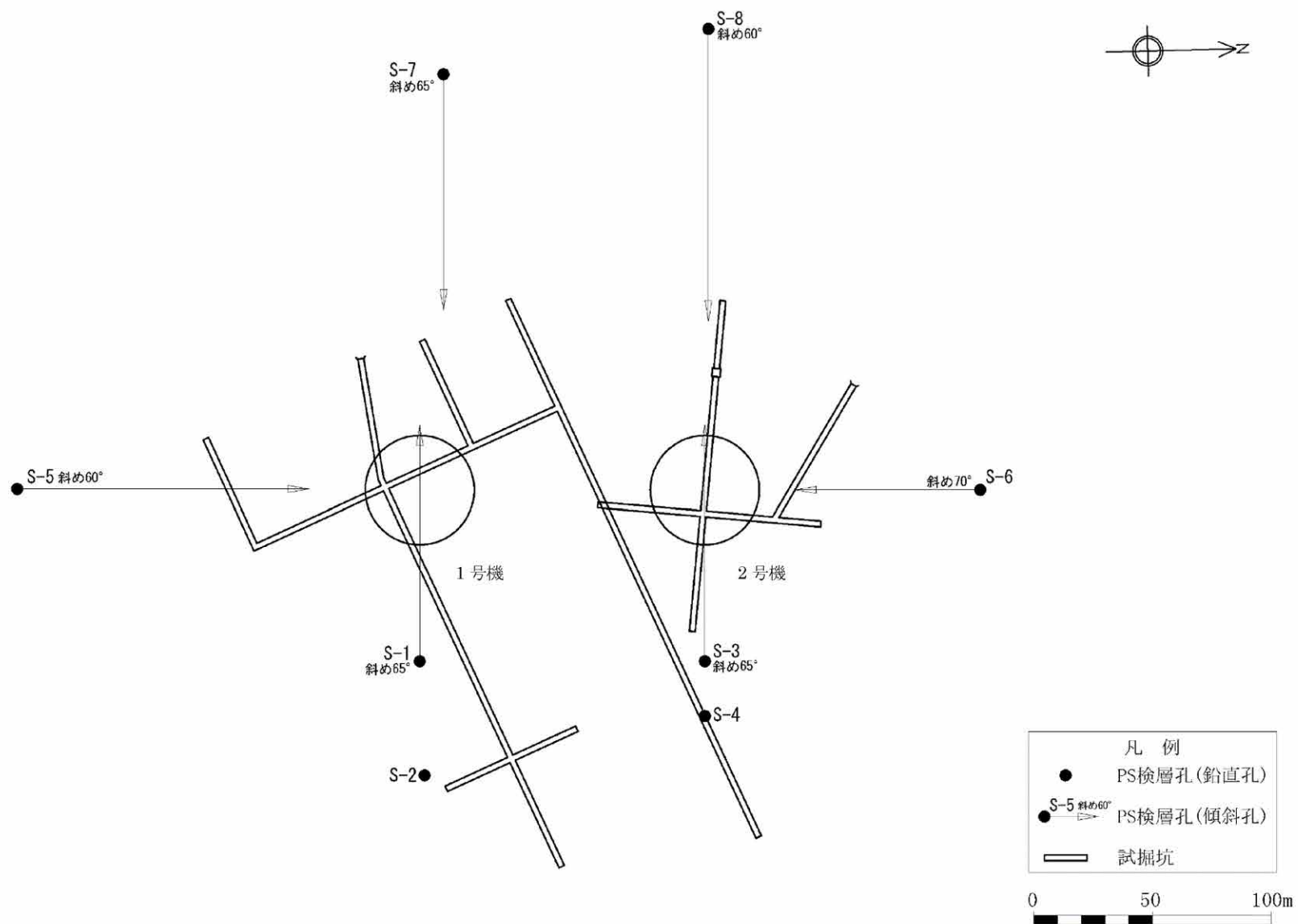
垂直応力の载荷パターン



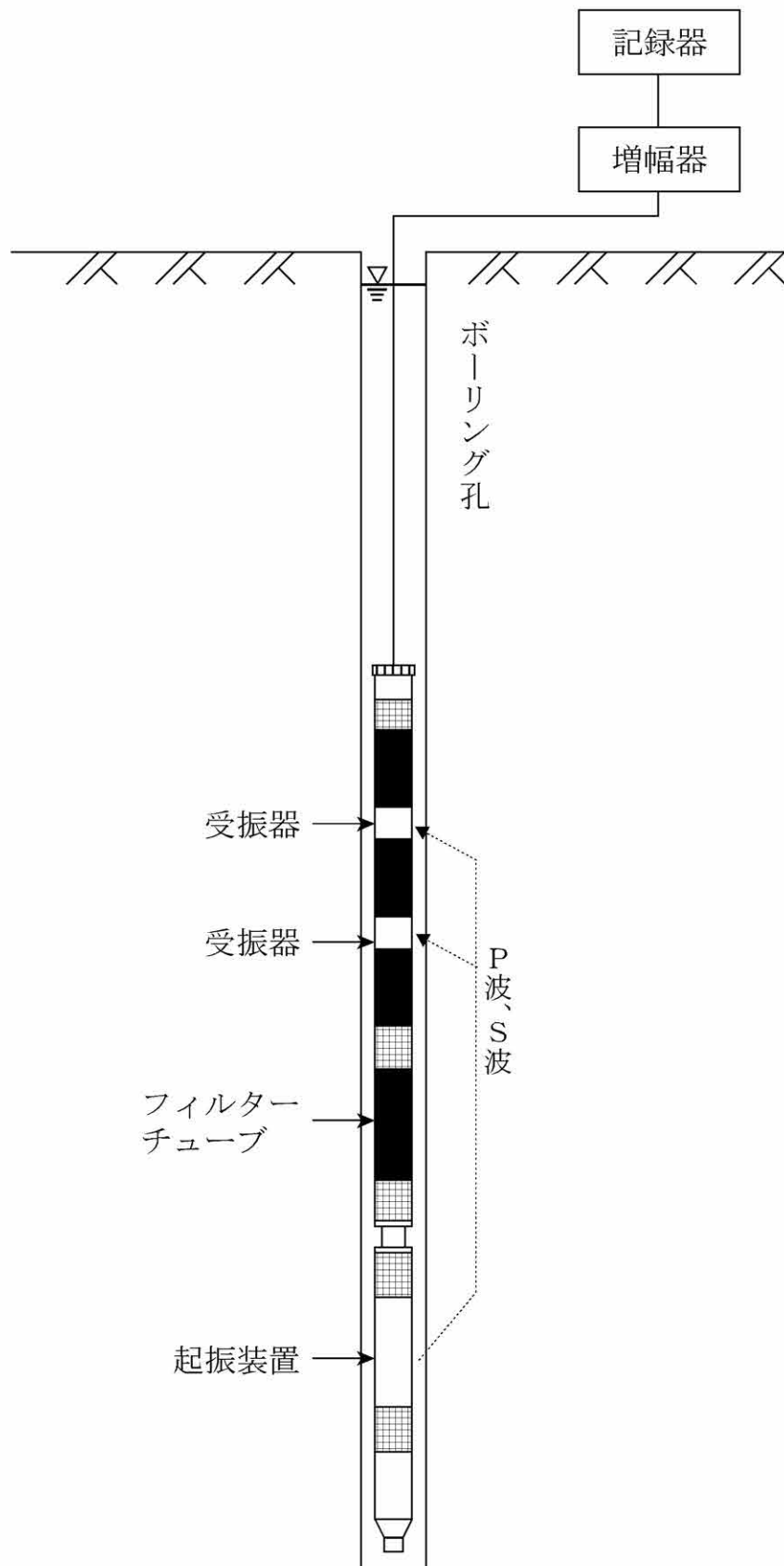
せん断応力の载荷パターン



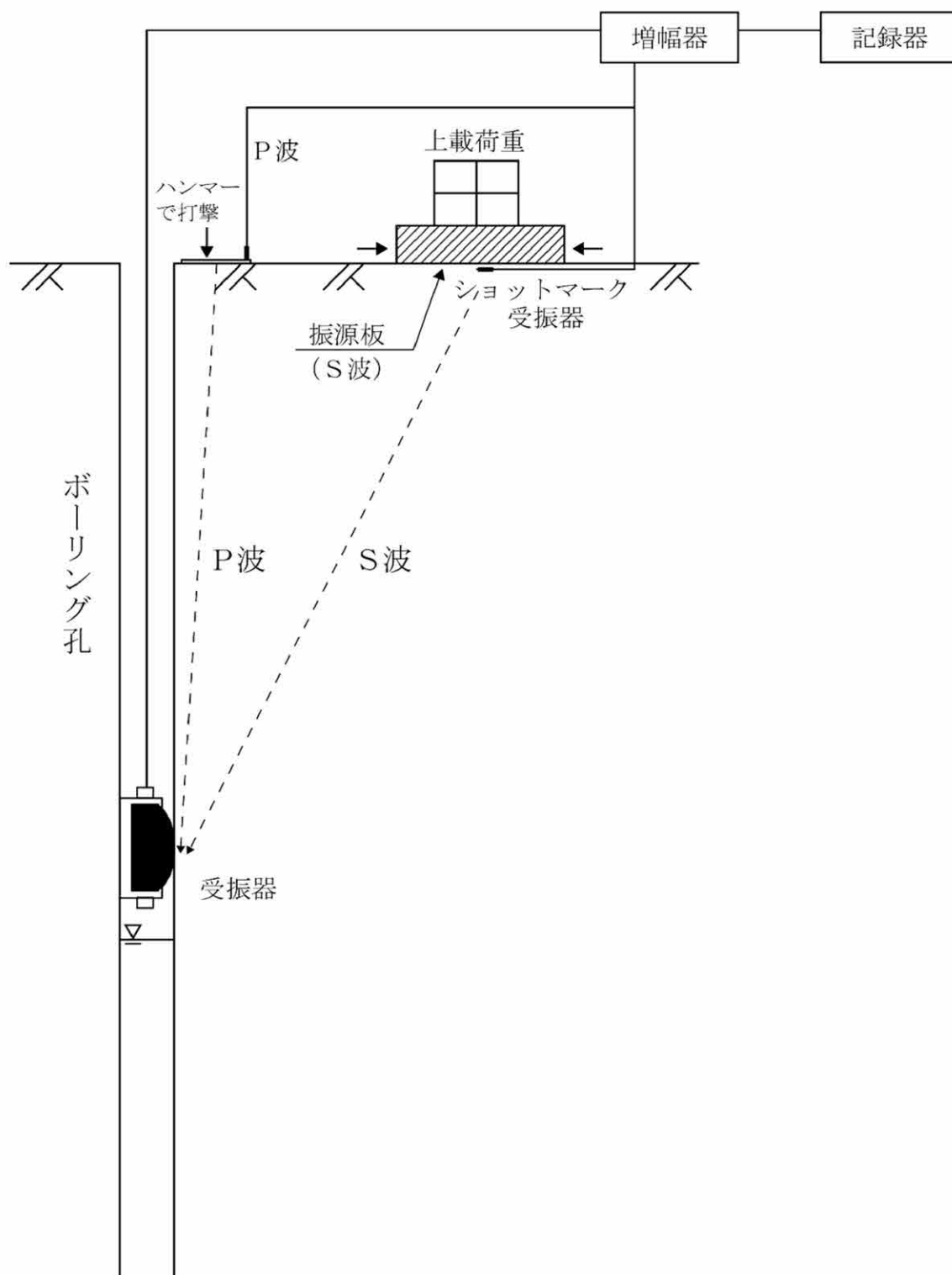
第1.2-215図(2) ブロックせん断試験载荷パターン(ST-2及びST-4)



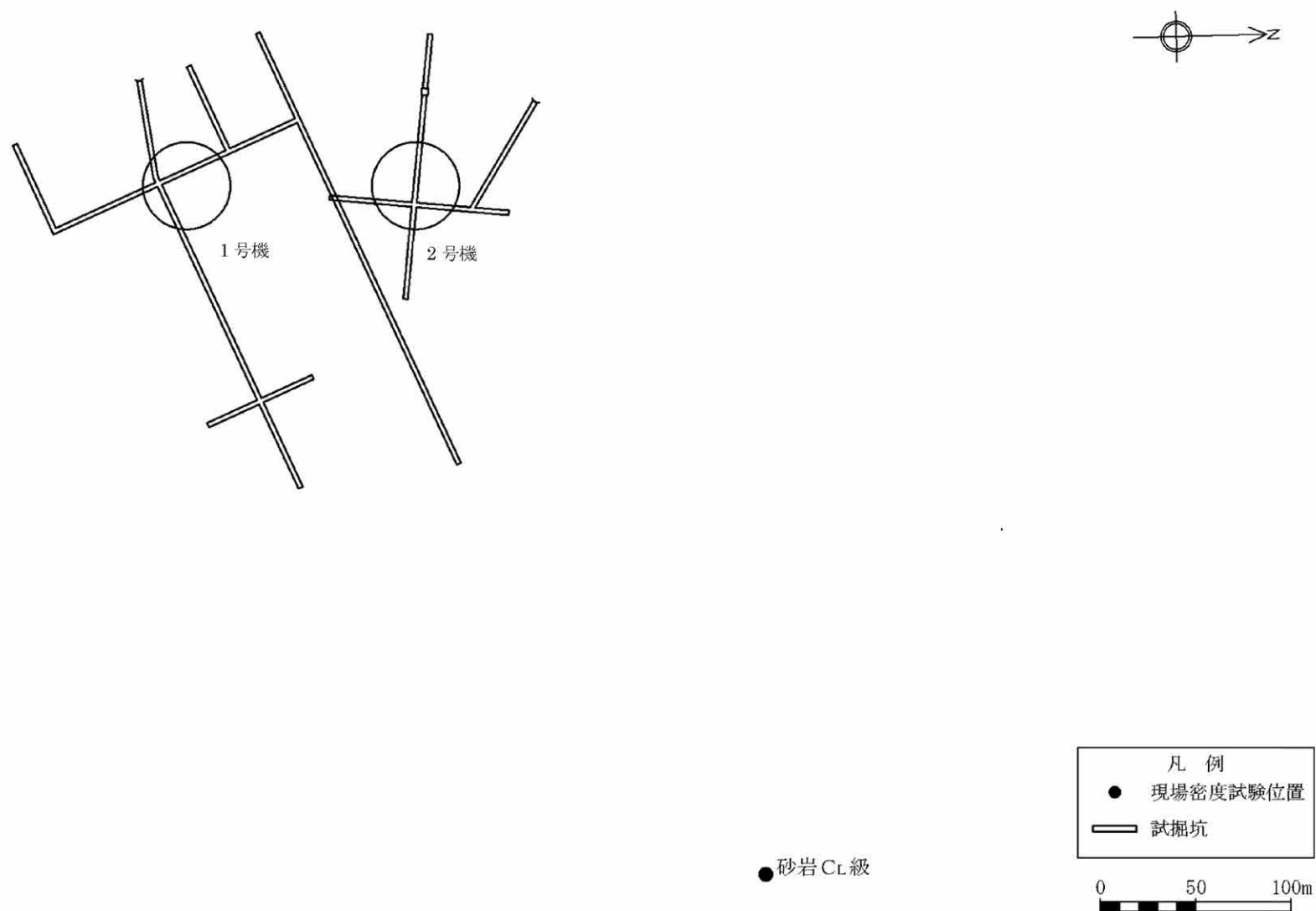
第1.2-216図 PS検層位置図



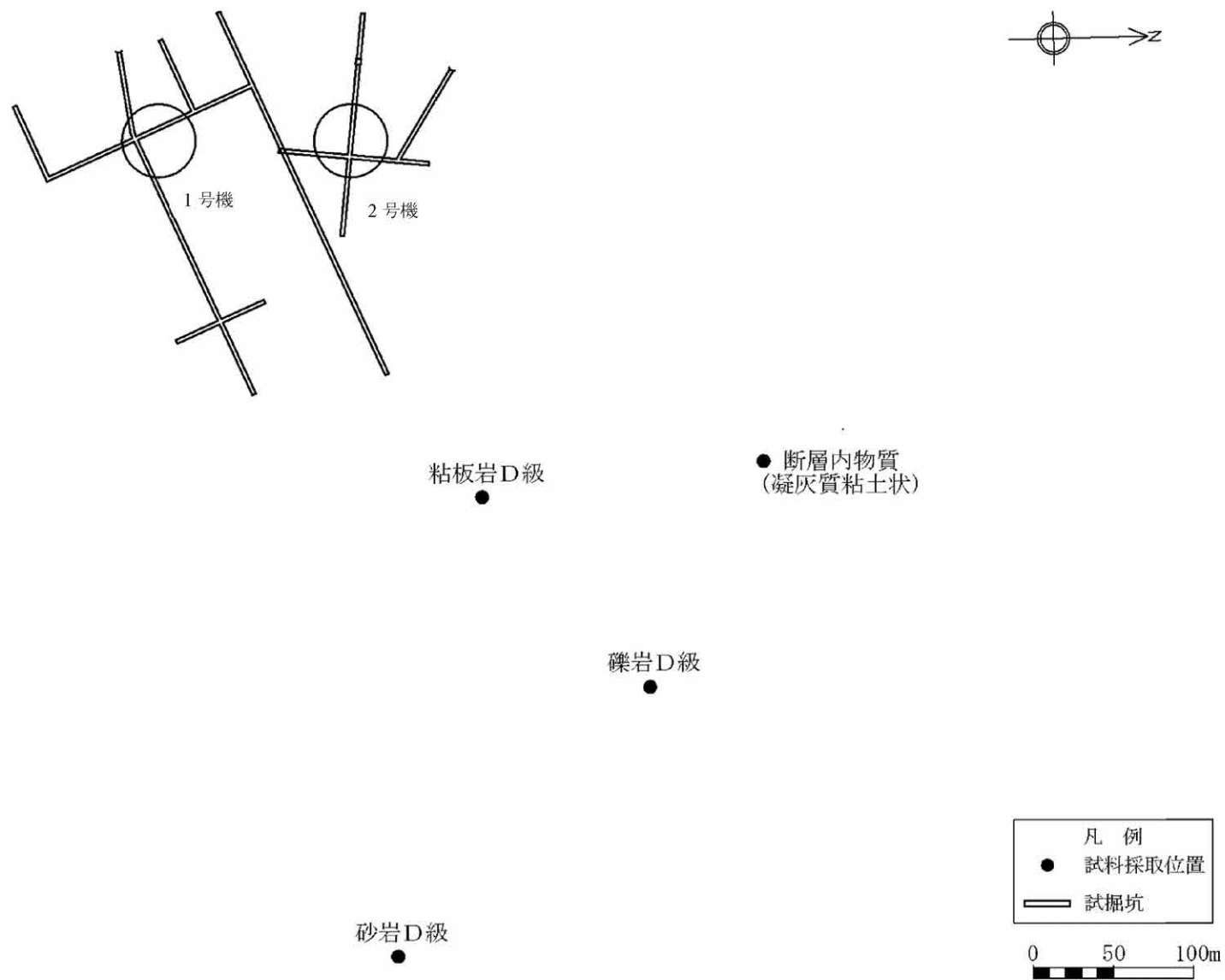
第1.2-217図(1) PS検層概略図(サスペンション法)



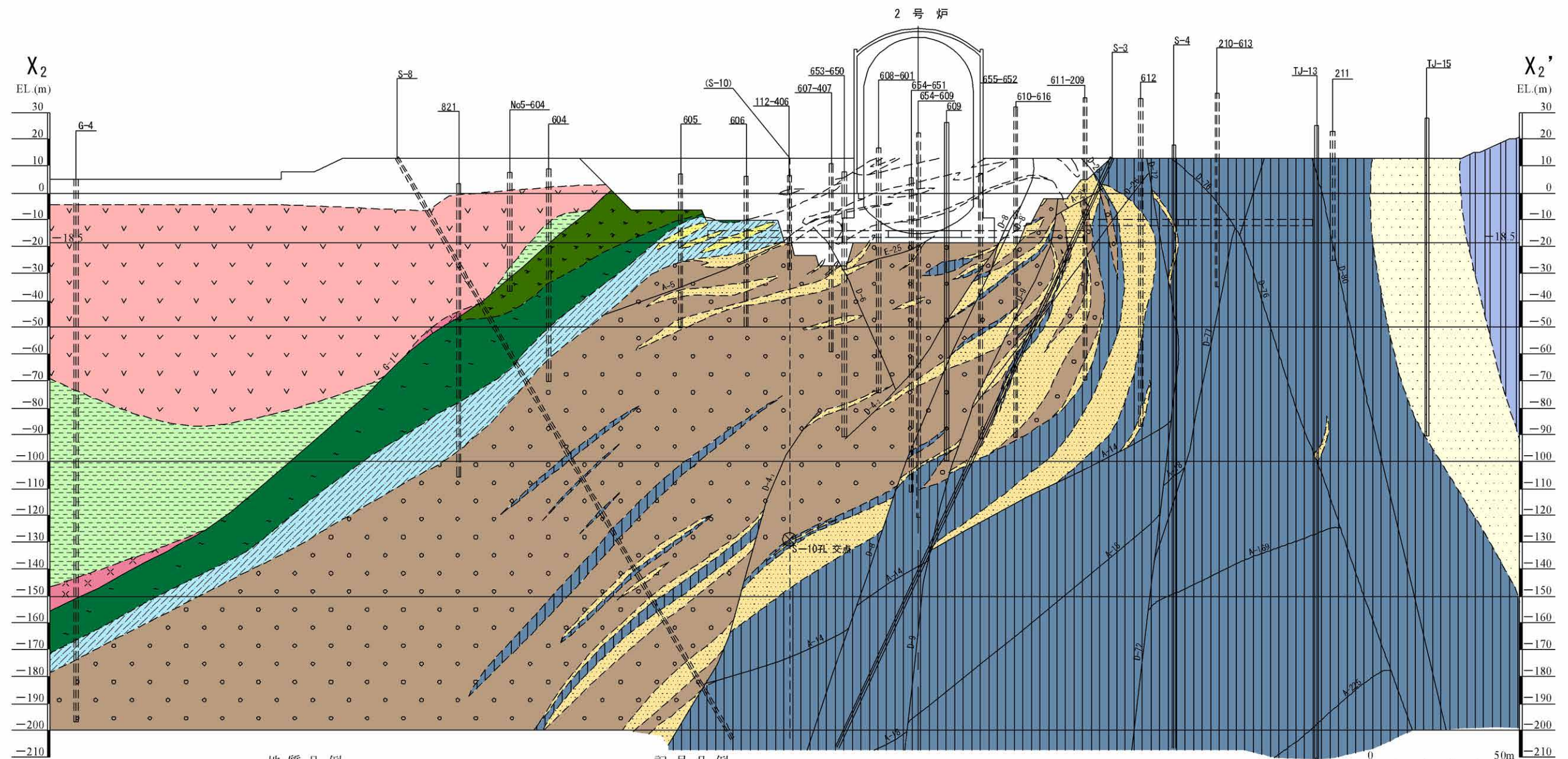
第1.2-217図(2) PS検層概略図(ダウンホール法)



第1.2-218図 現場密度試験位置図



第1.2-219図 土質試験試料採取位置図

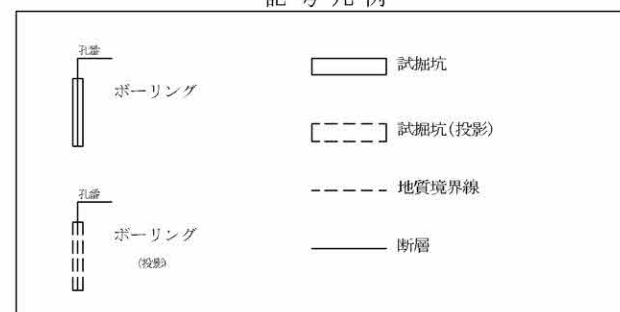


地質凡例

地質時代		地層名	地質
新 生 代	第四紀 更新世 第四系	盛土	
		海浜堆積物、沖積層、砂丘堆積物等	礫、砂、シルト等
	第三紀 新第三系	火砕流堆積物	溶結凝灰岩
		北森火山岩類Ⅱ (輝石安山岩類)	安山岩溶岩 火山角礫岩、凝灰角礫岩、 火山凝結灰岩、凝灰岩
		ミヤマ層	凝灰質シルト岩、凝灰質砂岩、 凝灰質礫岩
白 中 生 代	白垩紀 後期	混在岩	礫岩岩塊
			砂岩岩塊
			石灰岩岩塊
			泥質岩基質
	白垩紀 前期 川内層	上部層	粘板岩
			砂岩
		下部層	粘板岩
			砂岩
ジュラ紀	変はんれい岩類※		変はんれい岩類の破砕部
			変はんれい岩類

※ 変はんれい岩類を構成する各岩石が形成された時代は古生代。ただし、蛇紋岩は時代不詳。

記号凡例



第 1.2-221 図 (2) 地質鉛直断面図 (X₂—X₂'断面)